



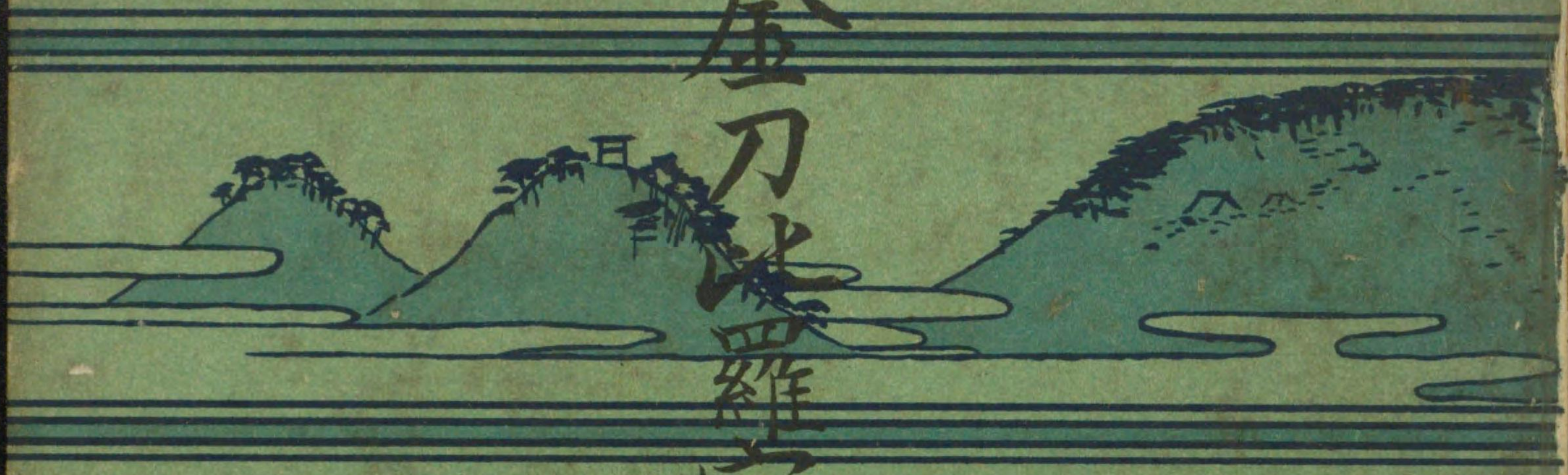
559-75



1200501511683

金刀比羅宮風光園會

下卷



Kodak Gray Scale

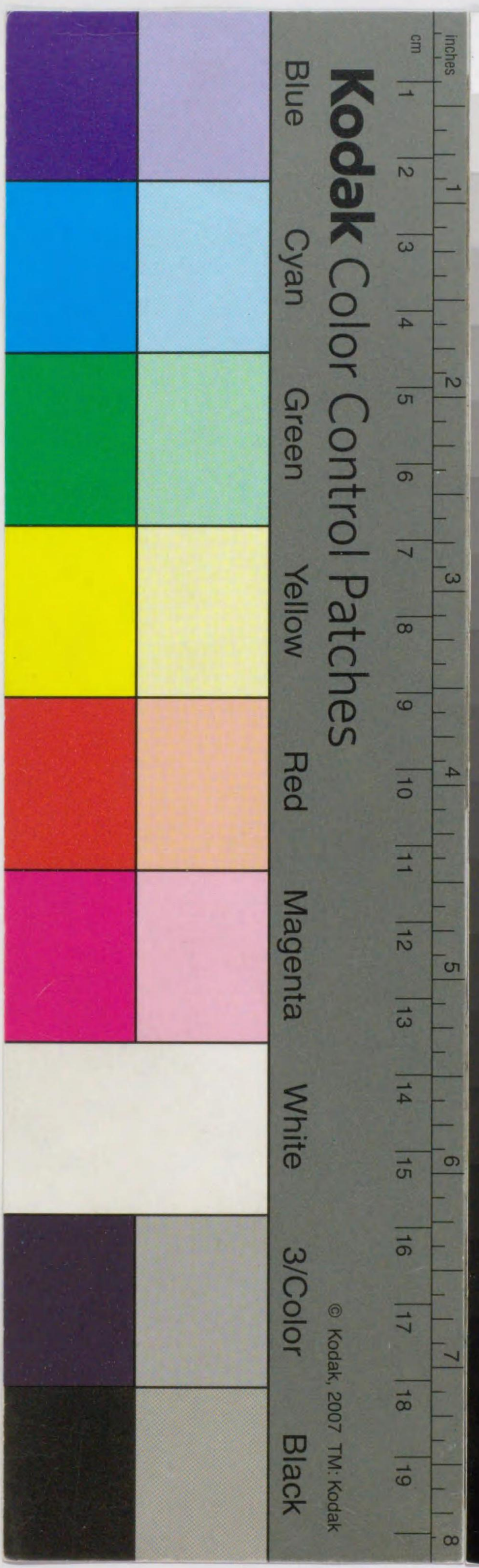
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



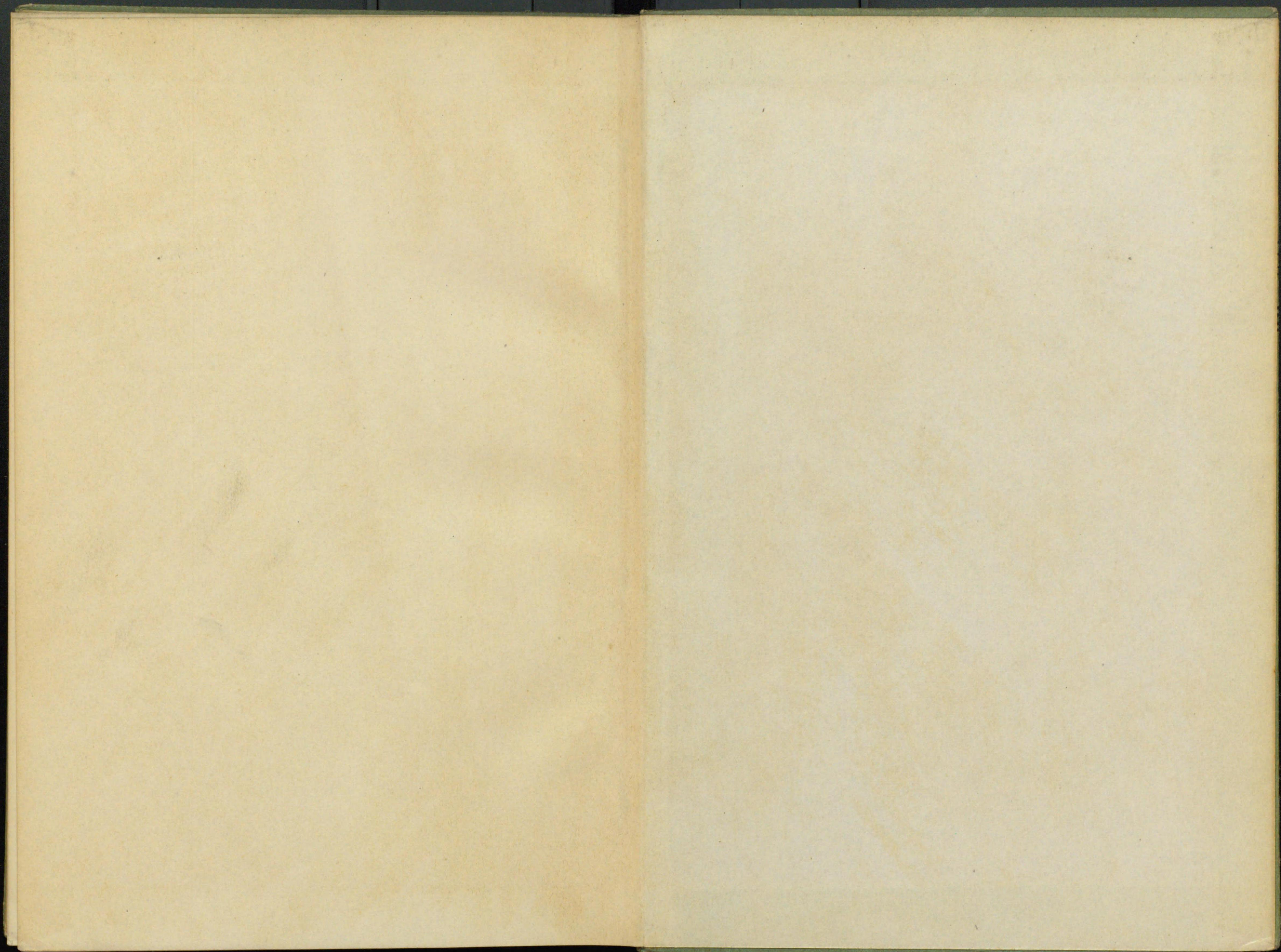
© Kodak, 2007 TM: Kodak

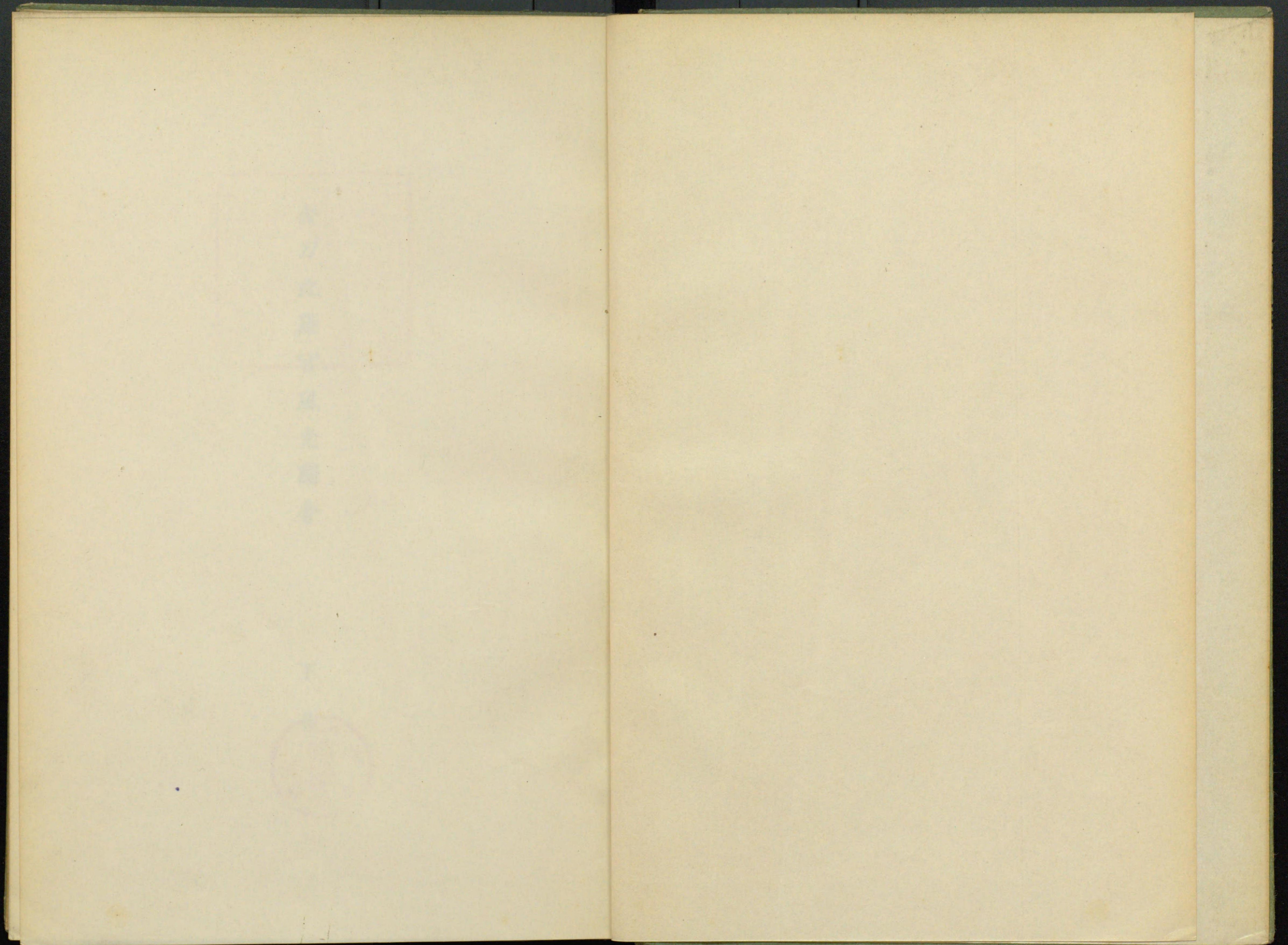
Kodak Color Control Patches

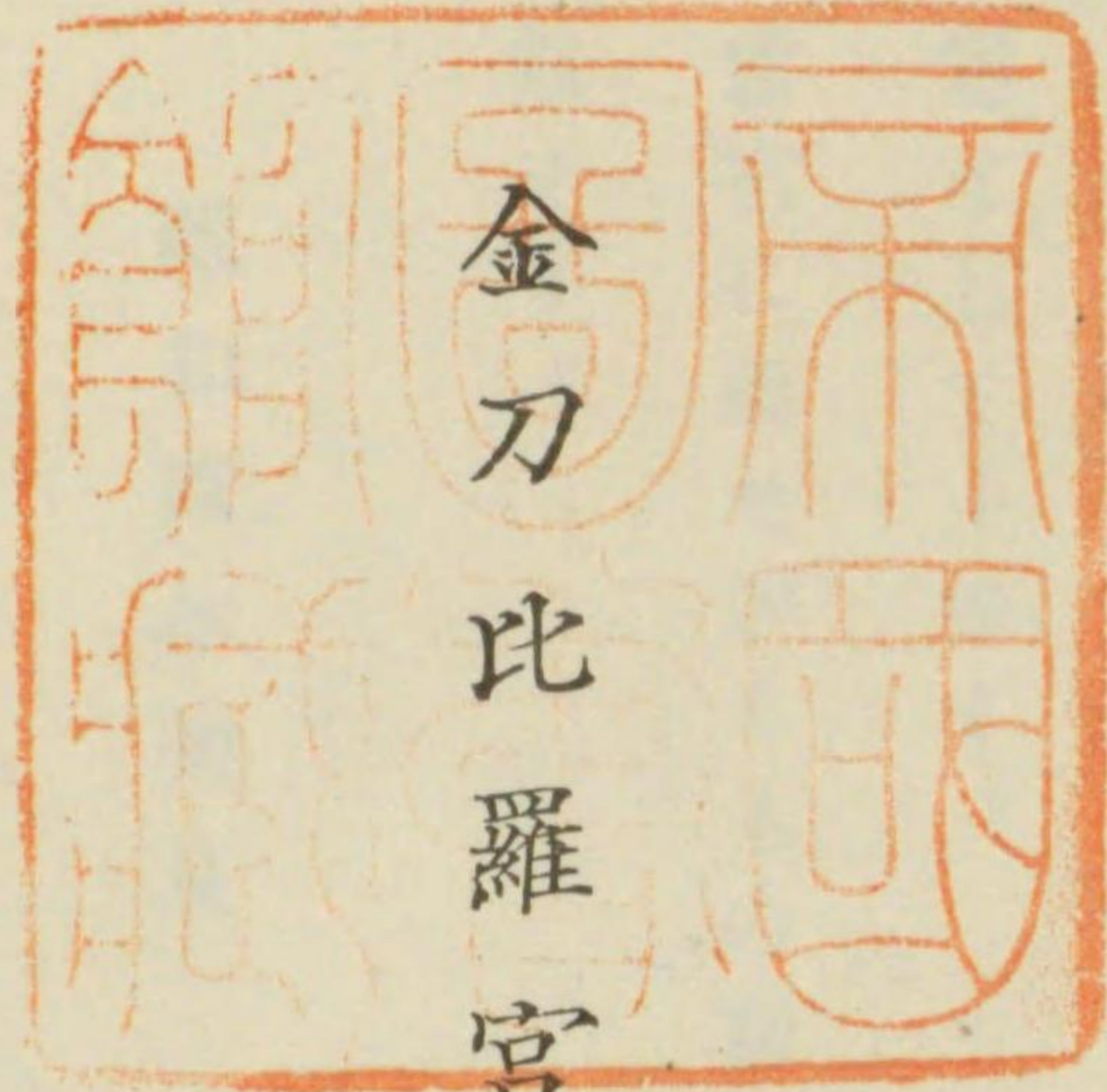
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black



© Kodak, 2007 TM: Kodak







金刀比羅宮
風光圖會

下



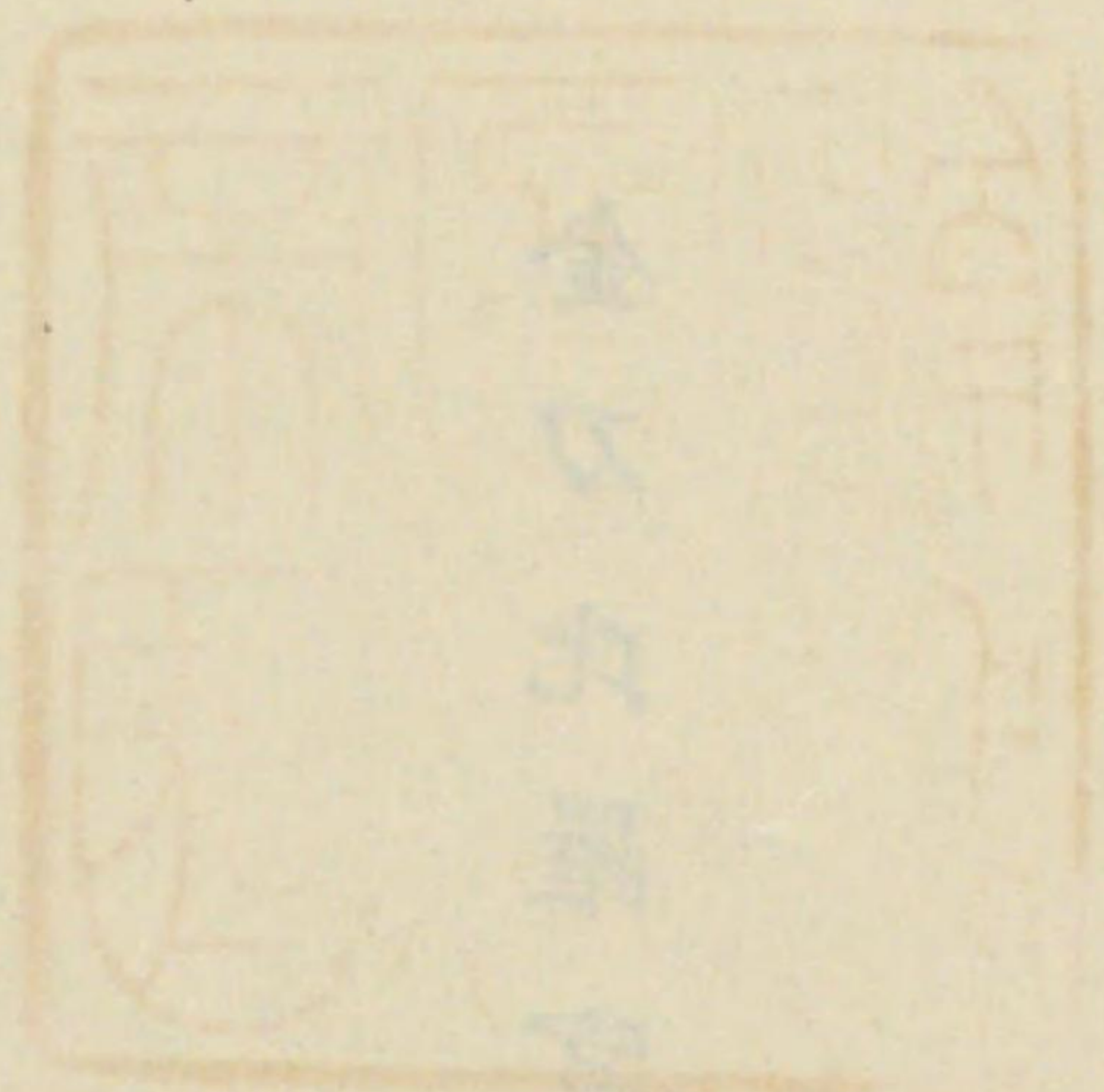
559-75

凡例

- 一、曩に金刀比羅宮風光圖會上巻を出版せしが、今回八十七圖を輯めて其下巻として上梓す。
- 一、當宮に屬せざるもの數圖あるも、一般參拜者の參考の爲め併せて之を輯録せり。

昭和四年初夏

編者識



55-222

御本宮御本殿南御垣

御本宮御本殿南御垣

金刀比羅宮風光圖會 下卷

目次

- (四) 御本宮御本殿南御垣
- (三) 御本宮拜殿
- (六) 社務所表書院築山眺望
- (七) 表書院南庭
- (八) 表書院林泉
- (九) 表書院富士之間
- (十) 社務所奥書院
- (十一) 奥書院眺望
- (十二) 奥書院花之間
- (十三) 全春之間
- (十四) 全菖蒲之間

- (一八) 久邇宮殿下御手植松
- (一九) 攝政宮殿下御野立所
- (二〇) 神苑青葉岡
- (二一) 全眺望
- (二二) 神苑常磐森
- (二三) 全待宵山
- (二四) 全時雨岡
- (二五) 全涼杜
- (二六) 圖書館
- (二七) 全講堂
- (二八) 全客室
- (二九) 全男子閱覽室
- (三〇) 全婦人閱覽室

- (三一) 全柳之間
- (三二) 社務所白書院
- (三三) 全奧小座敷
- (三四) 全化粧殿
- (三五) 全內部
- (三六) 全事務室
- (三七) 神苑青葉岡南庭
- (三八) 寶物館
- (三九) 全內部
- (四〇) 神苑青葉岡庭松
- (四一) 東宮殿下行啓記念松
- (四二) 閑院宮殿下御手植松
- (四三) 東宮殿下御手植松

- (三) 全附屬參考館並鞠懸
- (三) 全參考館内部
- (三) 全附屬運動場
- (三) 神苑千歳岡
- (三) 圖書館附屬器械運動場
- (三) 神苑千種臺東之壇
- (三) 全薔薇園
- (三) 全鏡池
- (三) 全中之壇
- (三) 全掬翠亭
- (三) 神苑千種臺より藤溪を望む
- (三) 神苑千種臺西之壇
- (三) 全藤溪

- (二) 全袖岡
- (三) 全小杉森
- (三) 全朝日岡
- (三) 全朝日岡より琴平山主峰を望む
- (三) 全南山神林を望む
- (三) 神苑の躑躅
- (四) 八景山神林
- (四) 愛宕山神林より琴平山主峰を望む
- (四) 全神林より八景山神林を望む
- (四) 琵琶溪神林
- (四) 全神林より琴平市街を望む
- (四) 大麻山神林
- (四) 全屏風巖

- (四) 全神林眺望
- (四) 全龍王池
- (四) 百合山神林
- (五) 丸山神林
- (五) 紅葉谷神林二本杉
- (五) 尉溪神林
- (五) 南大谷神林
- (五) 境外御末社菅原神社
- (五) 全稻荷神社
- (五) 東京御末社金刀比羅神社社前
- (五) 尾張御末社金刀比羅神社
- (五) 全拜殿
- (五) 大阪御末社金刀比羅神社

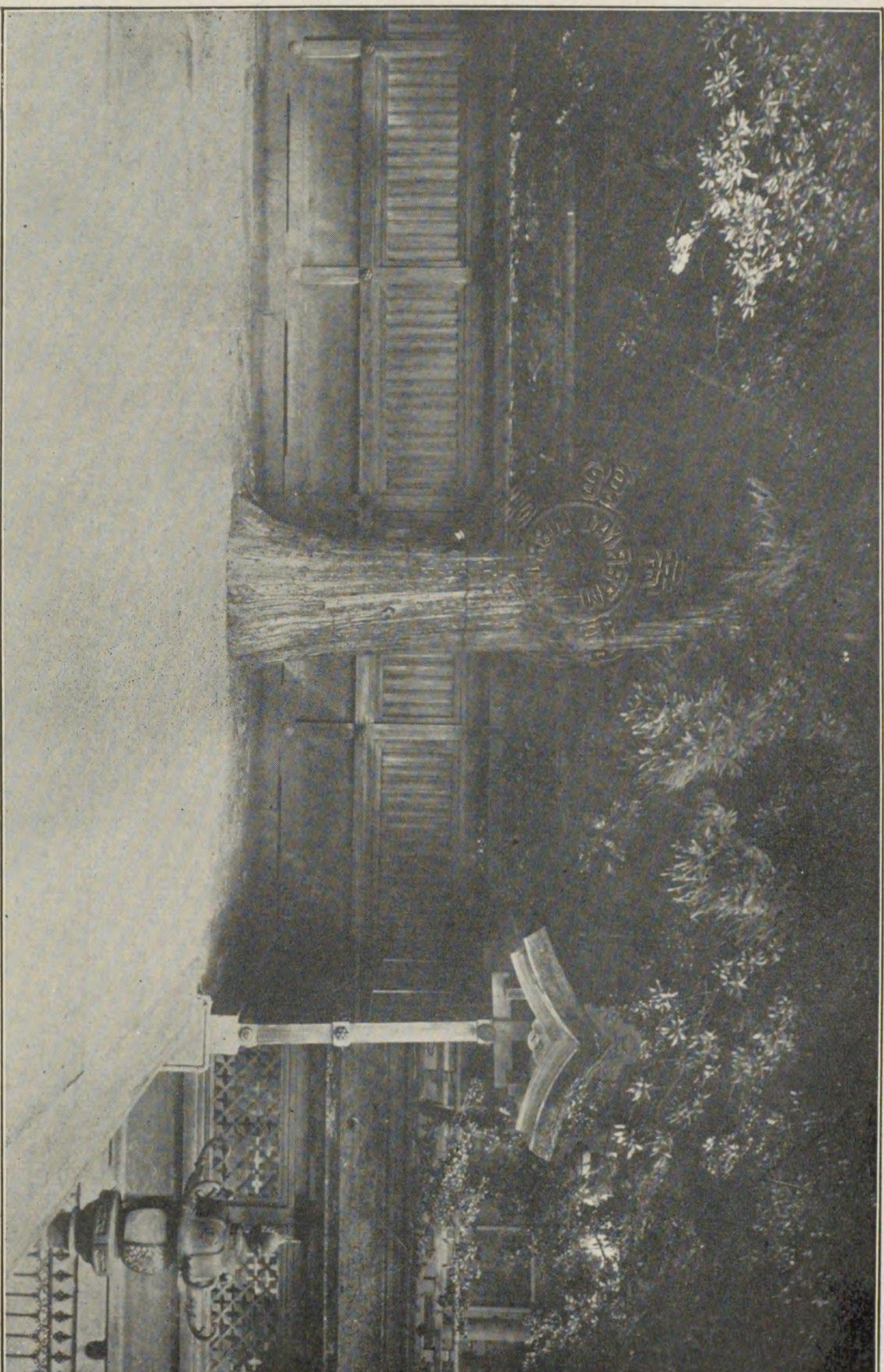
- (六) 全神樂殿
- (六) 神戸御末社金刀比羅神社
- (六) 全御本殿
- (六) 出雲御末社金刀比羅神社社前
- (六) 全御社殿
- (六) 琴平公園
- (六) 國有鐵道琴平驛
- (六) 琴平電鐵琴平驛
- (六) 琴平參宮電鐵琴平停留場
- (六) 琴平一之橋
- (七) 琴平北郊外

◎、神域圖



THE UNIVERSITY OF CHICAGO
SERIALS LIBRARY
540 EAST 58TH STREET
CHICAGO, ILL. 60637
TEL: 773-936-3300
FAX: 773-936-3301
WWW.CHICAGO.EDU/SERIALS

金刀比羅宮御本宮御本殿南御垣



(函) 金刀比羅宮御本宮御本殿南御垣

御本殿建坪九坪餘、檜皮葺、檜素木、

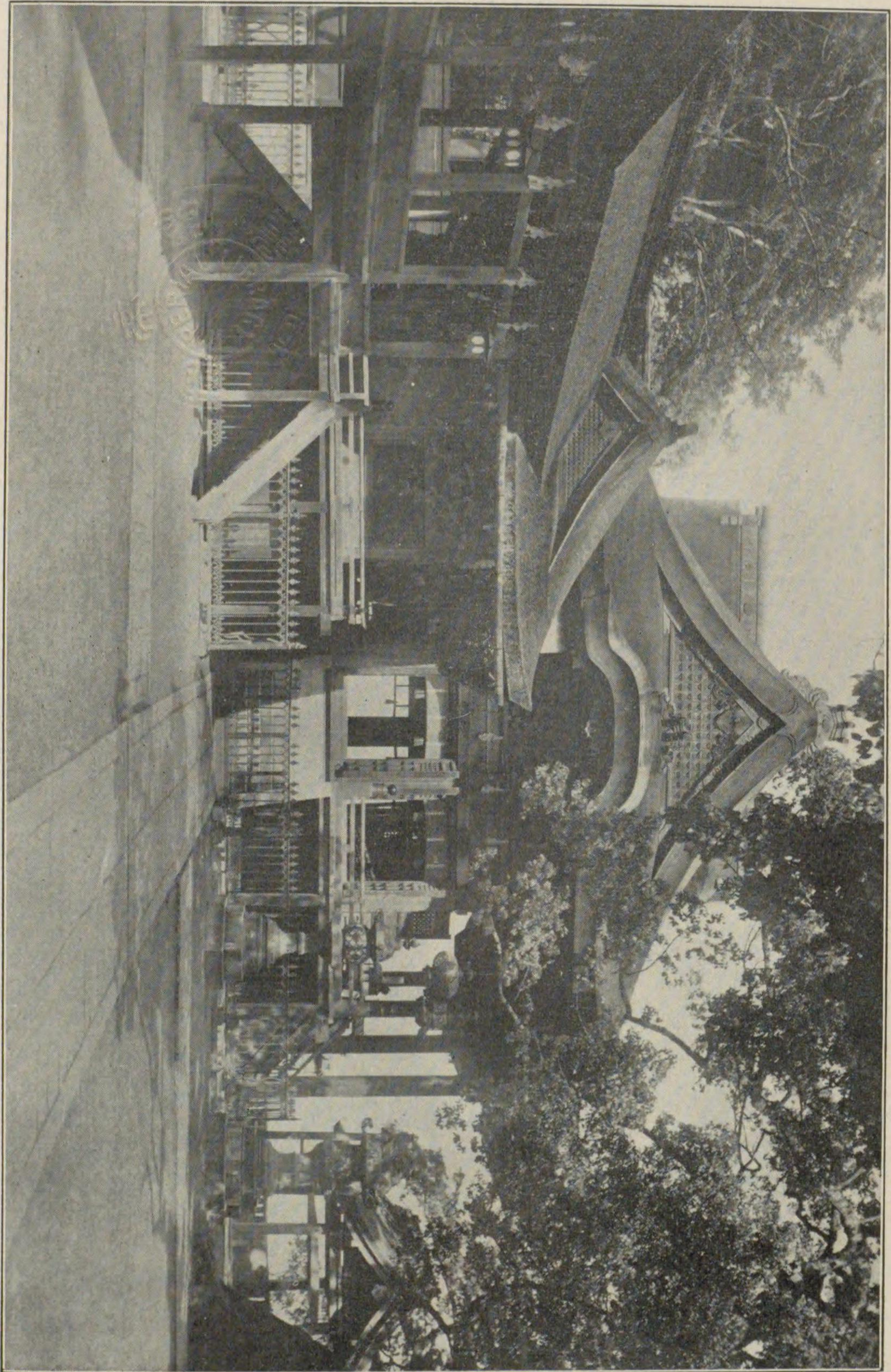
明治十一年改築。兩側御壁板には金

高蒔繪の櫻花圖あり。

寫眞は南御垣を隔て、御本殿の一部

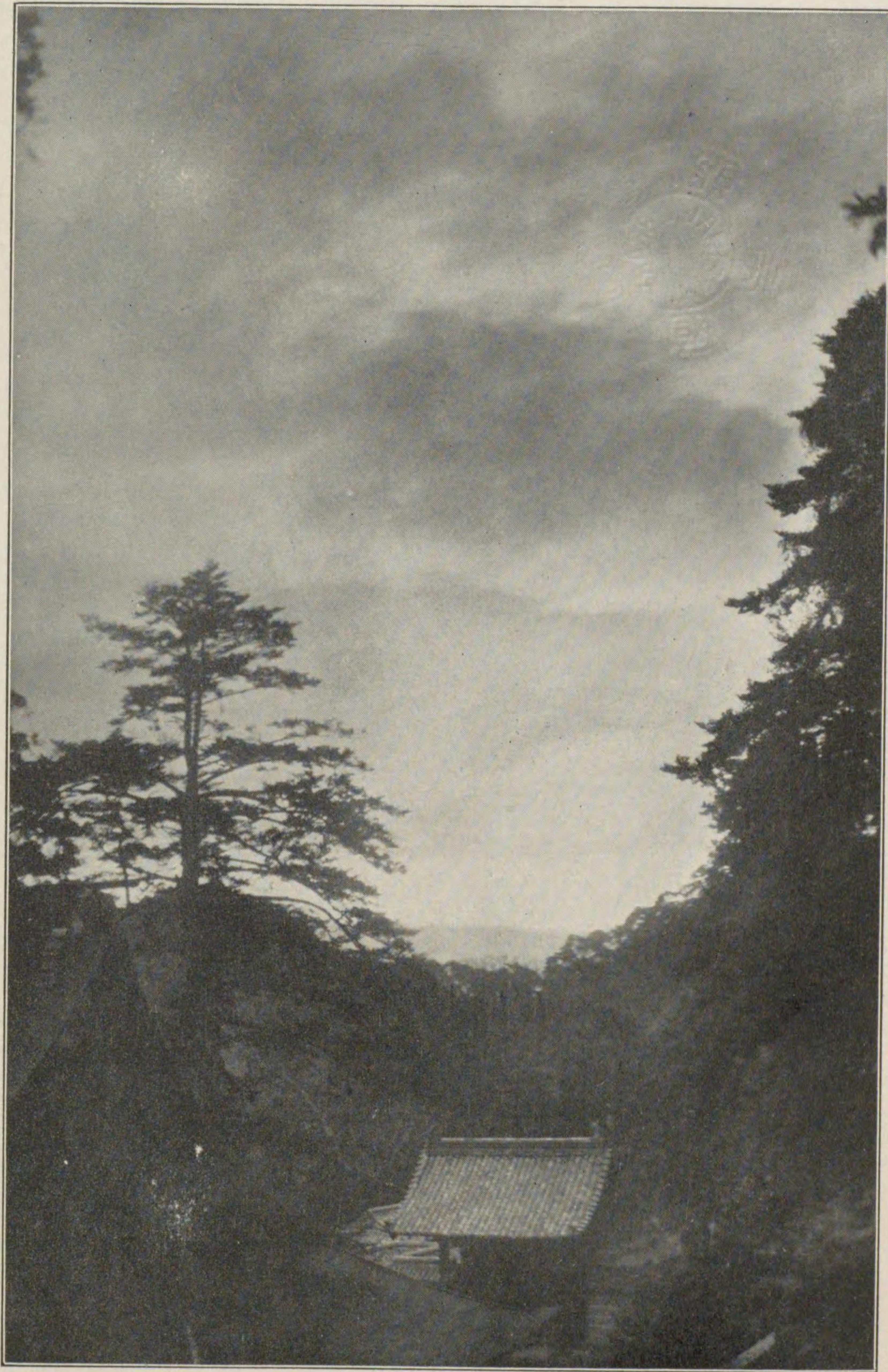
を伺ふ所なり。

(五) 金刀比羅宮御本宮拜殿
 拜殿建坪二十六坪餘、檜皮葺、檜素
 木、明治十一年改築。天井は吹寄格
 天井にして花卉圖金蒔繪を施す。
 圖は拜殿の南側面にして、中央なる
 は拜殿、向うて左なるは直所、これ
 につづけるは南渡殿なり。



金刀比羅宮御本宮拜殿

金刀比羅宮社務所表書院築山眺望



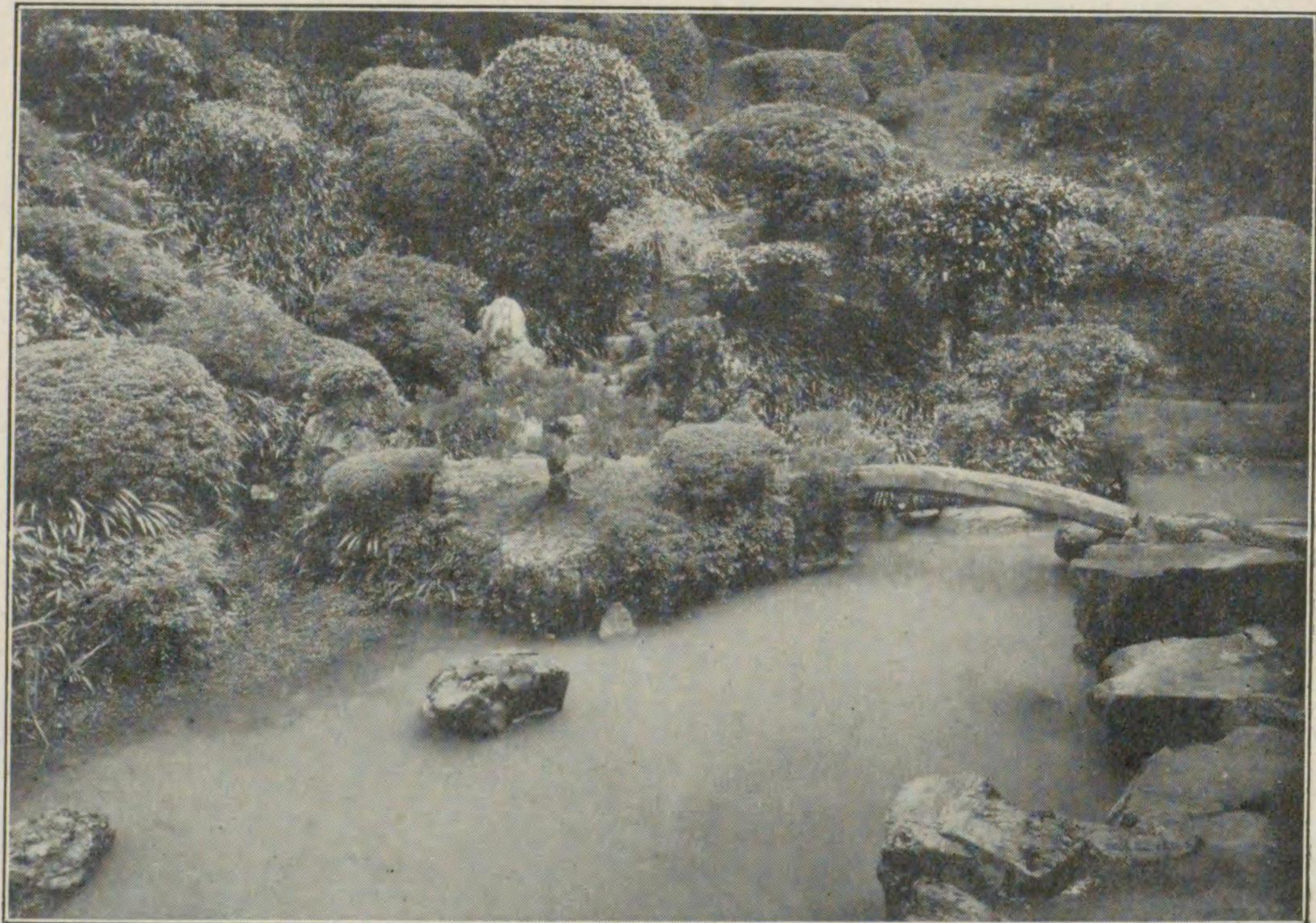
(六) 金刀比羅宮社務所表書院築山眺望

表書院築山の上より南を望む。

圖に向うて左端の屋根は表書院西妻の一部、遠き瓦屋根は社務所正門なる四脚門山の右なるは八景山神林の一部、左なるは愛宕山神林の一部、遙かなる山脈は阿波讃岐國境の連峰。



金刀比羅宮社務所表書院南庭



金刀比羅宮社務所表書院林泉

(七) 金刀比羅宮社務所表書院南庭

老杉數幹と亭々たる樅の大樹とのみにて工まざるうちに端嚴の氣溢るゝ南庭の概觀。老杉の間に見ゆるは祈禱殿、それにつゞける廻廊と四注檜皮屋根の神泉を見る。

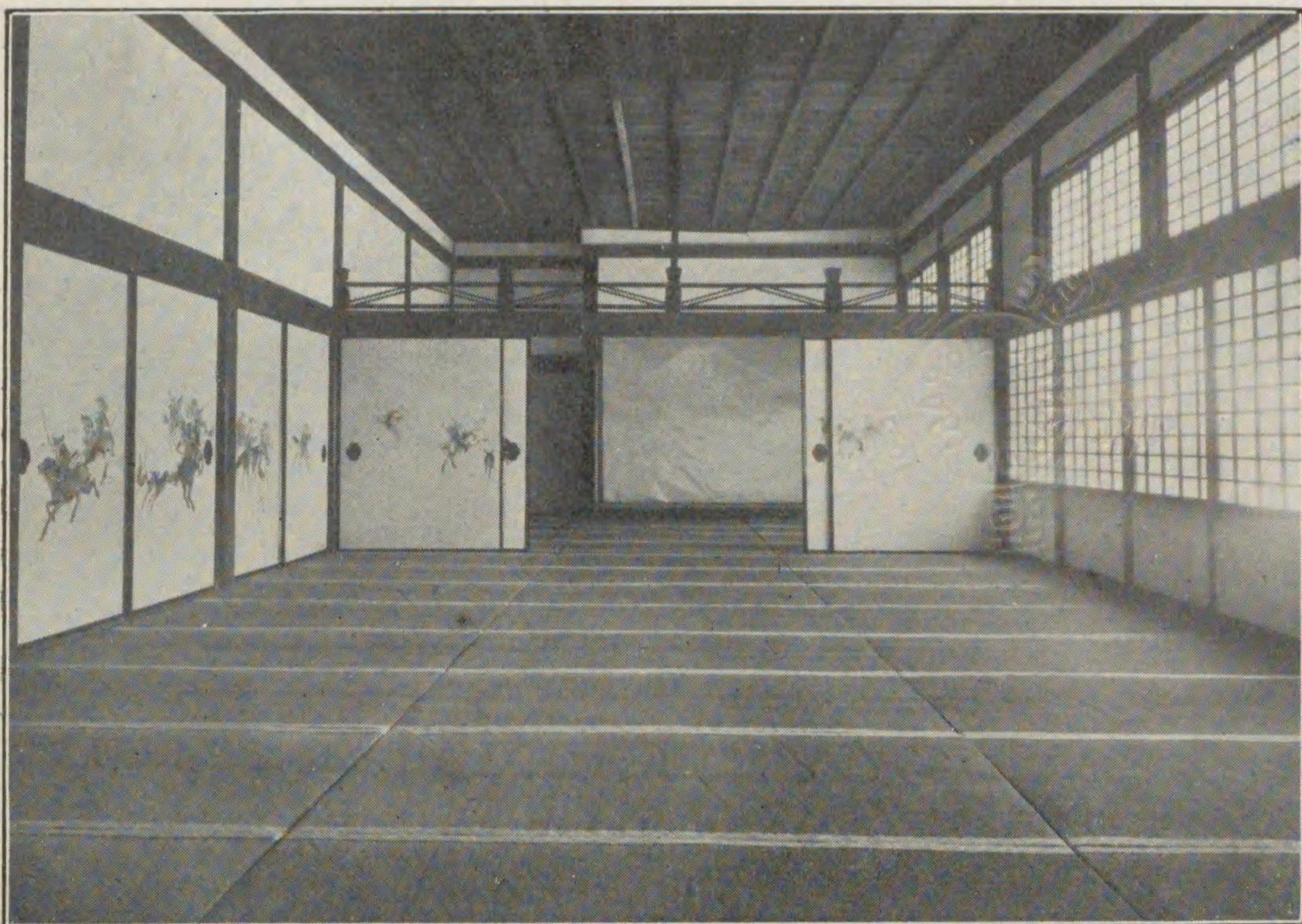
(八) 同社務所表書院林泉

表書院林泉は前池躍魚の名を以て古くより當山十二勝の一に計へらる。

藤澤 南岳

仁積是爲靈靈沼今在此已無網罟
患只飽芳餌美

金刀比羅宮社務所表書院富士之間



(六) 金刀比羅宮社務所表書院富士之間

富士之間は一之間、二之間の二室より成る。一之間床張附には白雲漂渺たる間に富嶽の雪を戴けるを描き、襖及明障子腰張には其裾野を書き、共に墨畫なり。二之間襖には濃彩を用ゐて建久四年源頼朝富士裾野に狩する状を書く。いづれも明治三十五年郵田丹陵の筆に成る。又二之間明障子腰張に畫ける濃彩障幕圖は同時伊東紅雲の筆なり。圖は二之間より一之間を望む。

金刀比羅宮社務所奥書院



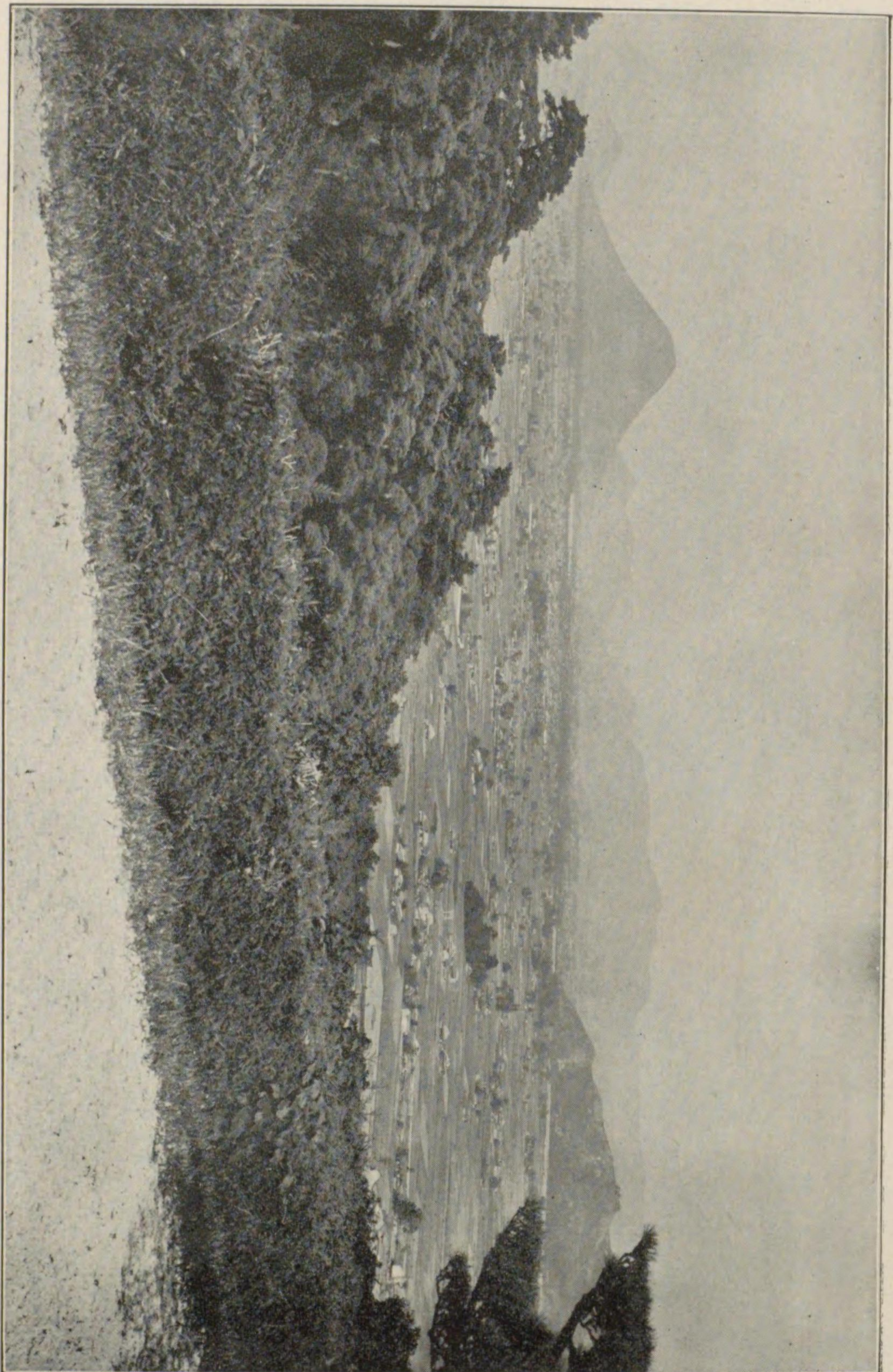
(七) 同社務所奥書院

奥書院は表書院の北にあり、入母家造、瓦葺、建坪五十二坪餘。萬治二年の建築にして、花之間、春之間、菖蒲之間、及柳之間の四室より成る。圖は北庭より菖蒲之間の一角を望む。

(北) 金刀比羅宮社務所奥書院眺望

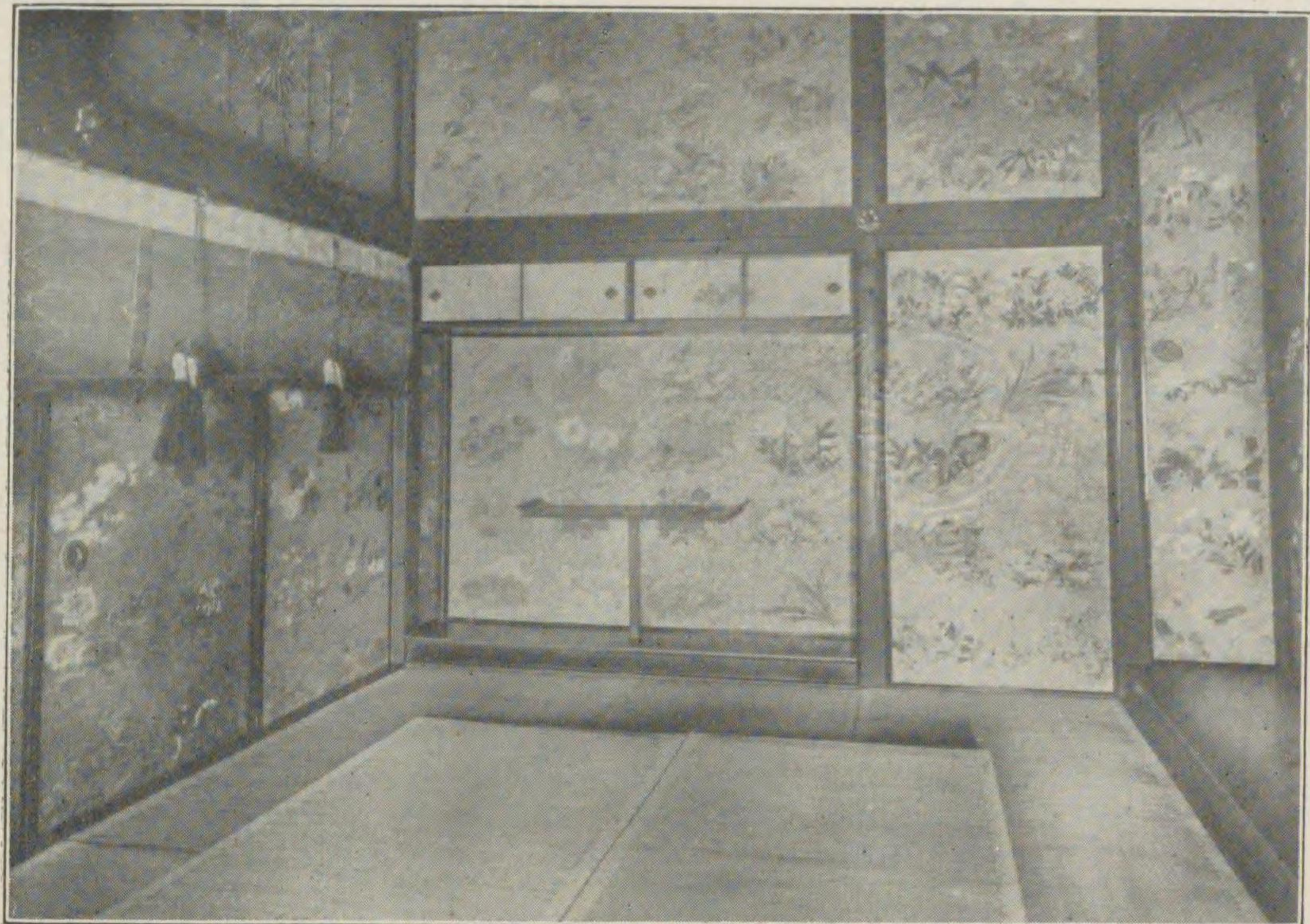
奥書院よりの眺望は絶佳にして、大正十二年畏くも 攝政宮殿下が、曉に駒を
 ぞめて見渡せば讃岐の富士に雲ぞかゝ
 れる、と詠ませ給へる讃岐富士は其麗容
 を那珂の平野の彼方に現はし、山本遠く
 流行く祇川(狭間川、土器川)の堤、廣野
 に散れる小松の岡、將又遠くかすめる瀬
 戸の海光、白峰、城山の群嶺等悉く指呼
 のうちにあり。

圖の左方富士型の山は讃岐富士の名を得
 たる飯山。

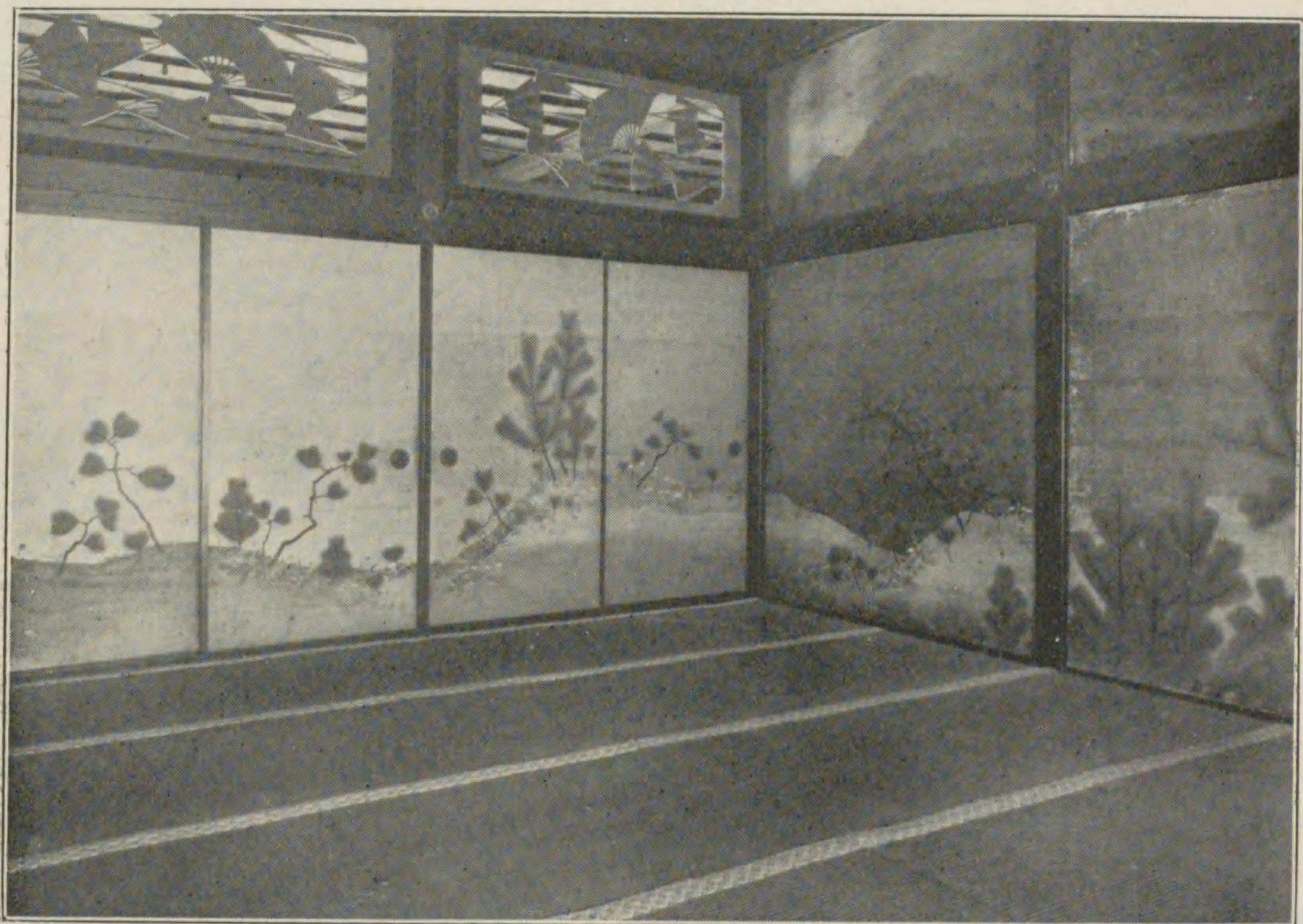


金刀比羅宮社務所奥書院眺望

金刀比羅宮社務所奥書院花之間



金刀比羅宮社務所奥書院春之間

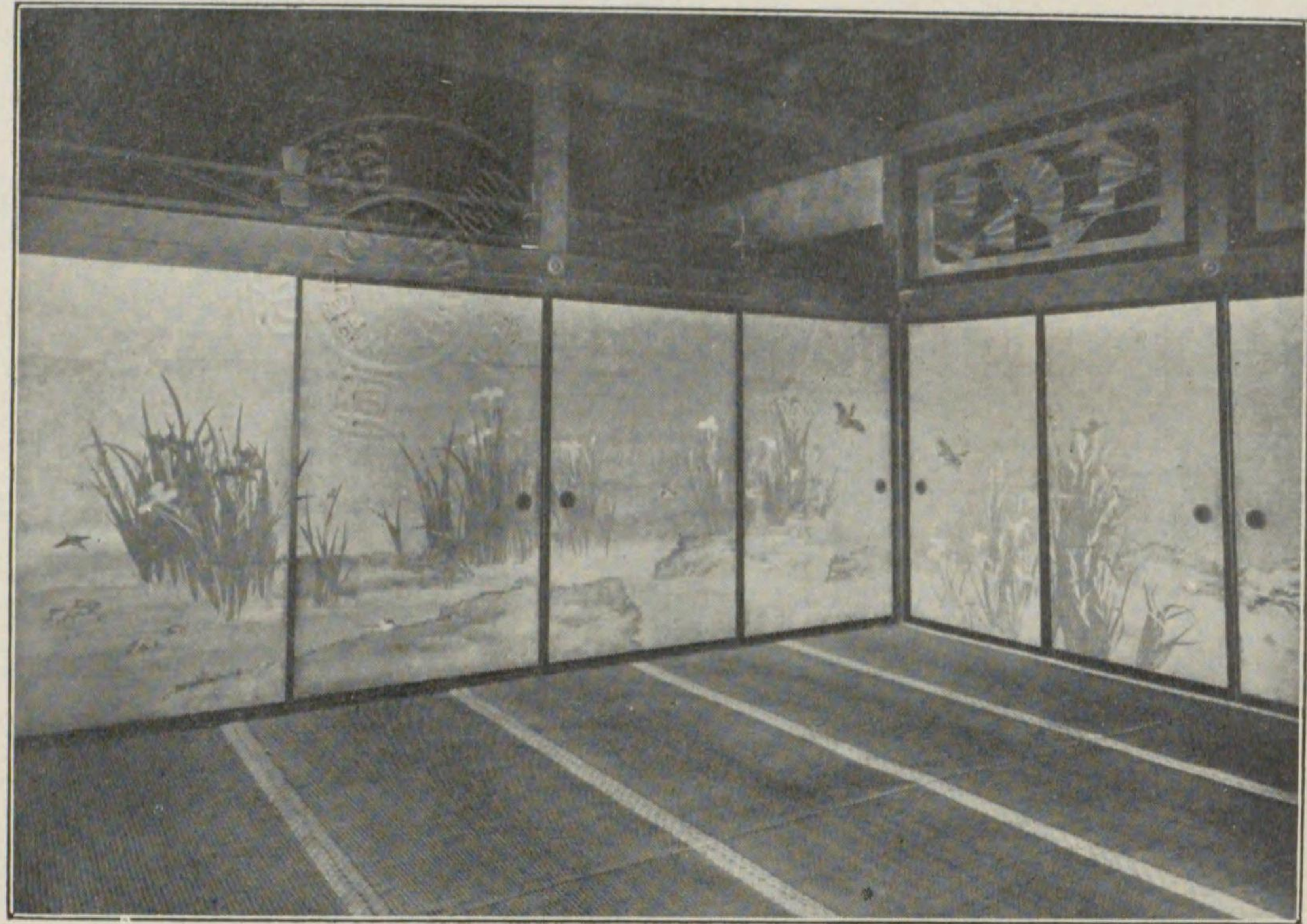


(二) 金刀比羅宮社務所奥書院花之間

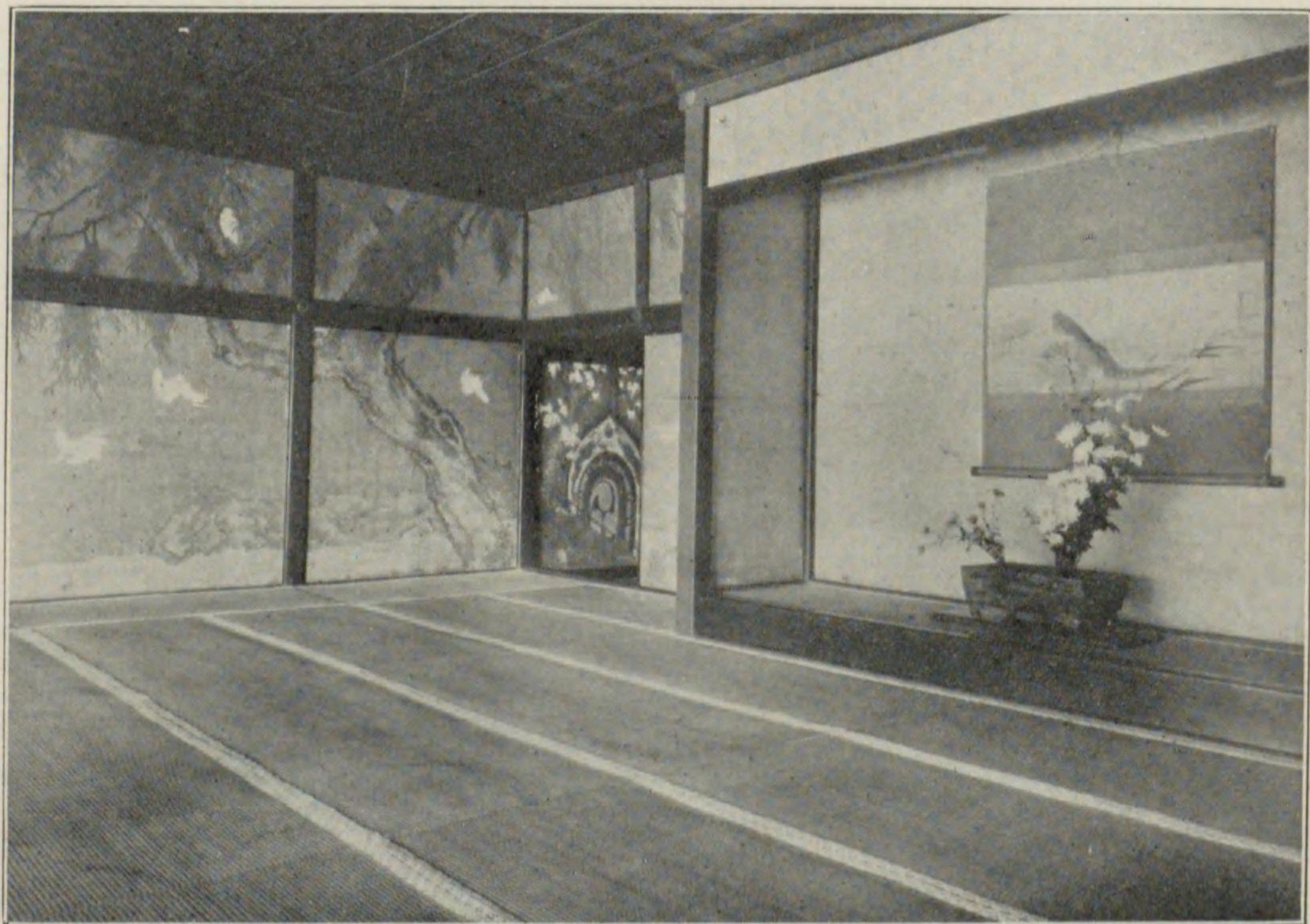
花之間は一に奥上段之間と稱し、奥書院最北の室にして、障壁に濃彩を以て各種の花卉を畫く、伊藤若冲の筆なり。圖に見ゆる墨畫山水小襖は狩野直信の筆にして、欄間籬菊の木彫は優秀を以て知らる。

(三) 同奥書院春之間

春之間は一に二之間と言ひ、其障壁には凡て金地濃彩にて春の野山を描く、筑前介岸岱の筆なり。明治二十四年七月九日臨時全國寶物取調局に於て優等にして美術上に要用なるものと認定せられたり。



金刀比羅宮社務所奥書院菖蒲之間



金刀比羅宮社務所奥書院柳之間

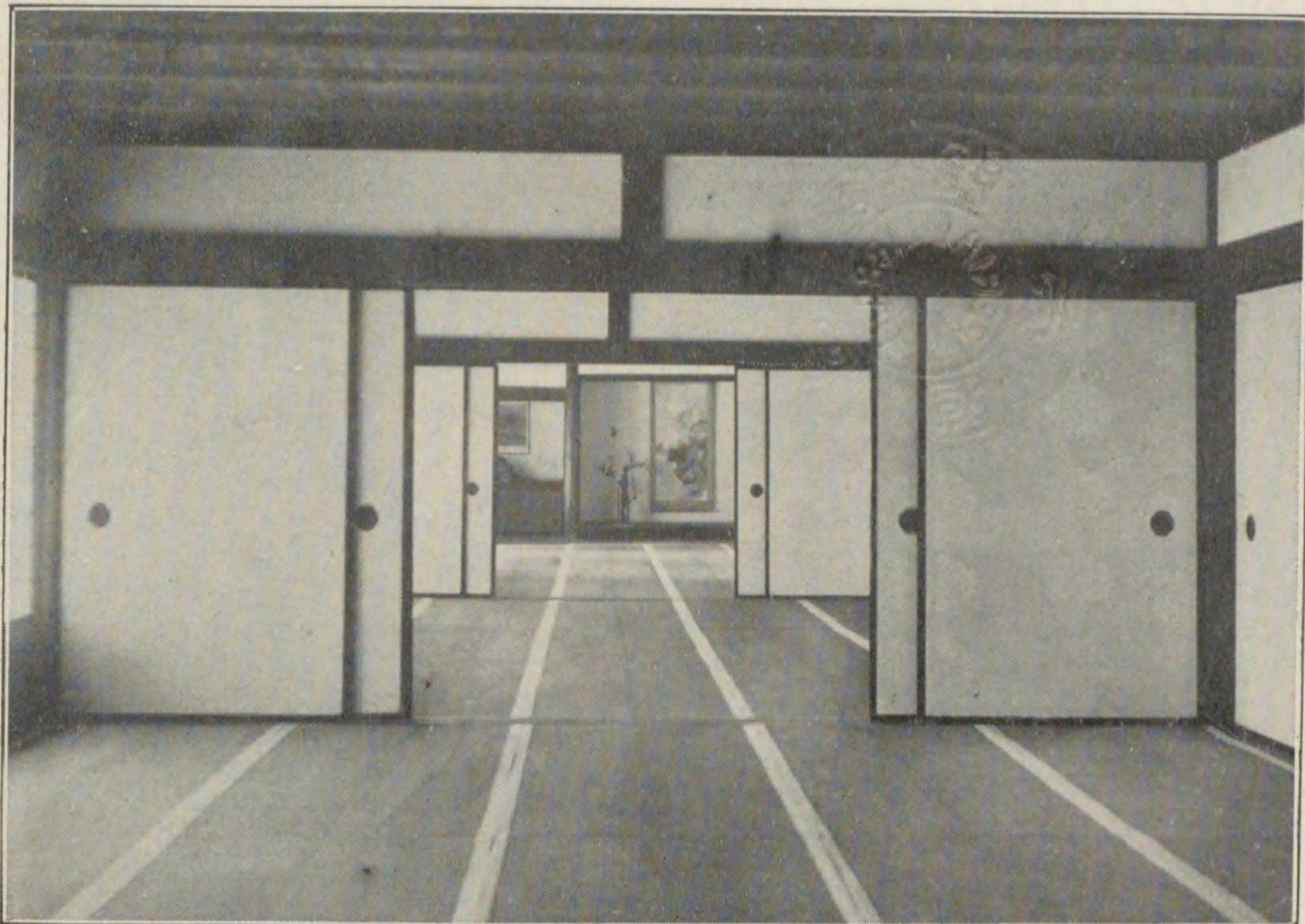
(四) 金刀比羅宮社務所奥書院菖蒲之間

菖蒲之間は一に三之間と云ひ、襖及明障子腰張には凡て金地濃彩にて水邊玉蟬花を描き、長押上張附も亦金地濃彩にて群蝶を描けり。共に岸岱の筆にして、臨時全國寶物取調局に於て優等にして美術上に要用なるものと認定せられたる事前圖に同じ。殊に群蝶圖は精緻なる寫生にして昆蟲學上の參考品としても亦頗る有益なるものなり。

(五) 同奥書院柳之間

柳之間は襖、障壁、共金地濃彩にて、柳に白鷺の圖を描く、岸岱の筆にして恐らくは其畢生の大作ならん。是亦臨時全國寶物取調局に於て、優等にして美術上に要用なるものと認定せられたり。圖に見ゆる床懸物は長澤蘆雪筆鯉圖又次室に見ゆる太鼓圖衝立は岸岱筆なり。

金刀比羅宮社務所白書院



金刀比羅宮社務所奥小座敷



(癸) 金刀比羅宮社務所白書院

白書院シロショインは一に新書院と稱し、一之間、二之間、三之間の三室より成る。瓦葺、建坪六十二坪餘、明治十年建築。

圖は三之間より二之間を隔て、一之間を望む。

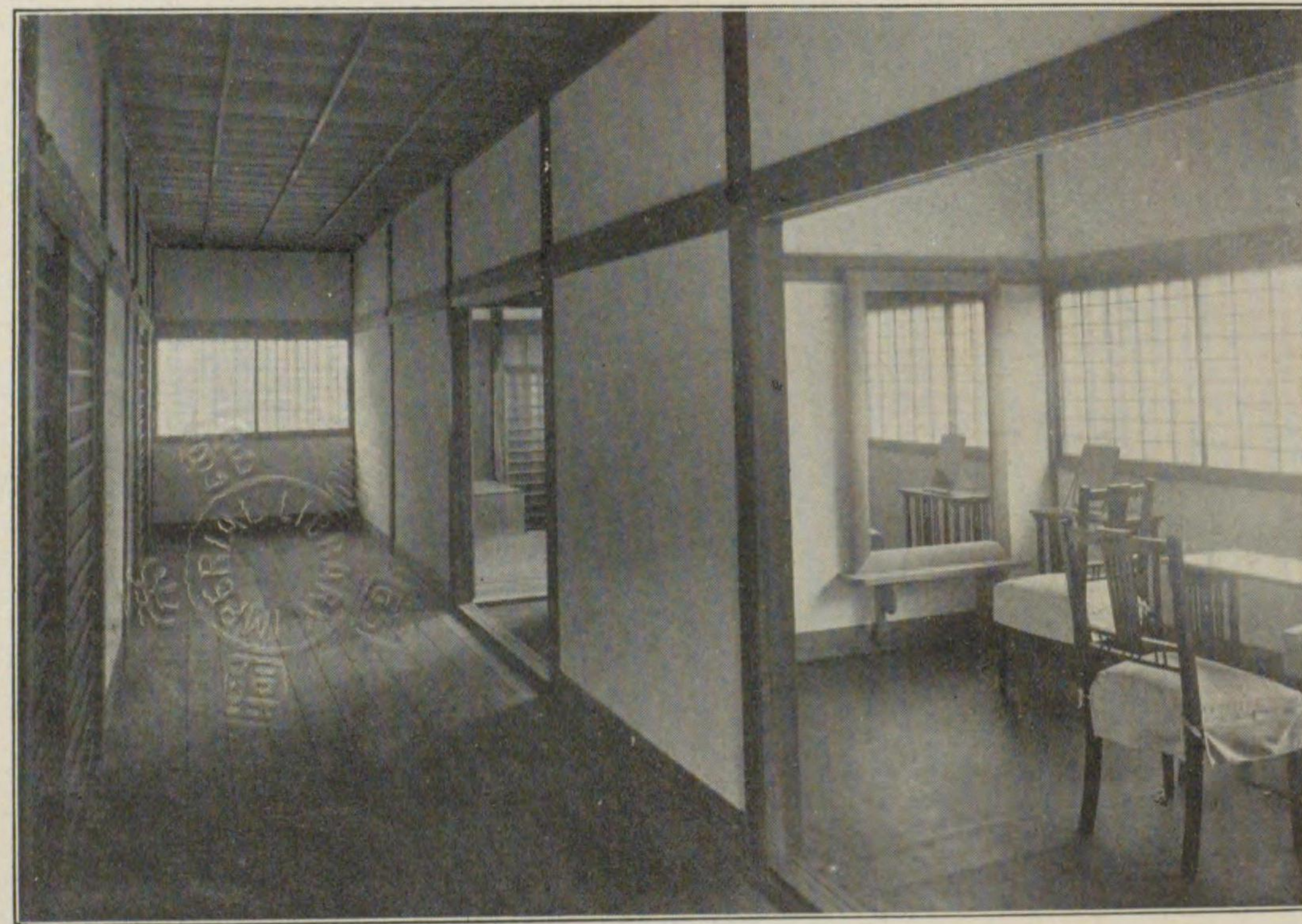
(壬) 同社務所奥小座敷

奥小座敷オクノコソヅシキは一之間、二之間の二室より成る。瓦葺、入母家造、

建坪十坪餘。



金刀比羅宮社務所化粧殿



金刀比羅宮社務所化粧殿内部

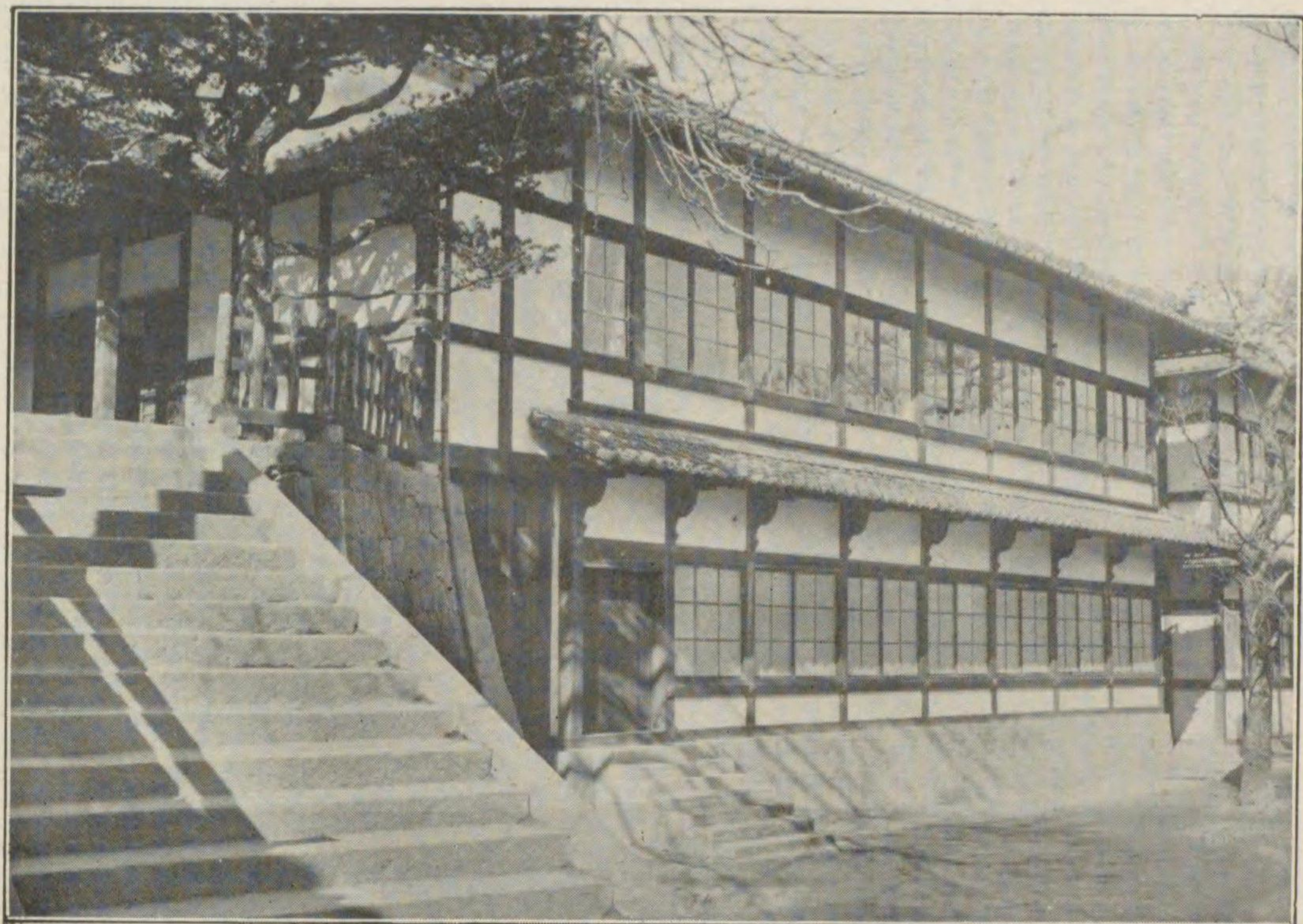
(九) 金刀比羅宮社務所化粧殿

化粧殿は奥書院の北にあり。化粧室、更衣室、湯殿、洗面所、其他二室、合計六室より成る。檜素木切妻造、瓦葺、建坪二十五坪餘。大正九年建築。主として皇族御用の御化粧殿なり。

(九) 同 内部

圖に向うて右端は御化粧室、其次は御更衣室、これに隣りて御湯殿の一部を見る。

金刀比羅宮社務所事務室



金刀比羅宮神苑青葉岡南庭

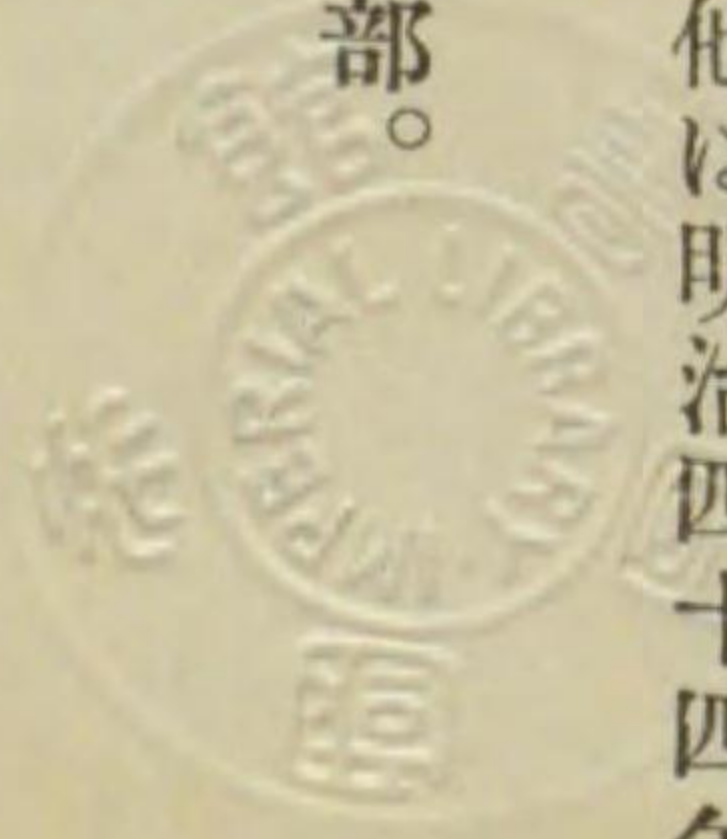


(一〇) 金刀比羅宮社務所事務室

事務室は東西兩棟に別れ共に瓦葺二階建にして、西棟は延坪六十三坪餘、明治十三年建築。東棟は延坪二十八坪餘、大正三年建築。宮司室、禰宜室、第一課、第二課、第三課、用度室、山林係室、電話交換室、宿直室、口番室、等より成る。
圖の近きは西棟、遠きは東棟。

(一一) 同神苑青葉岡南庭

神苑は櫻馬場^{サクラババ}北方の阜陵に起り、溪を跨ぎ岡を越わたる廣き地域を占め、風致保護區共二萬八千四百餘坪、主道延長十八町餘、寶物館、圖書館、運動場、等此地域にあり。青葉岡^{アキバガク}、常磐森^{トキハノモリ}、待宵山^{マドヨシヤマ}、時雨岡^{トキアメノカ}、涼杜^{スズク}、千種臺^{チヌサノダイ}、藤溪^{フジノカ}、袖岡^{スそノカ}、小杉森^{コスギノモリ}、朝日岡^{アサヒノカ}、千歲岡^{チトセノカ}、の一區より成る。青葉岡は明治四十年、千歲岡は大正十年、他は明治四十四年の開園。
圖は青葉岡南庭の一部。





(三) 金刀比羅宮寶物館

寶物館は櫻馬場北方の阜陵神社青葉

岡にあり。華岡石入母家造、平入、

瓦葺、二層建、延坪百坪。車寄は唐

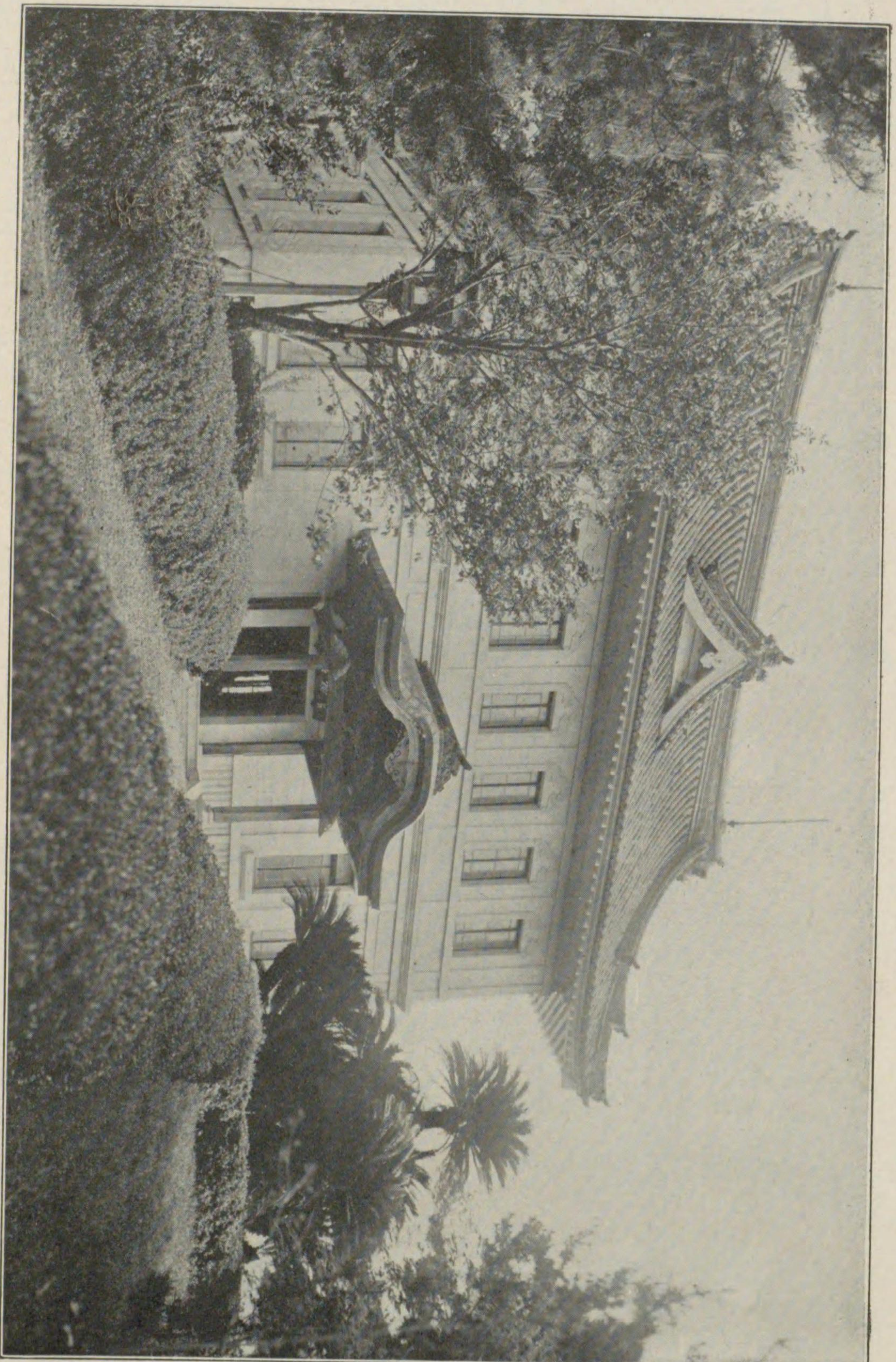
破風造銅葺。明治三十八年建築。

大口鯛二

神寶藏めまつれるほくらにも高き

みいつの仰かるゝかな

金刀比羅宮寶物館



金刀比羅宮寶物館内部



金刀比羅宮神苑青葉岡庭松



(一三) 金刀比羅宮寶物館内部

圖は寶物館階上の一部。

此圖に見ゆる、向うて左より第二の陳列棚にかゝれるは 後奈良天皇宸翰、其下の御檜扇は 英照皇太后陛下御料御柏扇、又最右端八角棚のうちなるは國寶十一面觀音像、壁間に懸れるは狩野探幽、同永真、同尙信の描ける三十六歌仙額。

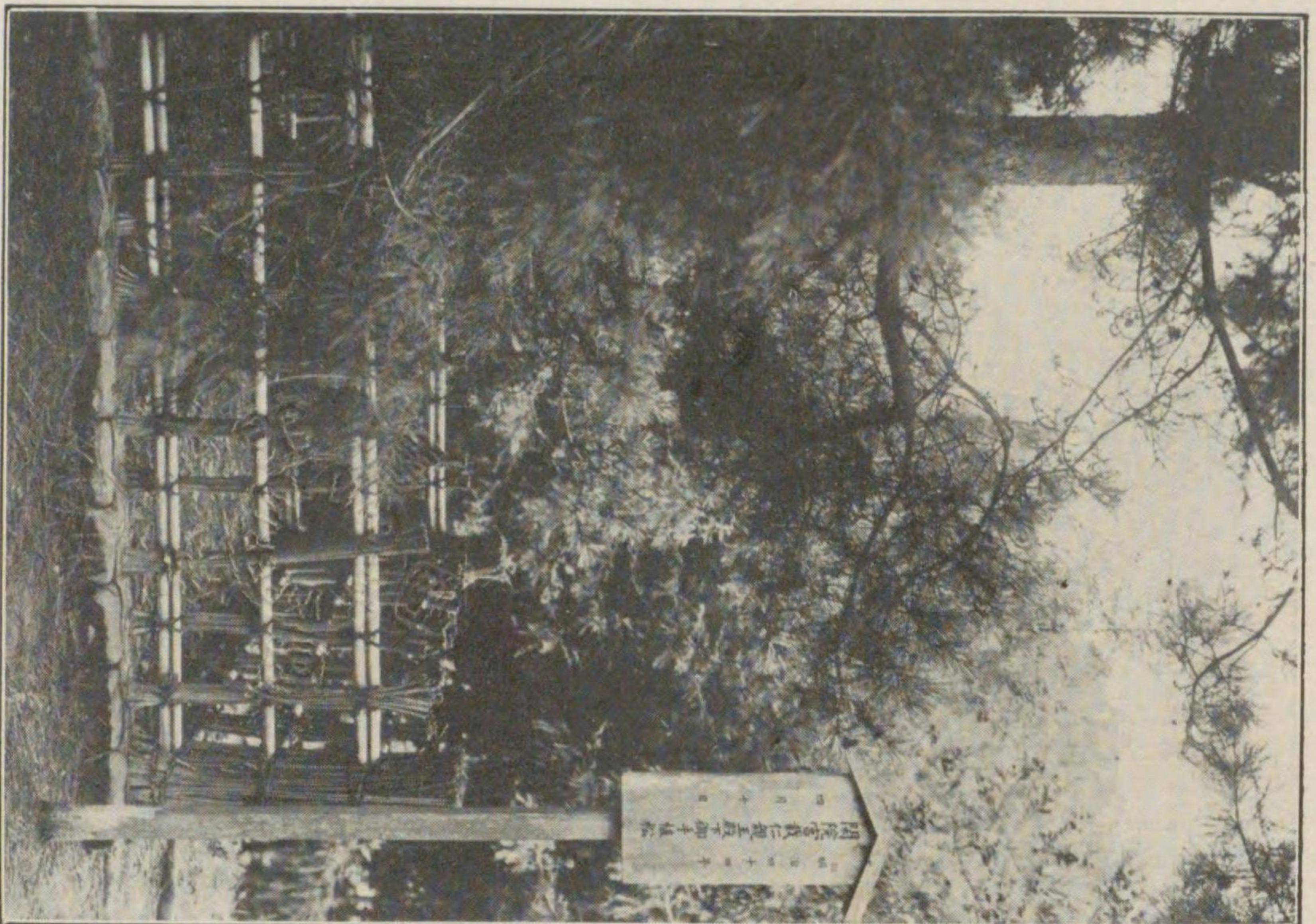
(一四) 同神苑青葉岡庭松

寶物館の東に老松あり、枝條

蜿蜒として姿態賞すべし。

明治四十四年四月十日閑院宮載仁親
王殿下、同妃智恵子殿下當宮御參拜
の砌、親王殿下の御手栽あらせられ
たるもの。神苑青葉岡にあり。

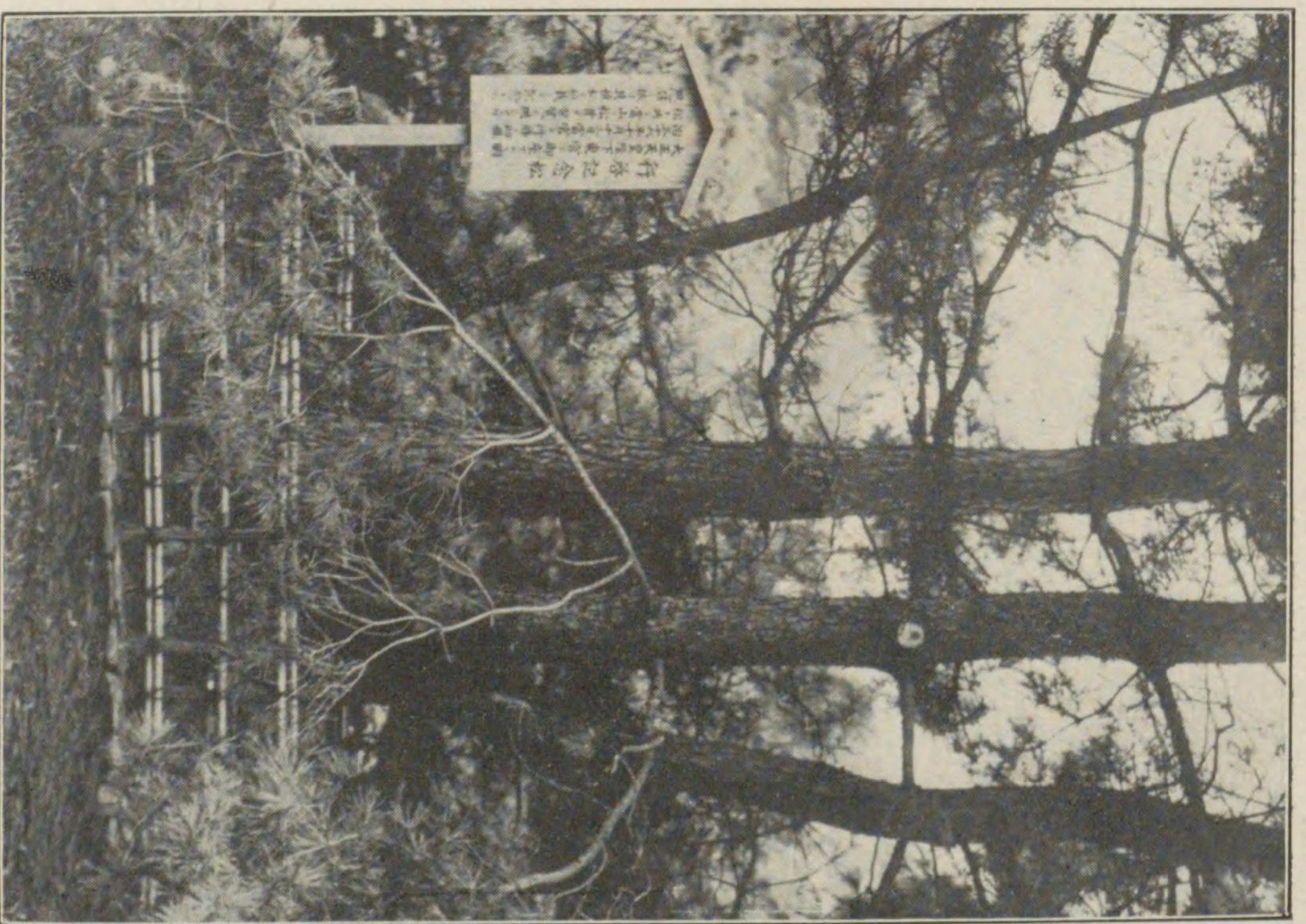
(三〇) 閑院宮殿下御手植松



閑院宮殿下御手植松

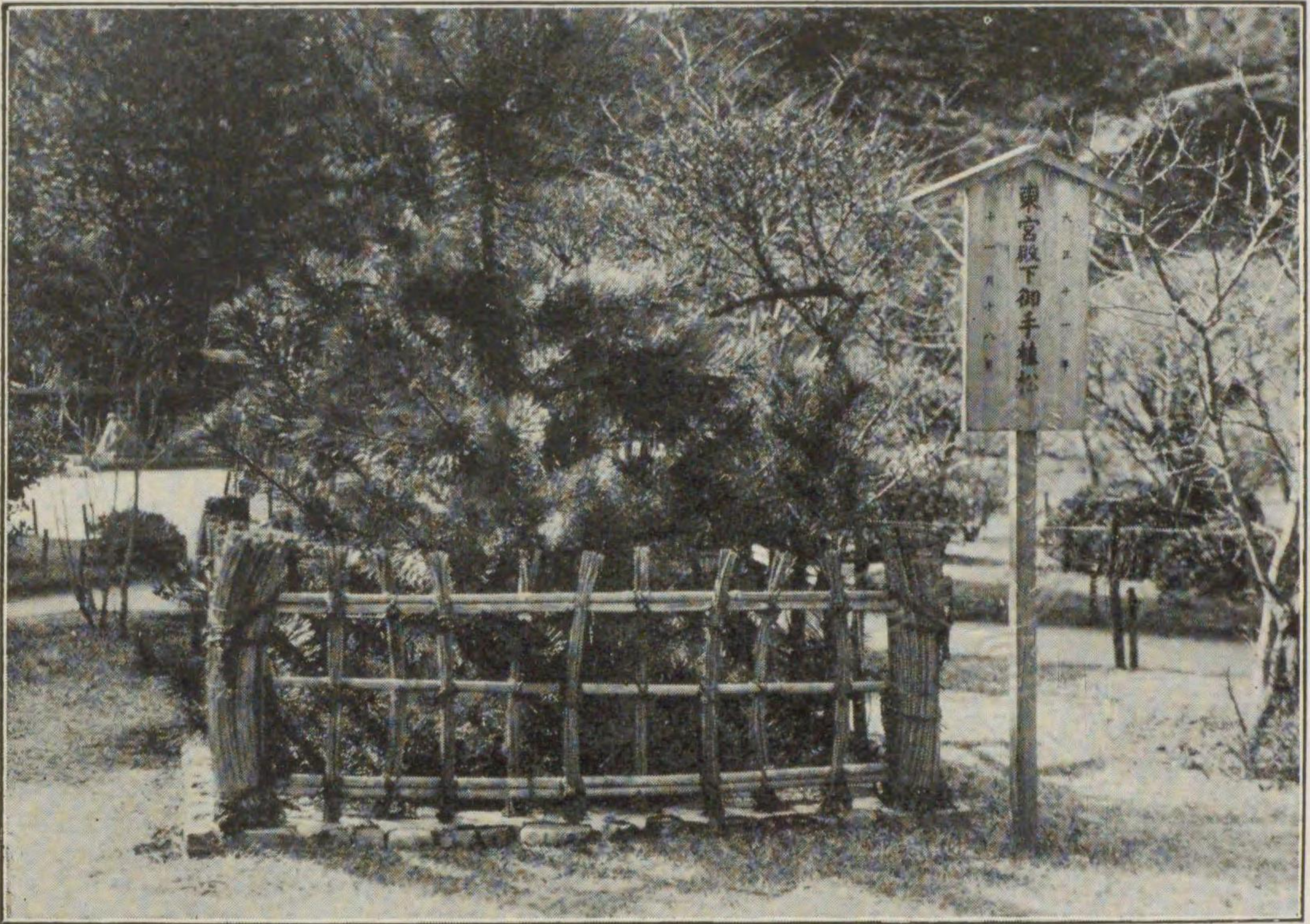
大正天皇陛下いまだ東宮にまし
し明治三十六年十月十三日當宮に御
參拜あらせられしが、社務所奥書院
に於て琴平山の松草を稚松と共に堀
取り盆栽として台覽に供へたるに御
興斜ならず、やがて思召によりて記
念の爲其稚松を植ゑたるもの即これ
なり。神苑青葉岡にあり。

(三一) 東宮殿下行啓記念松

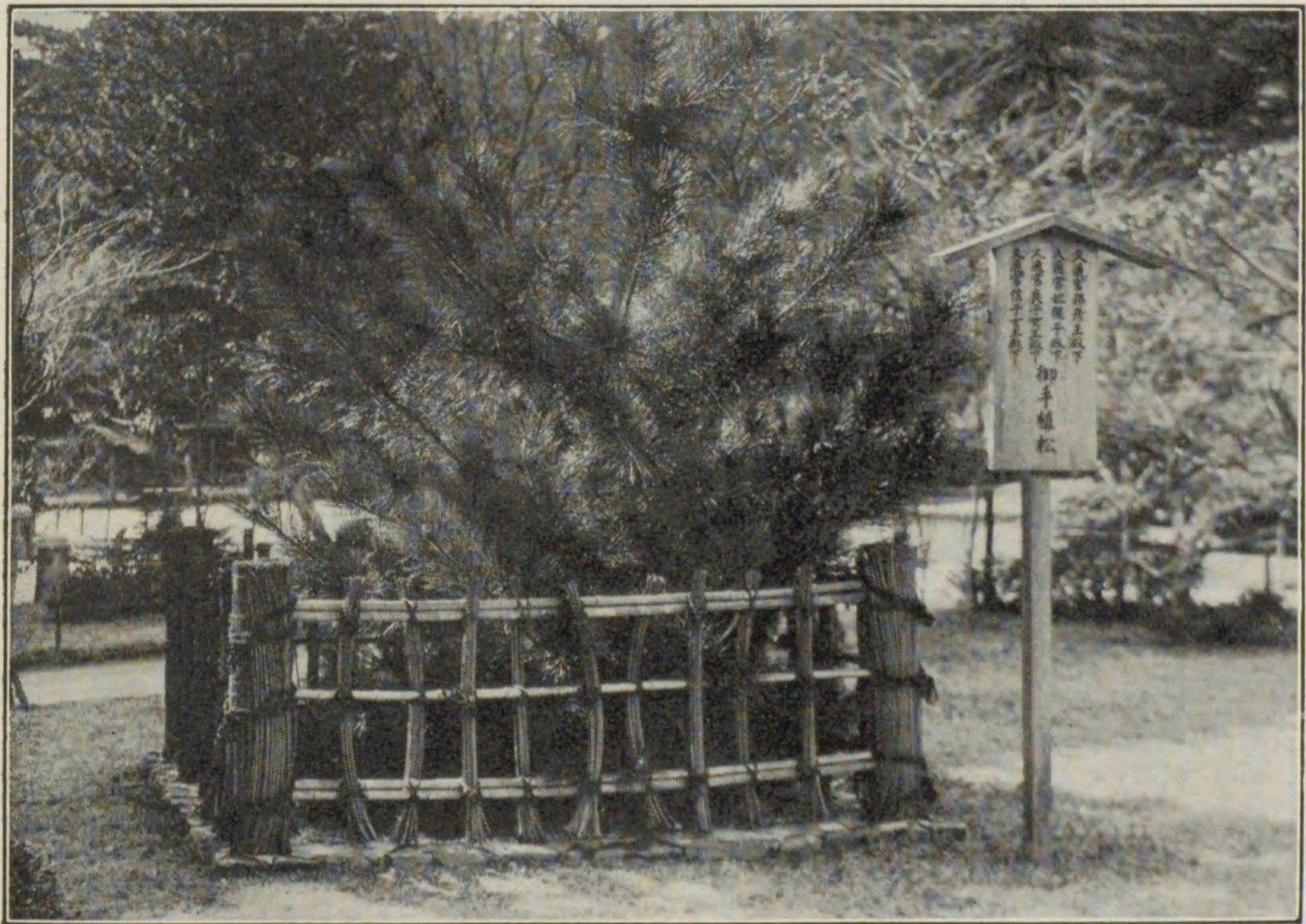


東宮殿下行啓記念松

東宮殿下御手植松



久邇宮殿下御手植松



(二七) 東宮殿下御手植松

今上天皇陛下いまだ東宮にまじ
くし大正十一年十一月十八日
當宮に御參拜の砌御手栽遊はさ
れたるもの。神苑青葉岡アヲバガサカにあり。



(二八) 久邇宮殿下御手植松

大正十二年五月十一日、久邇宮邦
彦王殿下ヨシノ、妃チカ倪子殿下、良子女王
殿下ナガ、信子女王殿下ノブ、當宮に御參
拜の砌、四殿下御共々に御手植遊
はされたるもの。神苑青葉岡アヲバガサカにあ
り。

(三九) 攝政宮殿下御野立所

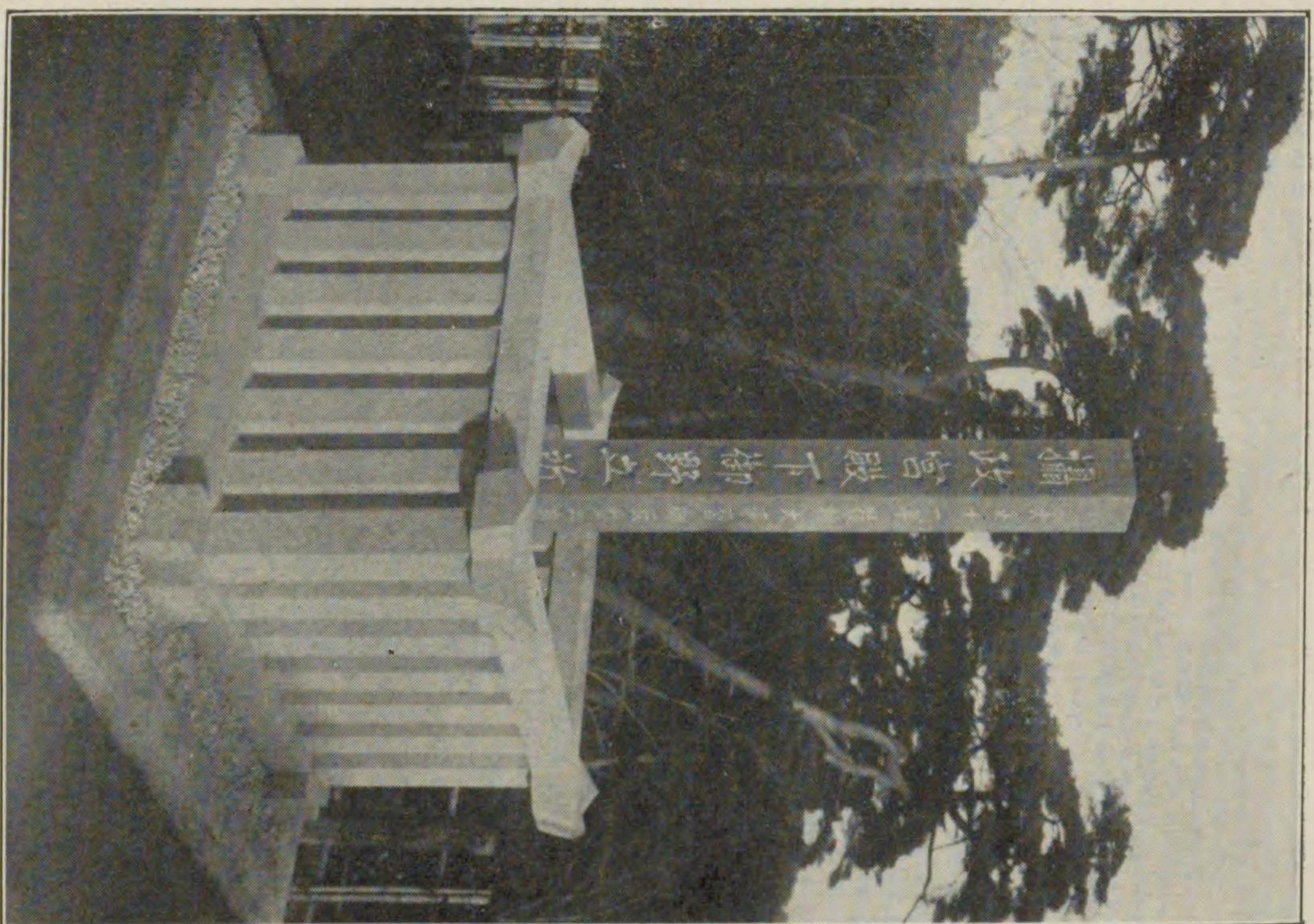
今上天皇陛下いまだ東宮に座し、大正十一年十一月陸軍特別大演習に際し、攝政宮として親しく軍を御統監遊はされたるが、其十一月十八日には展望開闢なる神苑青葉岡の此地點に於て御統裁遊はさせられたり。

御野立所記念碑は花崗石にして、文字は其當時の第十一師團長陸軍中將向西兵庫の筆。

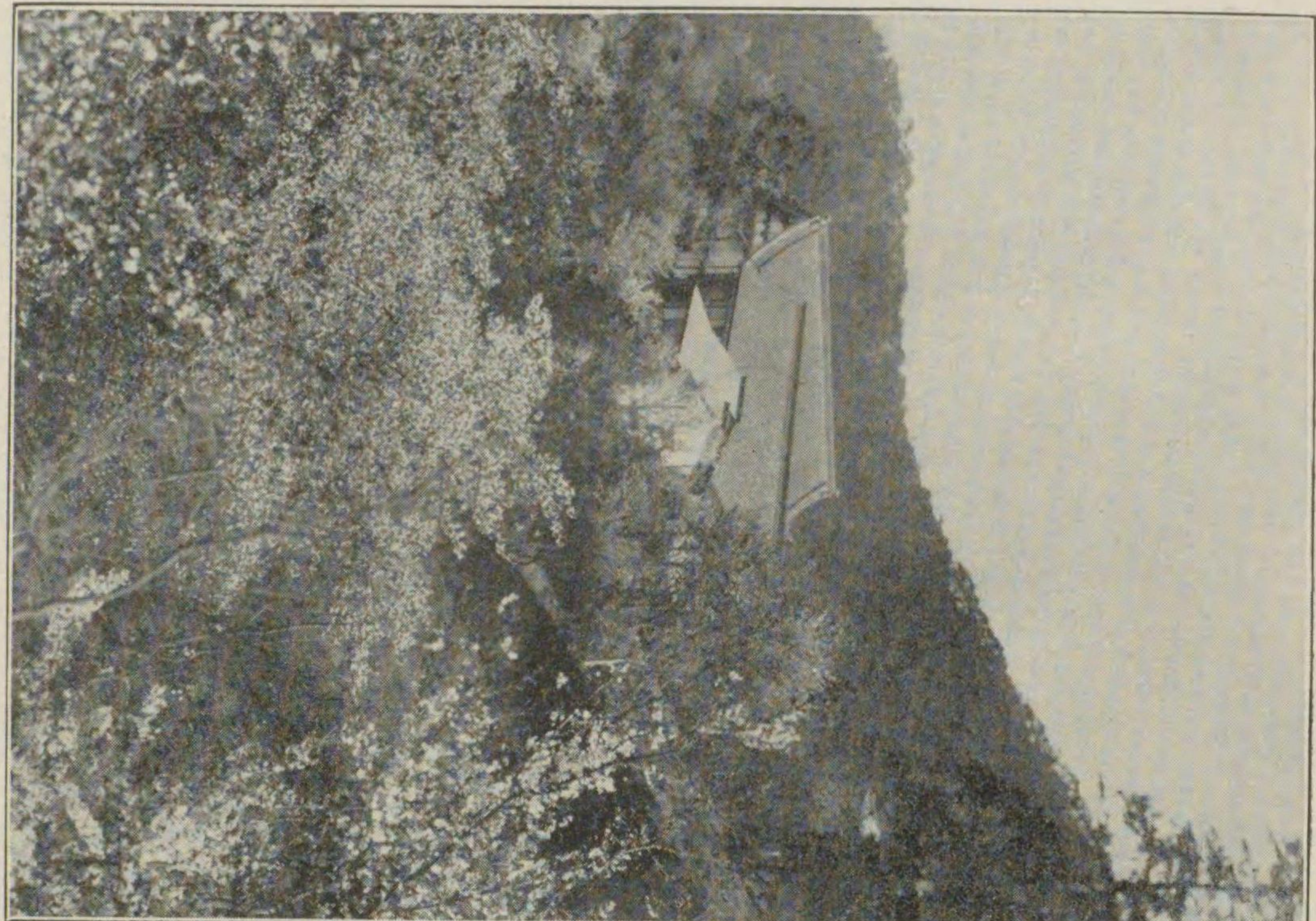
(三〇) 金刀比羅宮神苑青葉岡
青葉岡は展望廣き臺地なるが、圖は東方を望めるものにして、建物は當宮崇敬講社本部、其背後の山は、高きは琵琶溪神林、低きは琴平公園の一部。

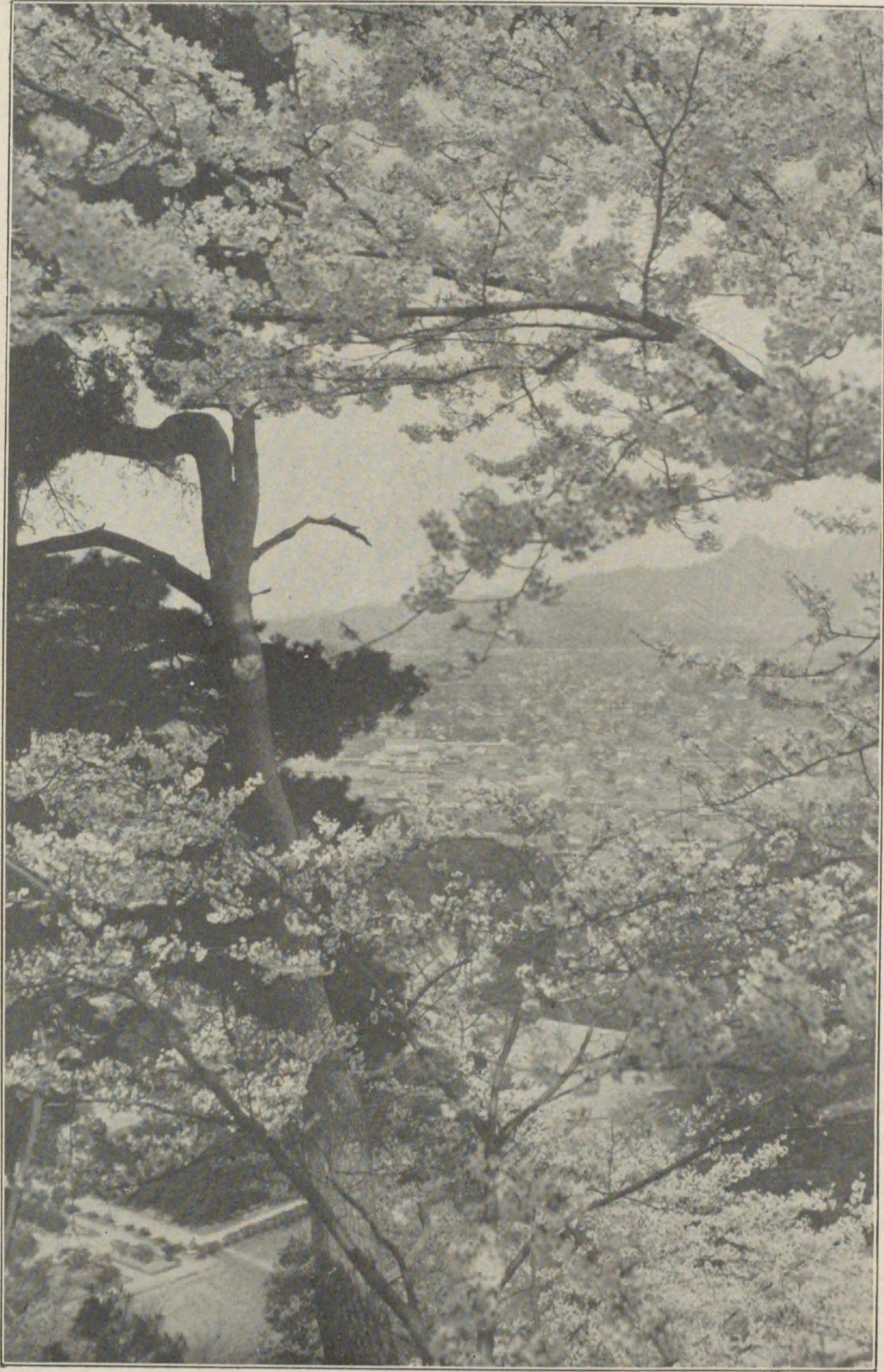
子爵 前田利定
初夏の雲おたやかに舞浮かぶ青葉若葉の神森の上に

攝政宮殿下御野立所



金刀比羅宮神苑青葉岡





(三) 金刀比羅宮神苑青葉岡眺望

青葉岡アチバガワカよりの眺望は殊に勝れ、讚岐富士の名を以て知られたる飯山イヒノヤマを始め、城山キヤマ、白峰山シロミネヤマ、青山アチノヤマ、與北山ヨギタヤマ、祓川ハラヒカハ、那珂の平野、其平野に點在せる村落、近くは琴平市街、榎井エナヰ、四條シヨウ、象郷ザウゴウの諸村を望み。神苑千歳岡チトセオカ、千種臺チクウノダイ、袖岡等眼下に在り。圖は満開の櫻の木の間を透して琴平市街を望む。

池邊義象

野も山も霞に消れて神園の花のにはひのしるき今日かな



(三) 金刀比羅宮神苑常磐森

常磐森は青葉岡の西北にトキバナキつゝく幽閑なる地區にして、樟、檜、松を主木として櫻槭を點綴す。

池邊義象

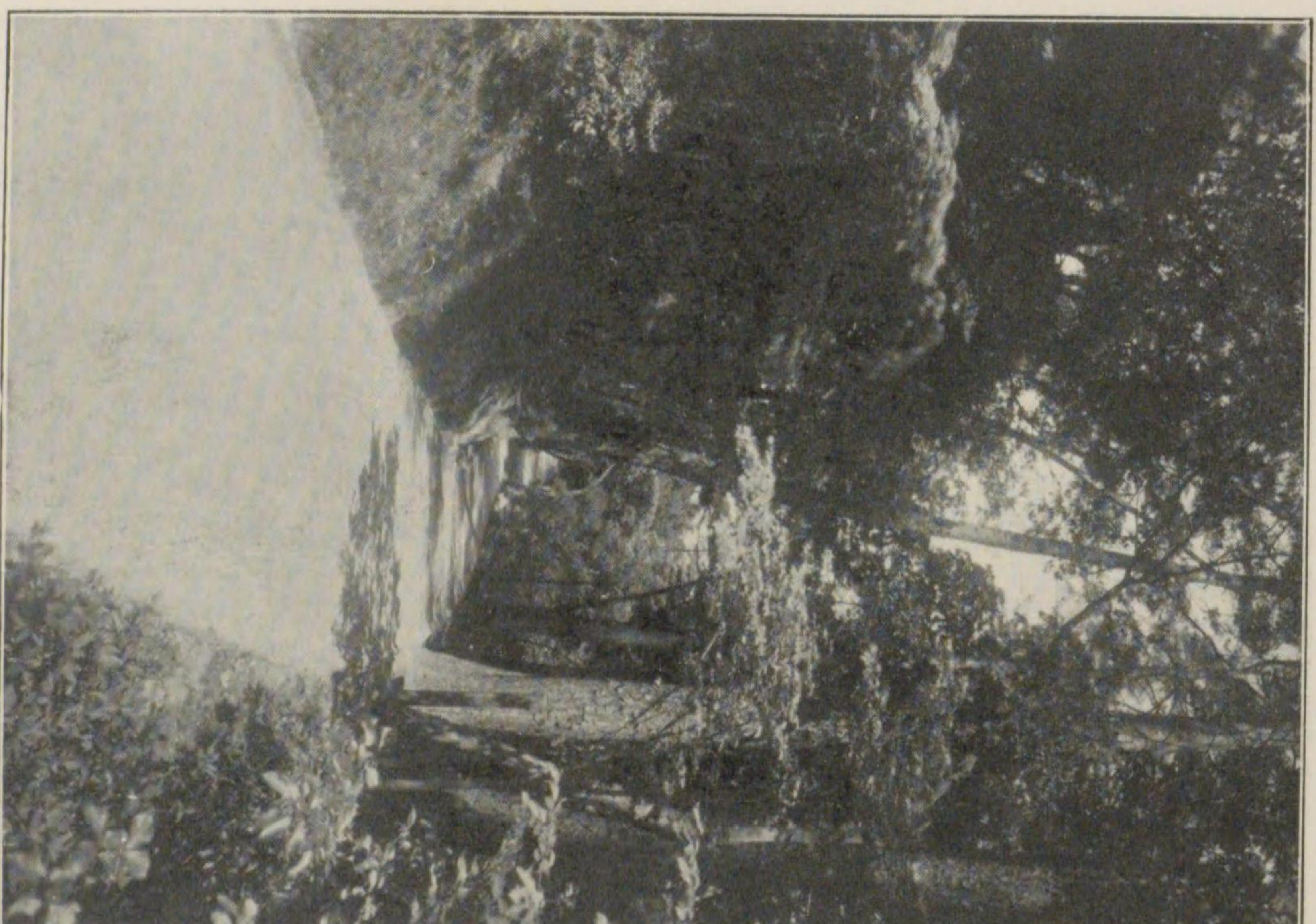
松風に調あはせて琴平の秋を知らするひぐらしの聲

(三) 同神苑待宵山

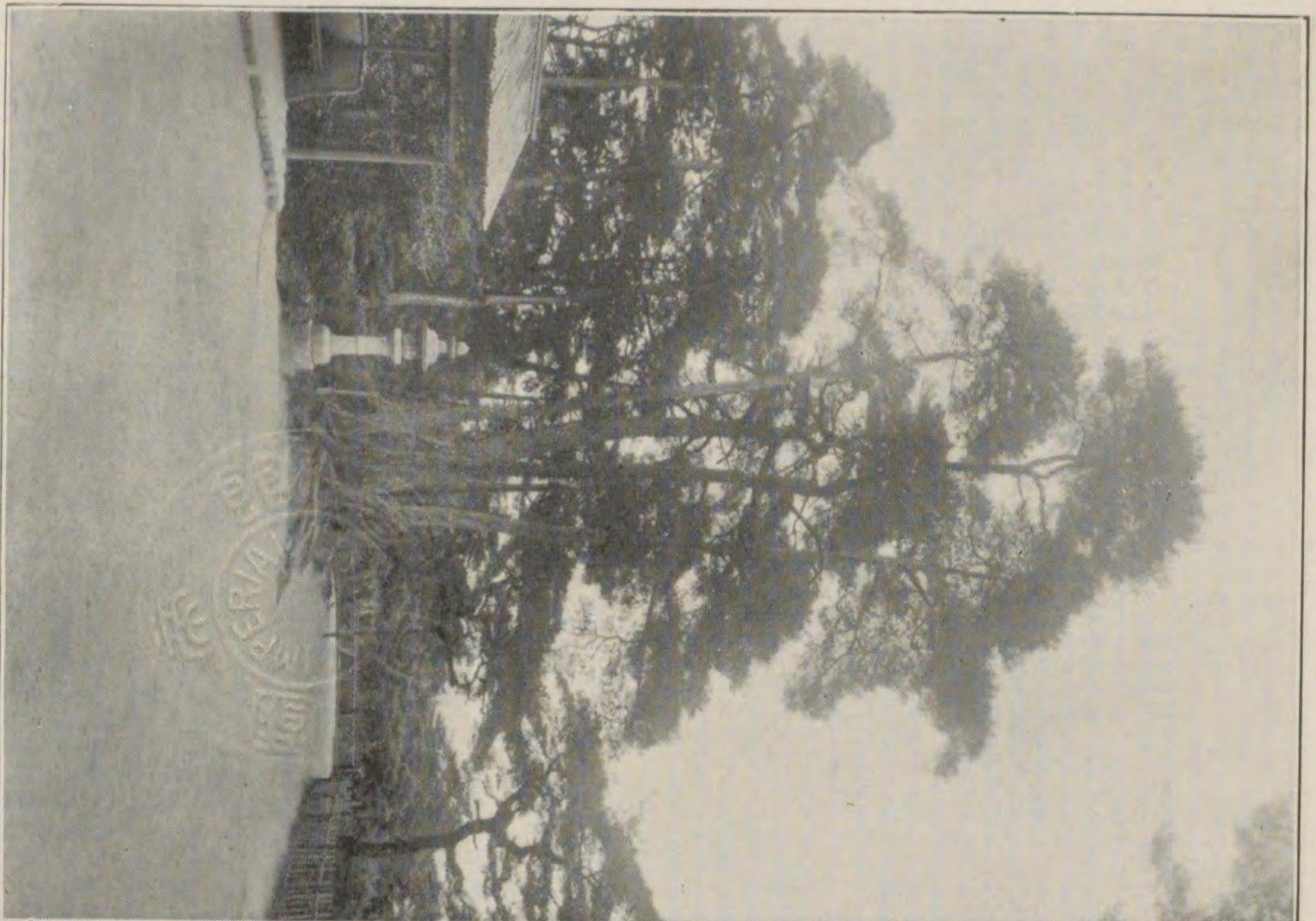
待宵山は常磐森トキバナキの東北に接す、地域大ならざるも、赤松の樹間に隠見する櫻紅葉等春秋の眺に富み、殊に夏の夕なぎ月の出を待つを趣ありとす依つて待宵の名を得たり。ここに古帳庵句碑あり。

江戸古帳女
天の川くるりくゞと流れけり
頭からかふる利益や寒の水

金刀比羅宮神苑常磐森



金刀比羅宮神苑待宵山



金刀比羅宮神苑時雨岡



金刀比羅宮神苑涼杜



(二四) 金刀比羅宮神苑時雨岡

時雨岡は待宵山の西北につく
幽閑なる地域にして櫻と躑躅に
富み、時雨の頃も亦趣深し。

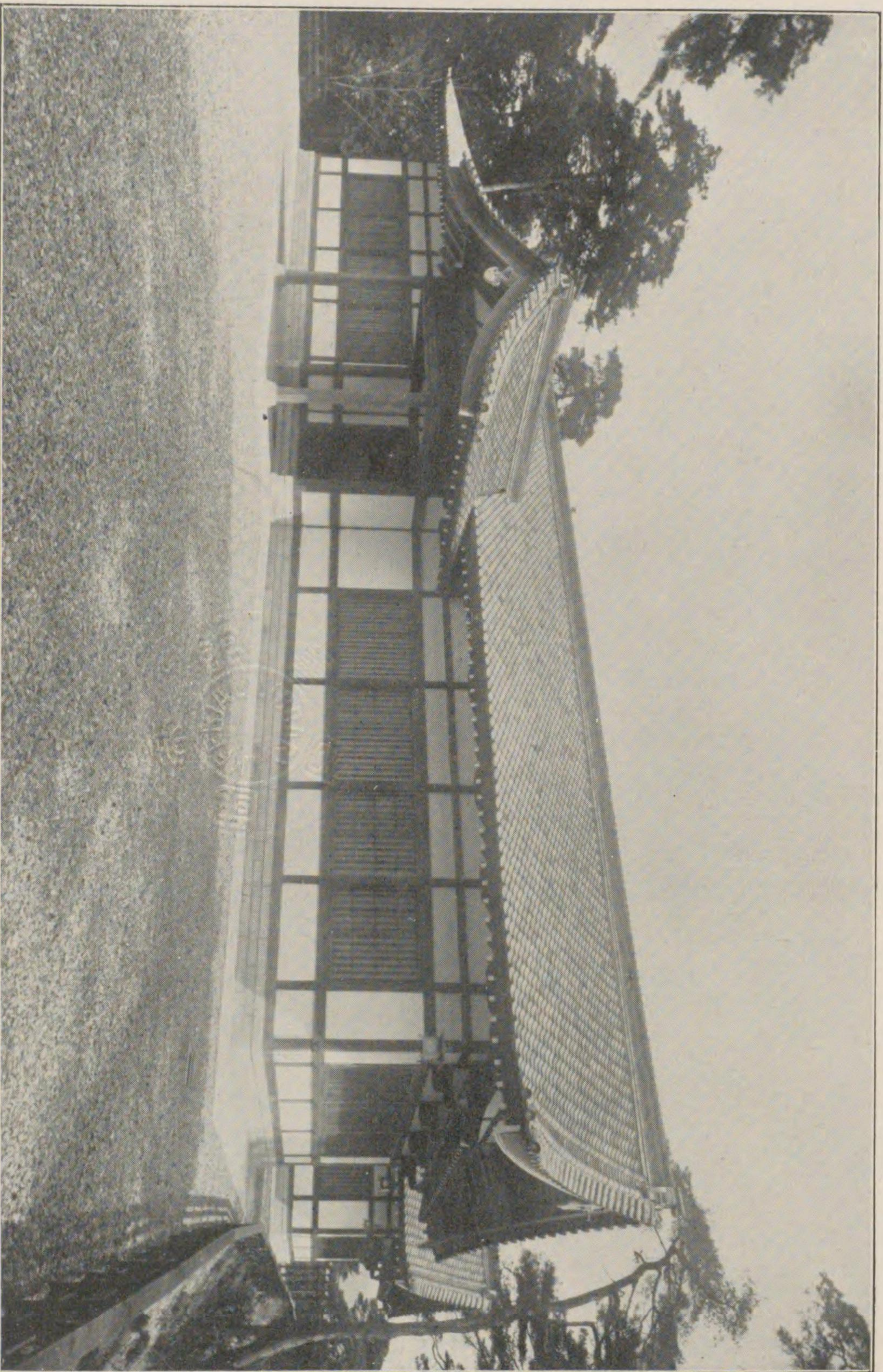
(二五) 同神苑涼杜

涼杜は扁柏亭々として聳々嵐
氣人に迫るものあり、淙々たる
水聲に和して幽禽の叫を聞くを
趣殊に深しとす。

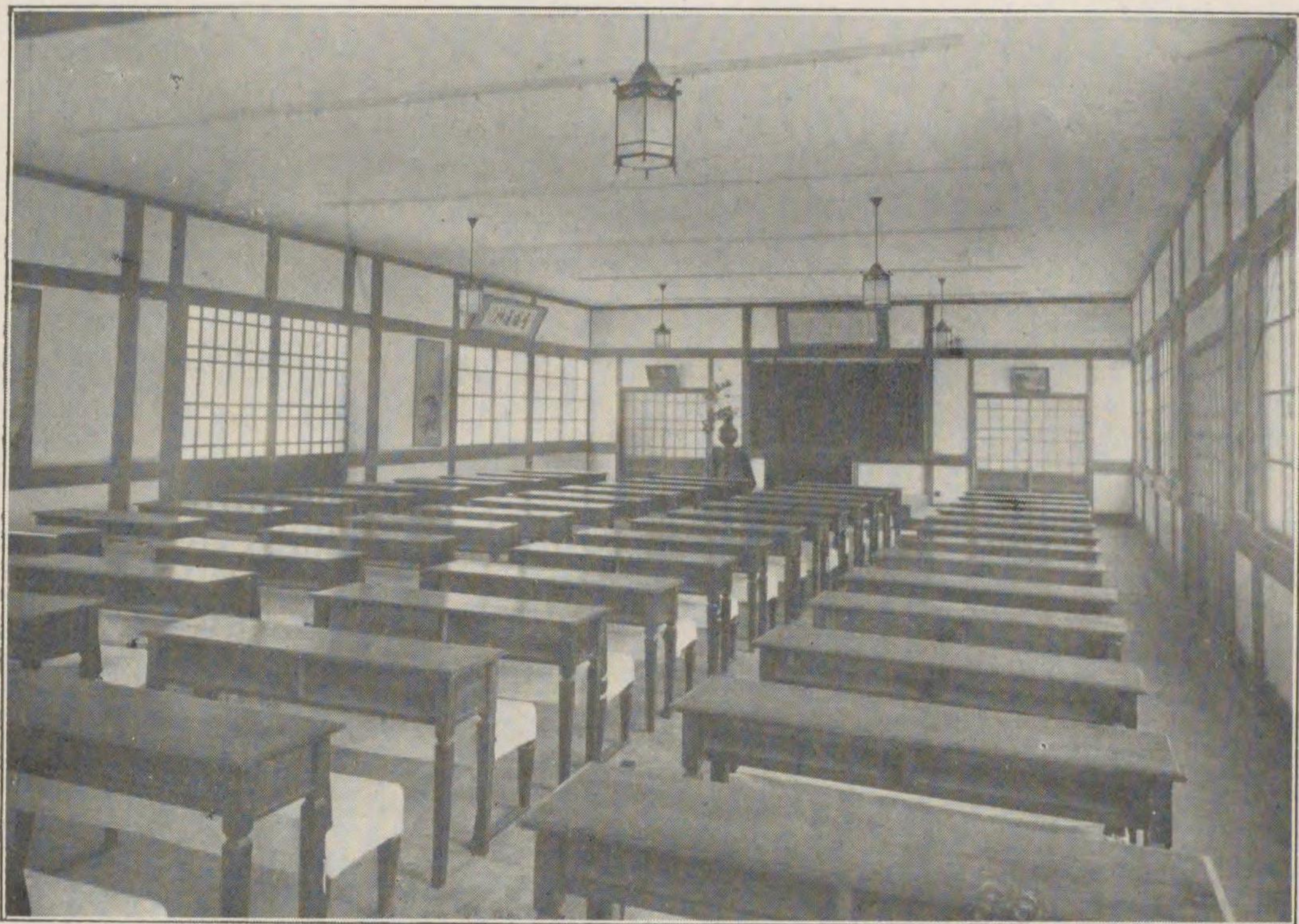
(三六) 金刀比羅宮圖書館

圖書館は神苑千歲岡にあり、當宮の圖書(現在二萬九千餘冊)を收藏して之を公衆に閱覽せしめ傍ら學藝講座を開く所にして。車寄、休憩室、事務室、講堂、男子閱覽室、婦人閱覽室、兒童閱覽室、客室、長廊、圖書庫、等より成る、別に附屬參考館あり。本館建坪二百十三坪。東宮殿下御渡歐記念として建築、大正十一年十一月十八日殿下當宮御參拜の日竣成、同十二年二月十一日開館、同十四年東宮殿下御成婚記念として副築せり。高松宮宣仁親王殿下、久邇宮邦彥王殿下、同妃殿下、同良子女王殿下、同信子女王殿下の台臨を得たり。昭和四年二月十一日優良圖書館として文部省より選奨せらる。

金刀比羅宮圖書館



金刀比羅宮圖書館講堂



同圖書館客室



(二七) 金刀比羅宮圖書館講堂

講堂四十五坪、大正十四年建築。

特別講座、普通講座、婦人講座、

學藝品展覽會等は此講堂に於て

之を行ふ。

(二八) 同圖書館客室

客室十坪、大正十一年建築。





金刀比羅宮圖書館男子閱覽室



同 婦 人 閱 覽 室

築。

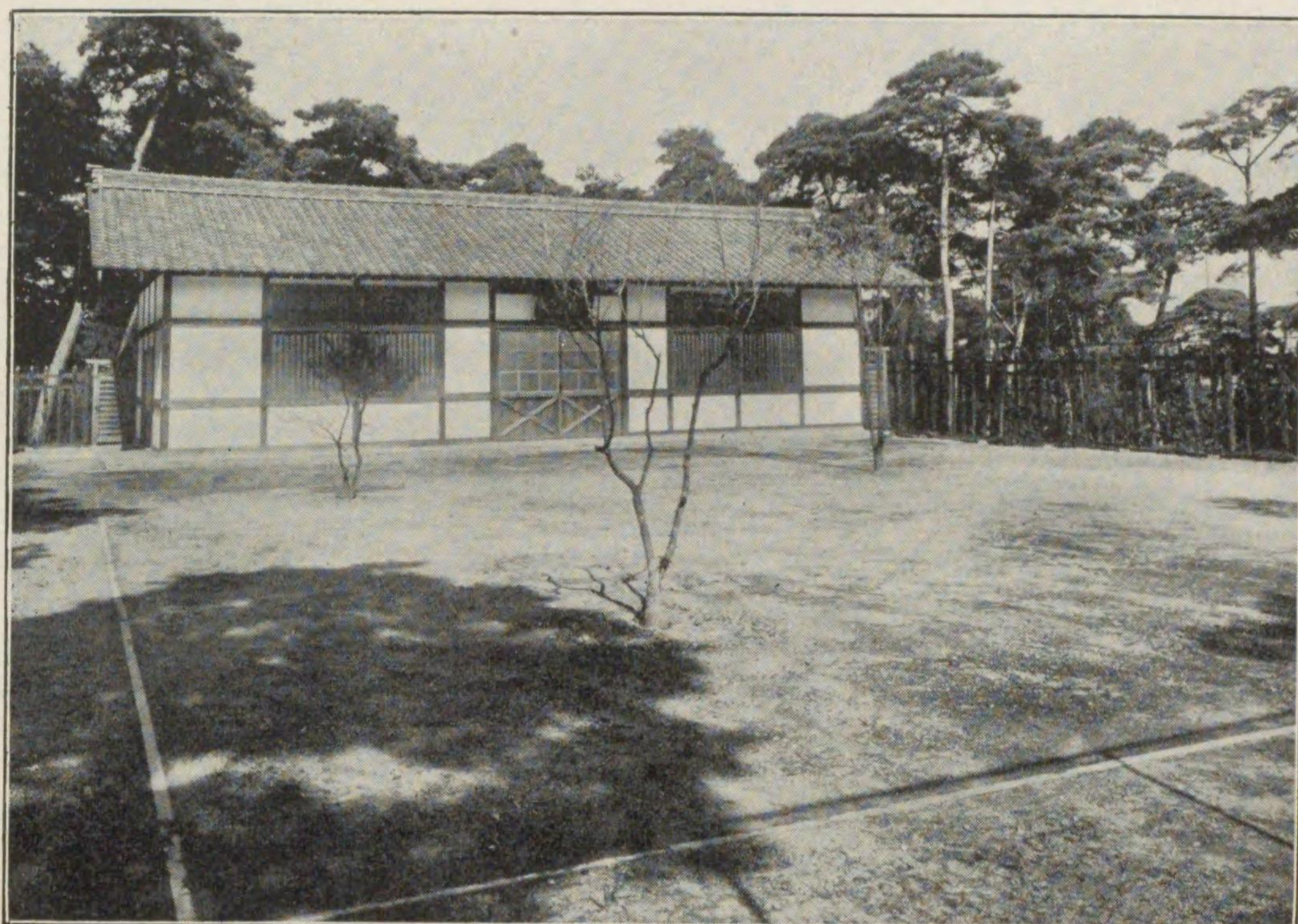
男子閱覽室二十二坪、大正十一年建

(二) 金刀比羅宮圖書館男子閱覽室

婦人閱覽室十二坪、大正十一年建築。

(三) 同 婦 人 閱 覽 室

金刀比羅宮圖書館附屬參考館並鞠懸



金刀比羅宮圖書館附屬參考館內部



(三) 金刀比羅宮圖書館附屬參考館並鞠懸

參考館は建坪三十一坪餘。館の南に鞠懸あり、即ち蹴鞠場にして時々古式の蹴鞠を行ふ。

圖の建物は參考館、其手前の平場の一區は鞠懸。

厨川 肇

春淺し蹴鞠を見る人三五

(三) 同參考館内部

參考館には各種の學藝參考品を陳列して公衆の觀覽を許す。目下收藏するもの、繪額類百三十、動物標本百五十一、植物標本百五十七、礦物標本百三十八、陶磁器八十、玩具類百三十八、雜品二百九十七、合計千〇九十一點とす。

圖は次室より陳列室を臨む。

(三) 金刀比羅宮圖書館附屬運動場

運動場は圖書館の南にあり、坪數八

百〇四坪、大正十二年設置。各種の

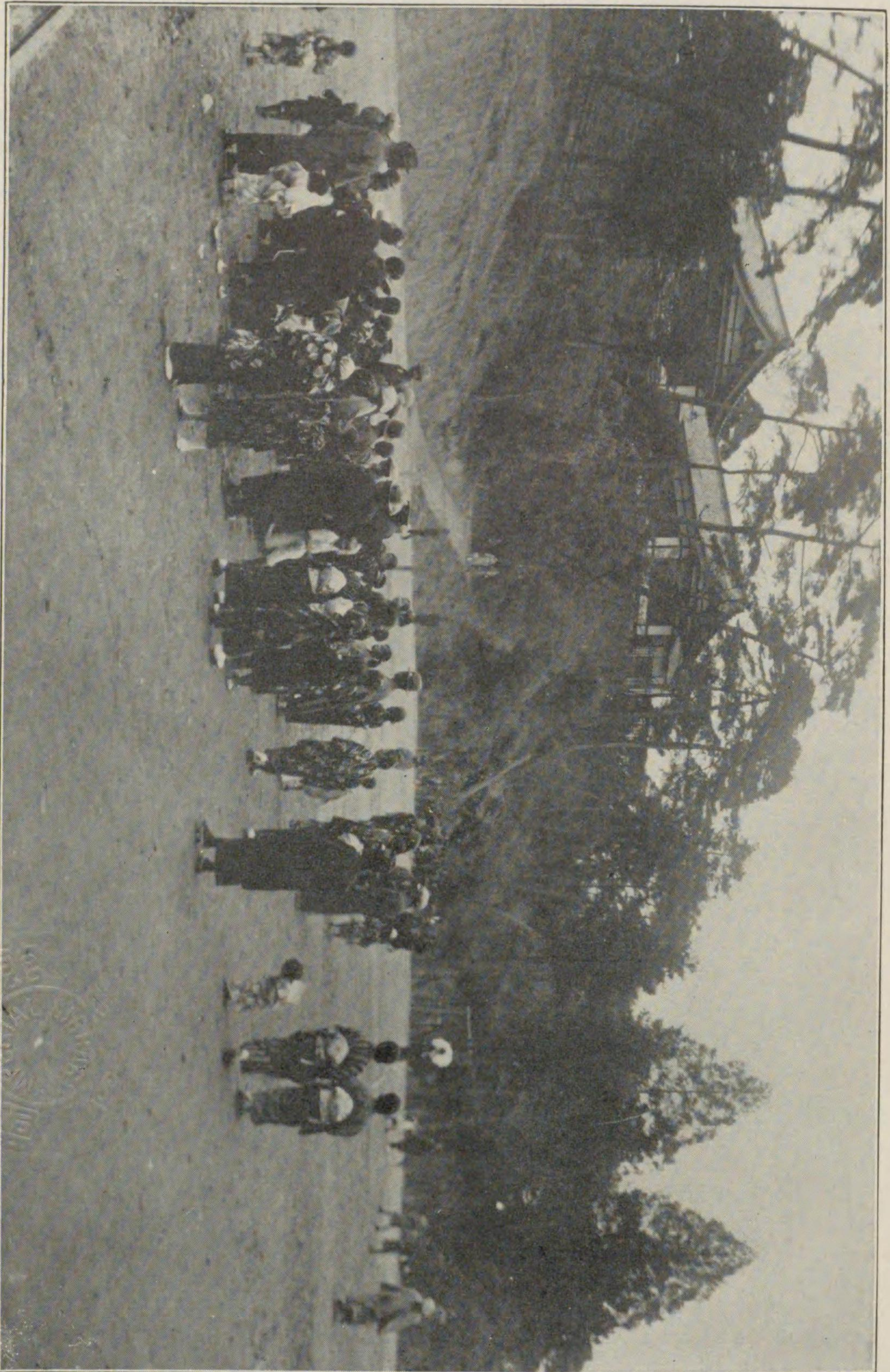
運動用具を備附けて公衆の使用を許

す。

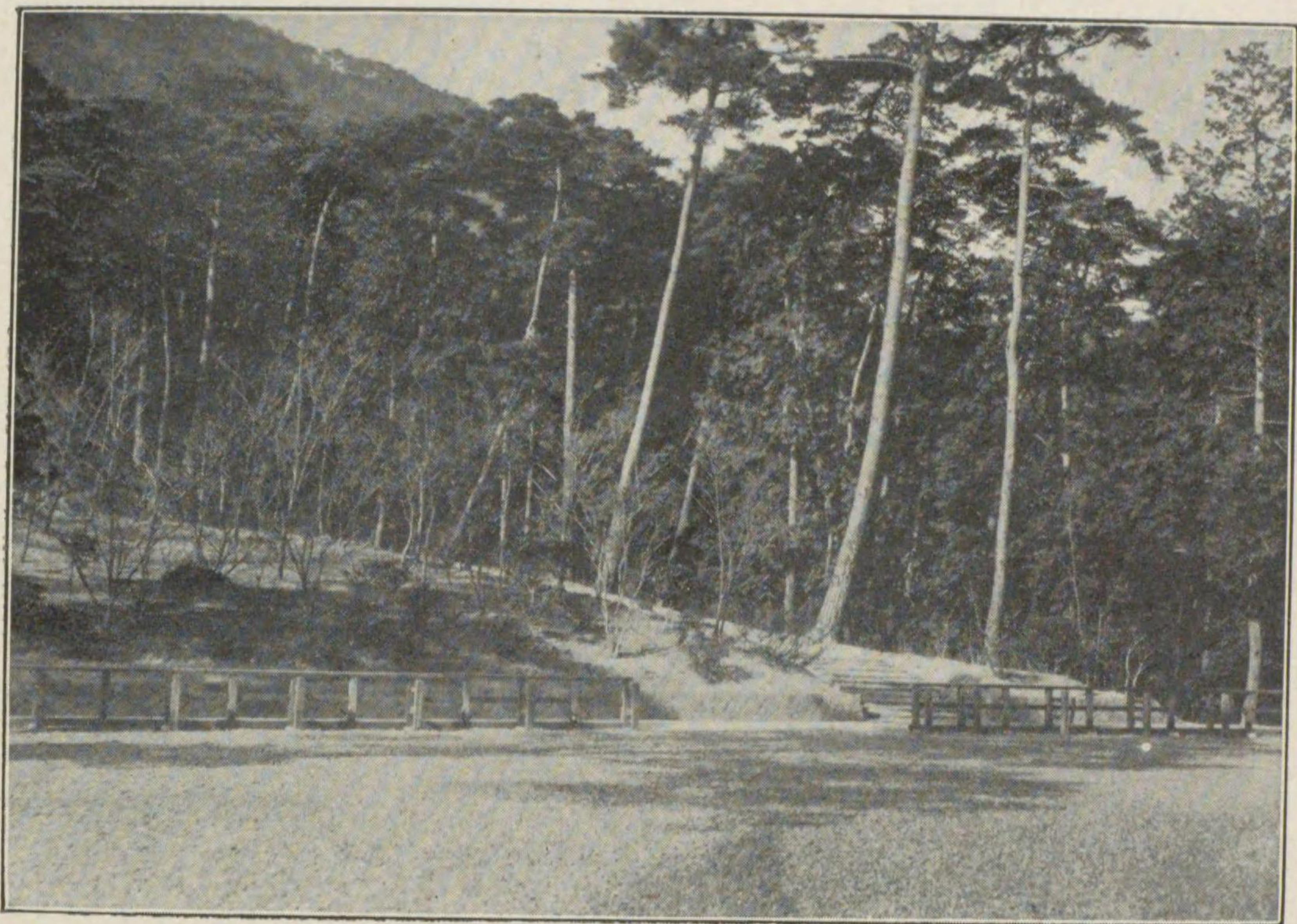
圖に見ゆる丘上の建物は圖書館の南

側面。

金刀比羅宮圖書館附屬運動場



金刀比羅宮神苑千歳岡



金刀比羅宮圖書館附屬器械運動場



(三) 金刀比羅宮神苑千歳岡

千歳岡チトセガヲカは神苑のうち圖書館及運動場
所在の地域を占む。

圖は圖書館前にして土地高燥展望開
豁なり。

(三五) 同圖書館附屬器械運動場

器械運動場は運動場の東にあり、坪
數二百十六坪。移動平行棒、固定平
行棒、鞦韆、平均臺、遊動圓木、腰
掛鞦韆、回旋塔、シーソー、金棒等
を備置して一般の使用を許す。



(三) 金刀比羅宮神苑千種臺東之壇

千種臺東之壇は、西は鏡池に、東は

運動場に、南は小さき橋によりて朝

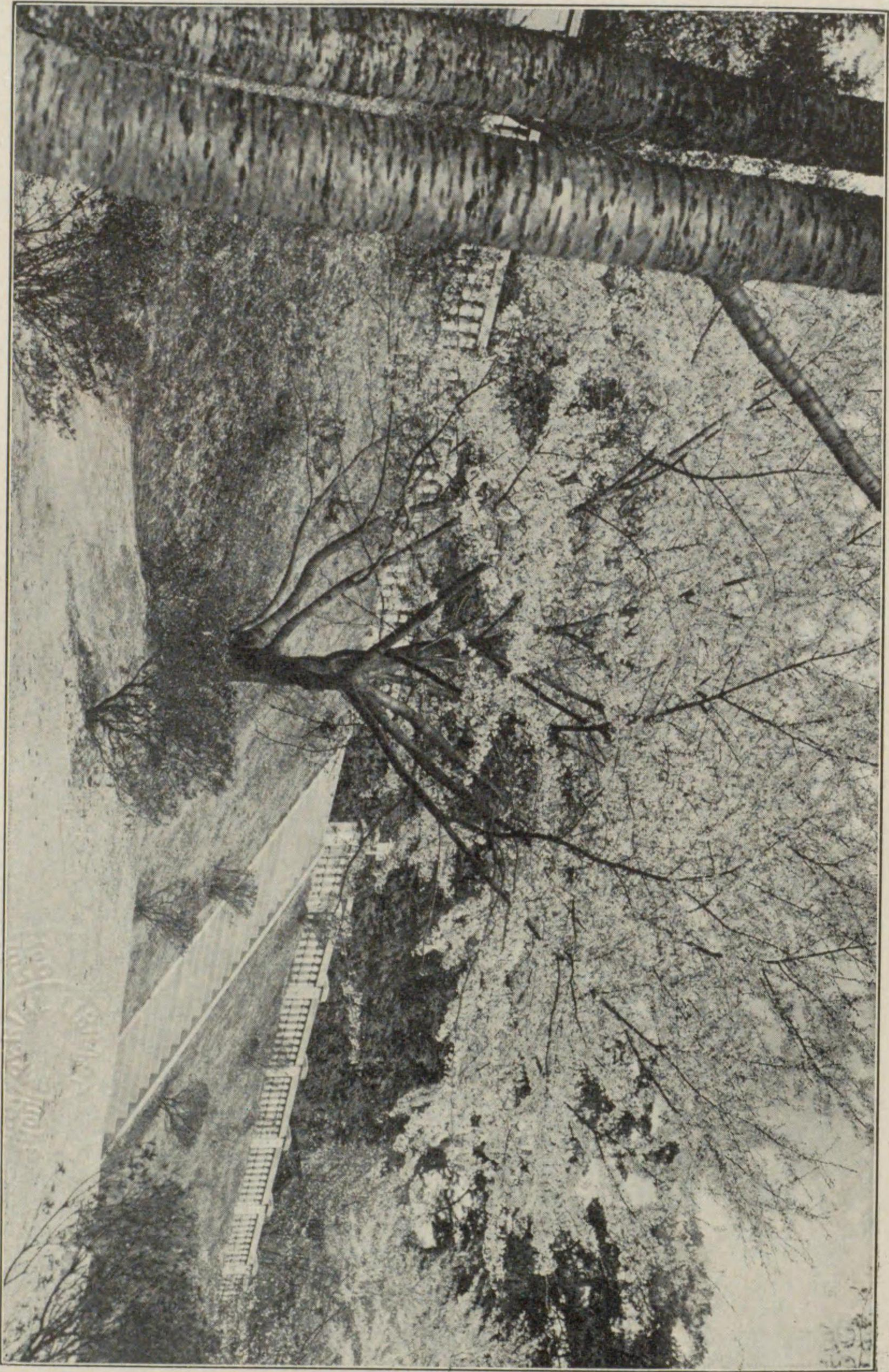
日岡に通ず。山櫻、染井吉野櫻など

春季妍を競ふ。

子爵 藤波言忠

神垣のあたりは見にすなりぬれど

花のかけのみ暮残りけり



金刀比羅宮神苑千種臺東之壇

金刀比羅宮神苑薔薇園



金刀比羅宮神苑千種臺鏡池



(三七) 金刀比羅宮神苑薔薇園

薔薇園は千種臺チクサンダイのうカガミノイケち鏡池の西壇にあり。長春花四時花を附け、細逕十字に交差する處日晷を設く。

(三六) 同千種臺鏡池

鏡池カガミノイケは千種臺チクサンダイの中壇にあり、地域四百坪、中央なる正圓の鏡池カガミノイケは廣さ五十坪、池心の岩組より水を噴出す、池を廻りて歩道あり、これを廻りて常磐樹の植込、更に其外縁に歩道を設く。日影長閑けき春の朝、風涼しき夏の夕、など最散策に宜し。
子爵 前田利定
水のこと夜風流る、谷あひの木々の梢を夏の月照る





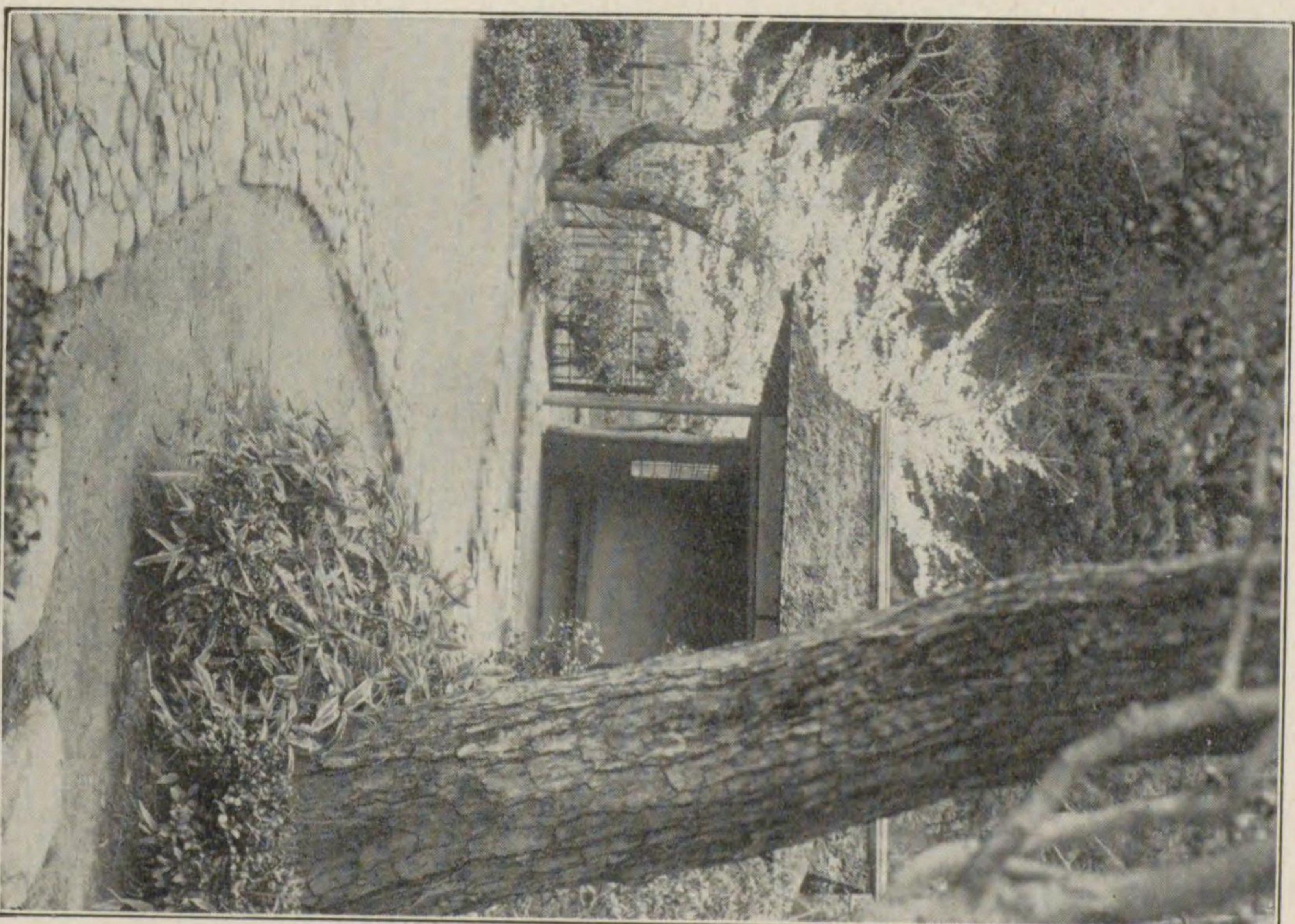
金刀比羅宮神苑千種臺中之壇

(三九) 金刀比羅宮神苑千種臺中之壇

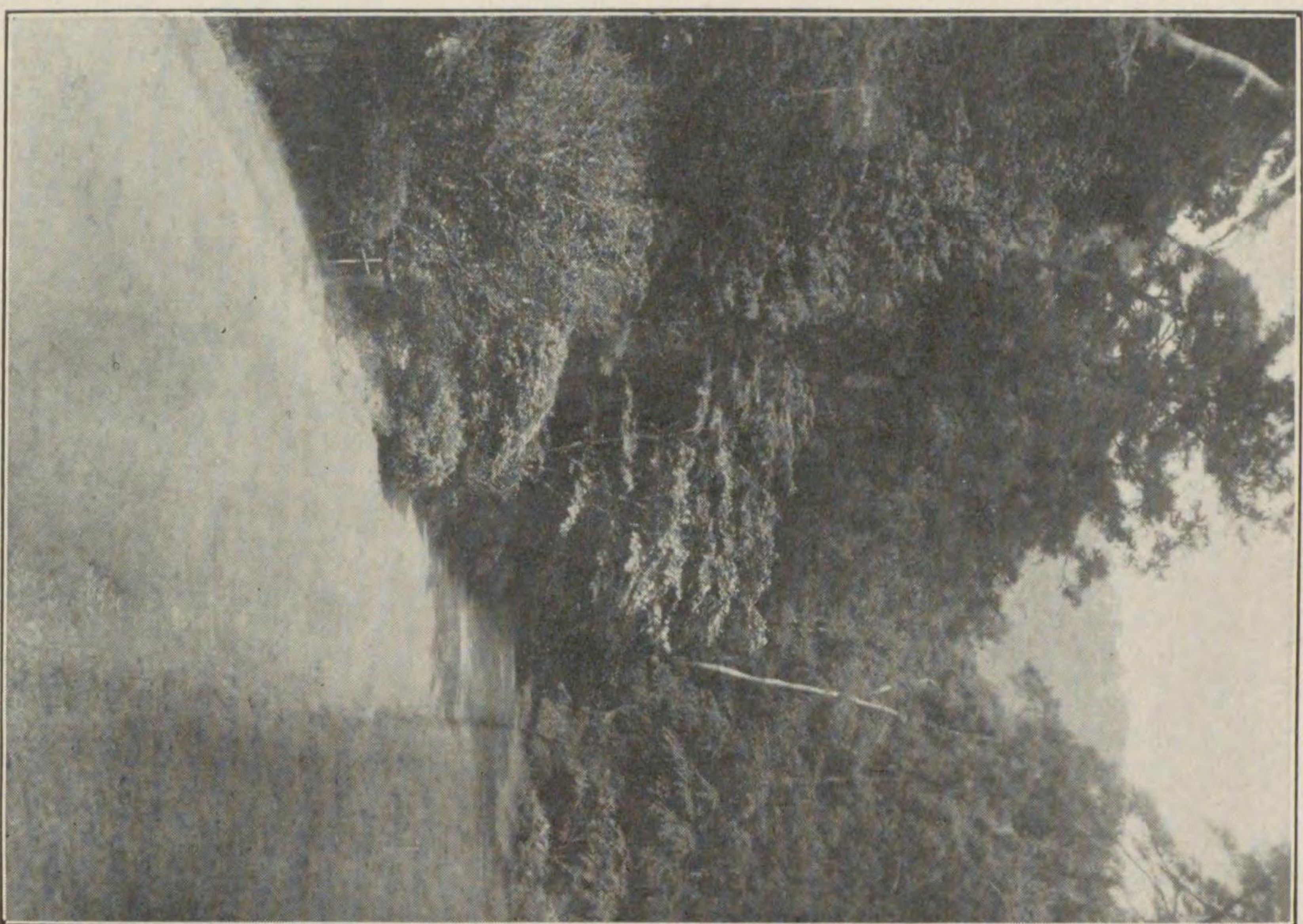
千種臺チクサンダイは神苑の中央部に廣き地域を
占め、櫻、紅葉、躑躅、薔薇等多し。
圖は中之壇ナカノダンの東端石柵の邊より千歲チトセガ
岡方面ヲカを望む。

子爵 藤波言忠

まうてつる人のあまりて花かけに
いこふどころもなきゆふへかな



金刀比羅宮神苑内掬翠亭



金刀比羅宮神苑千種臺より藤溪を望む

(三) 金刀比羅宮神苑内掬翠亭

掬翠亭は千種臺の西端、別に一地域

をなせる茶庭のうちにおいて、枳實

の瀟洒なる亭榭なり。

(三) 同神苑千種臺より藤溪を望む

千種臺の西端に佇み、緑の芝生を越

えて幽邃なる藤溪^{フジノタニ}を望めば、閑雅愛

すべきものあり、紅葉の季殊に宜し。

河東碧梧桐

鳥聲に紅葉表に又裏に



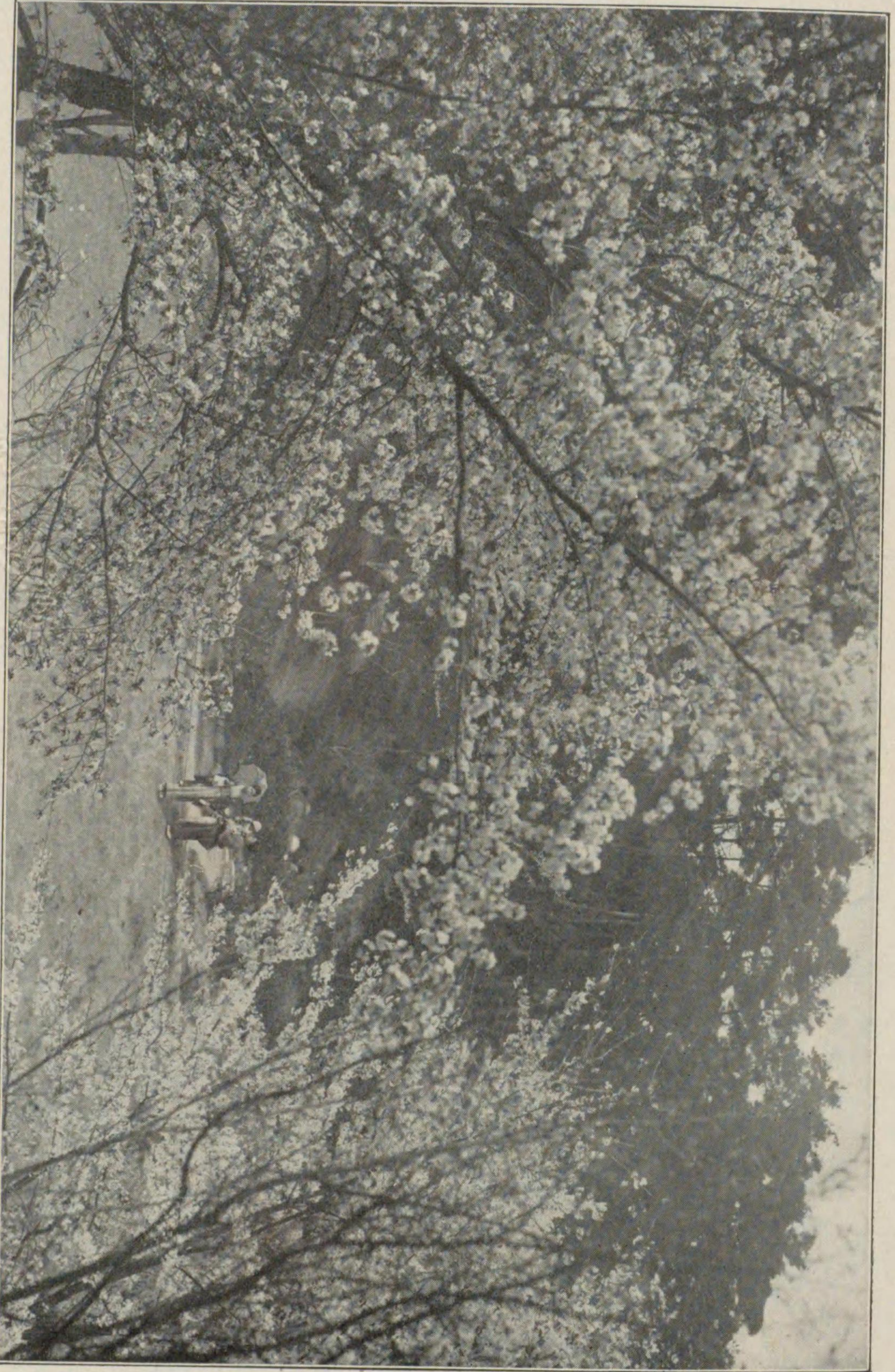


に佳なり。

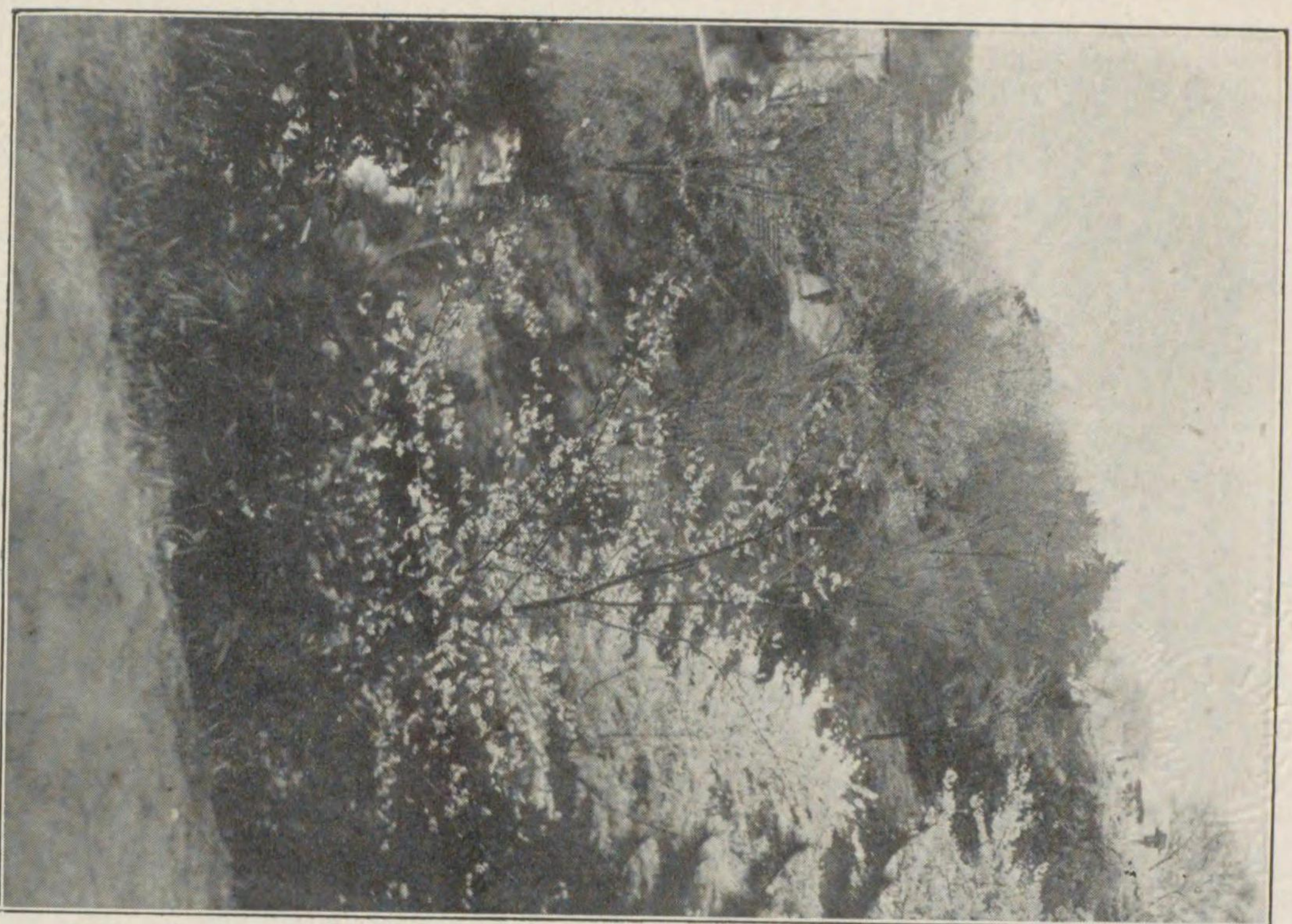
る臺地なり。春の櫻、秋の紅葉、共

千種臺西之壇は芝生廣くして閑静な

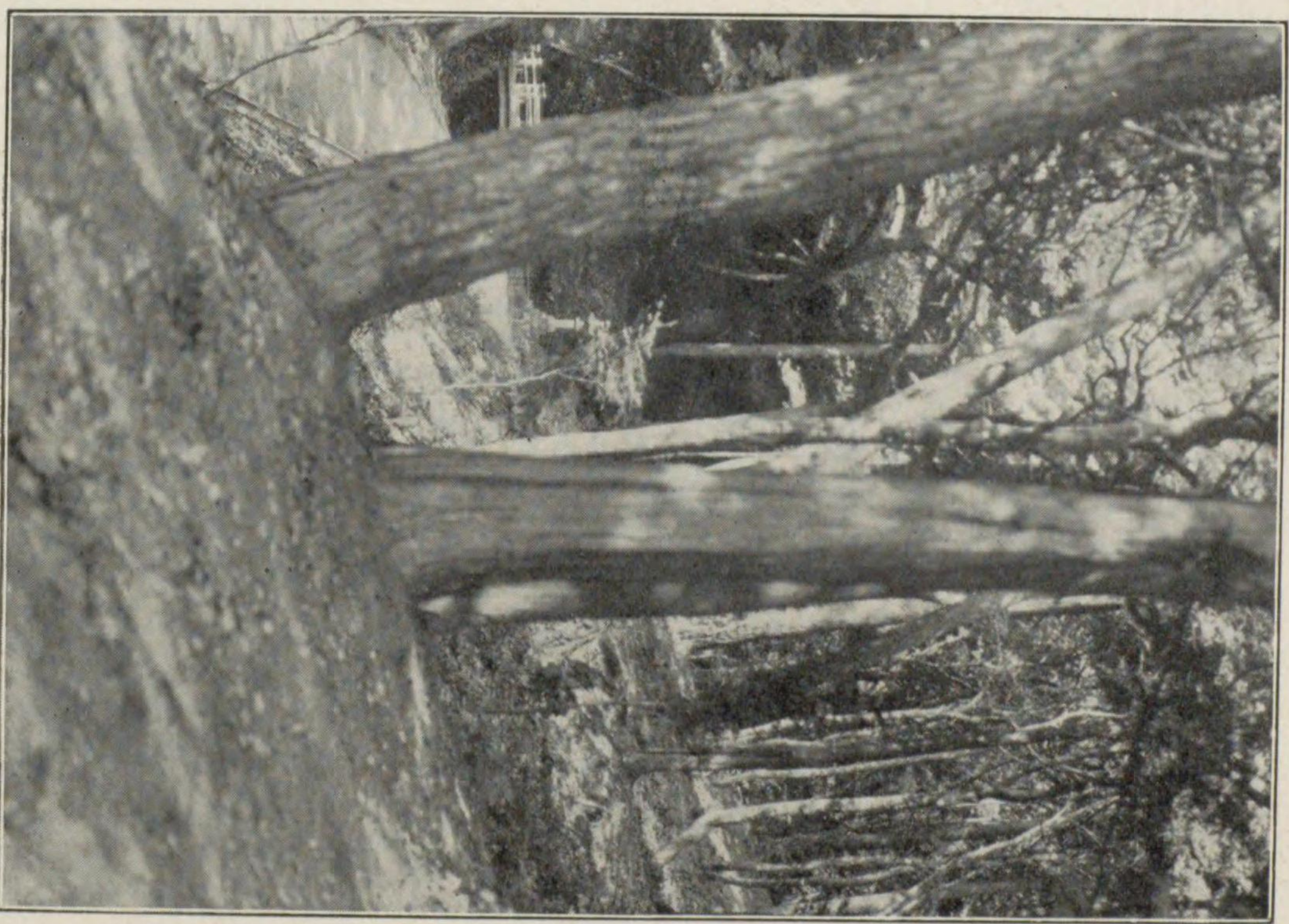
(三) 金刀比羅宮神苑千種臺西之壇



金刀比羅宮神苑千種臺西之壇



金刀比羅宮神苑袖岡



金刀比羅宮神苑藤溪

(三) 同神苑袖岡
ソノタカ袖岡は櫻と槭とを混植せる傾斜地に
 して躑躅亦愛すべし。春秋の候、爛
 熳たる花の梢に、將又錦織りなす紅
 葉の木の中に、讃岐富士を遠望する
 は趣殊に深しとす。こゝに「花の陰
 硯にかはる丸瓦」の芭蕉句碑あり。
 池邊義象
 讃岐富士霞に暮れて夕まくれひと
 り色ある神の花園



老樹あるを以て此名を得たり。

フジタニ藤溪は幽邃なる溪間にして、紫藤の

(三) 金刀比羅宮神苑藤溪



に富めり

とせる傾斜地とより成る。景趣變化

朝日岡は廣潤なる臺地と、櫻を主木

(三) 同神苑朝日岡

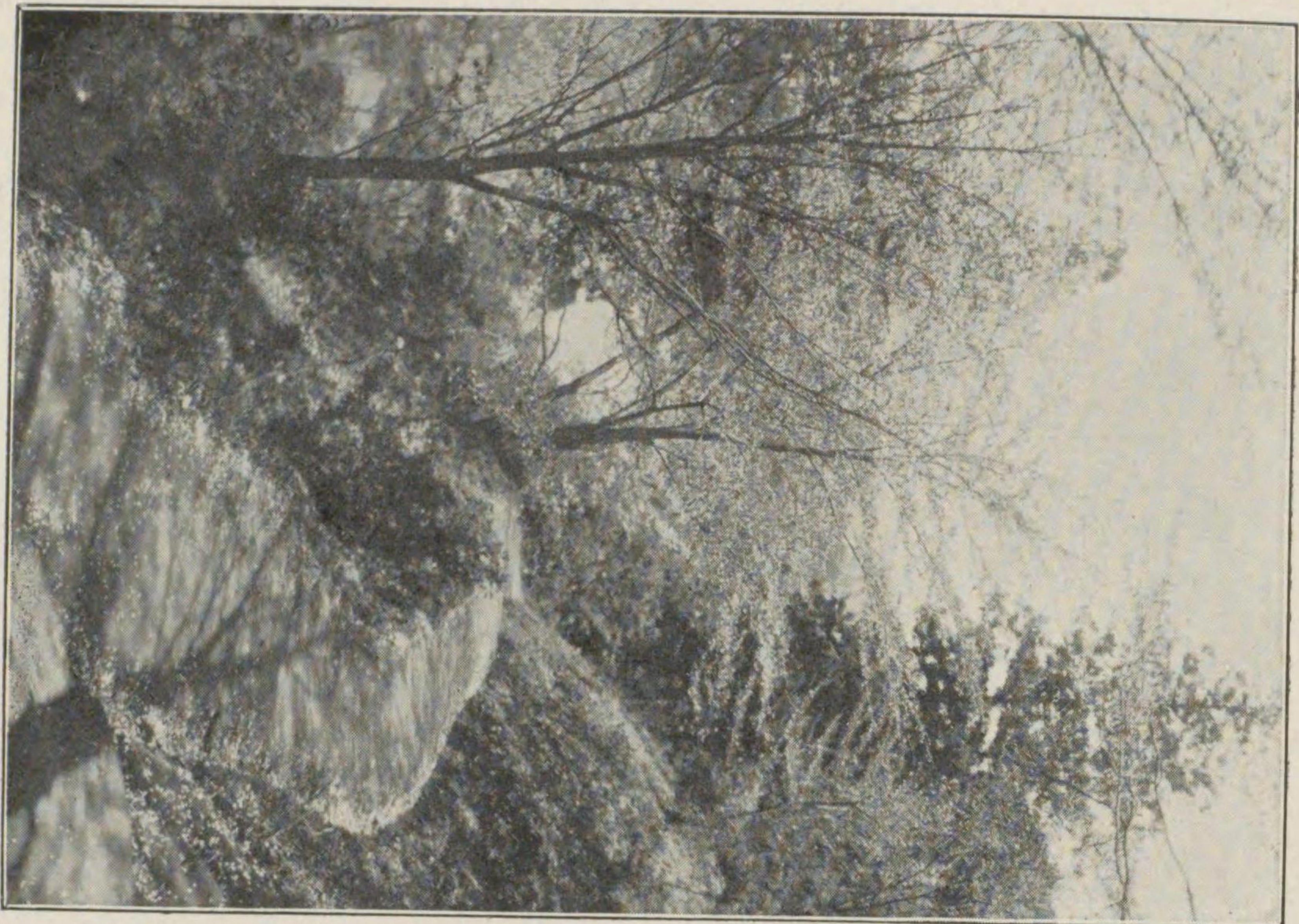
春深く眞晝も杉の嵐かな

松岡青蘿

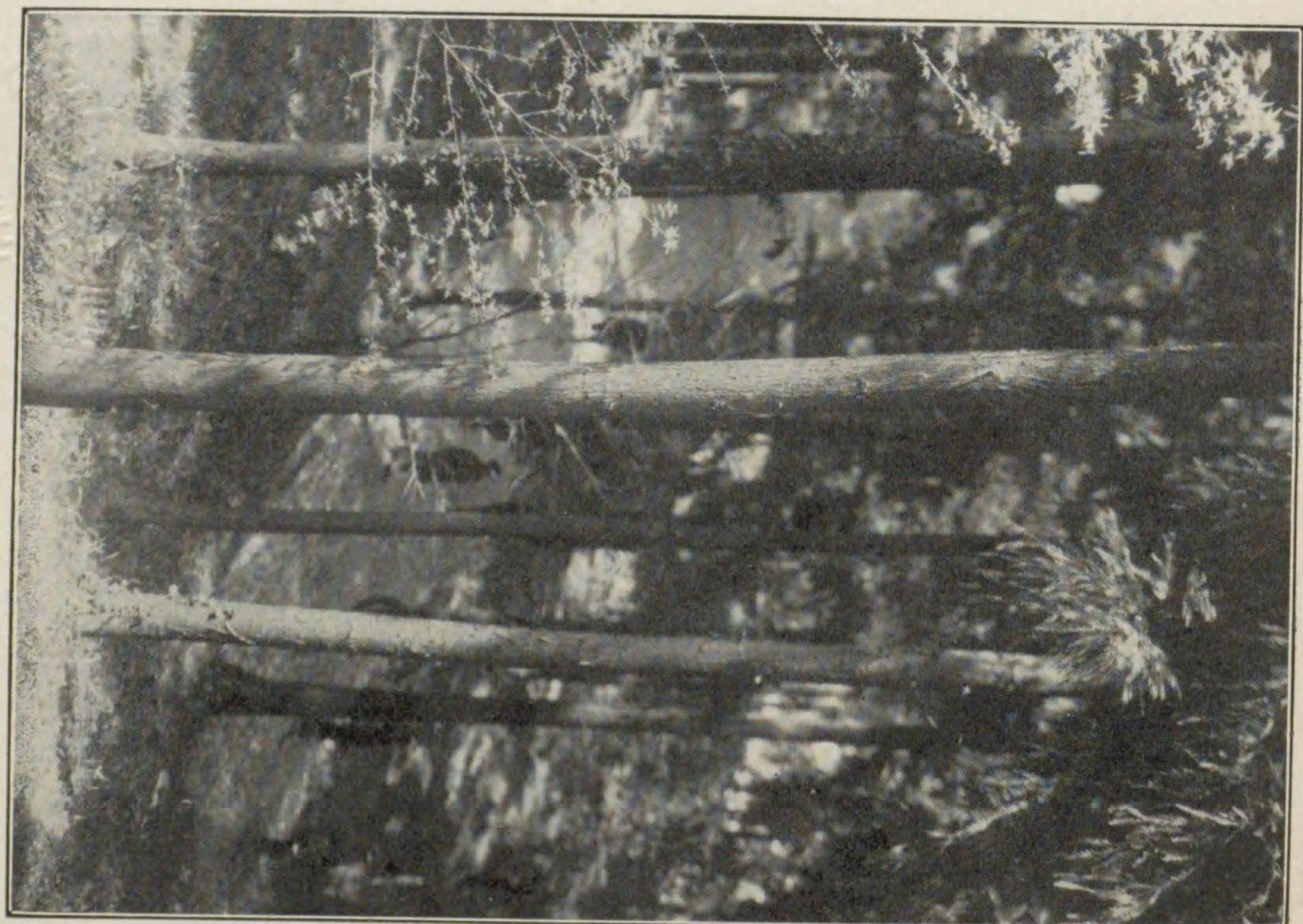
幽閑愛すべきものあり。

小杉森は名の如く杉の純林にして、

(三) 金刀比羅宮神苑小杉森



金刀比羅宮神苑朝日岡

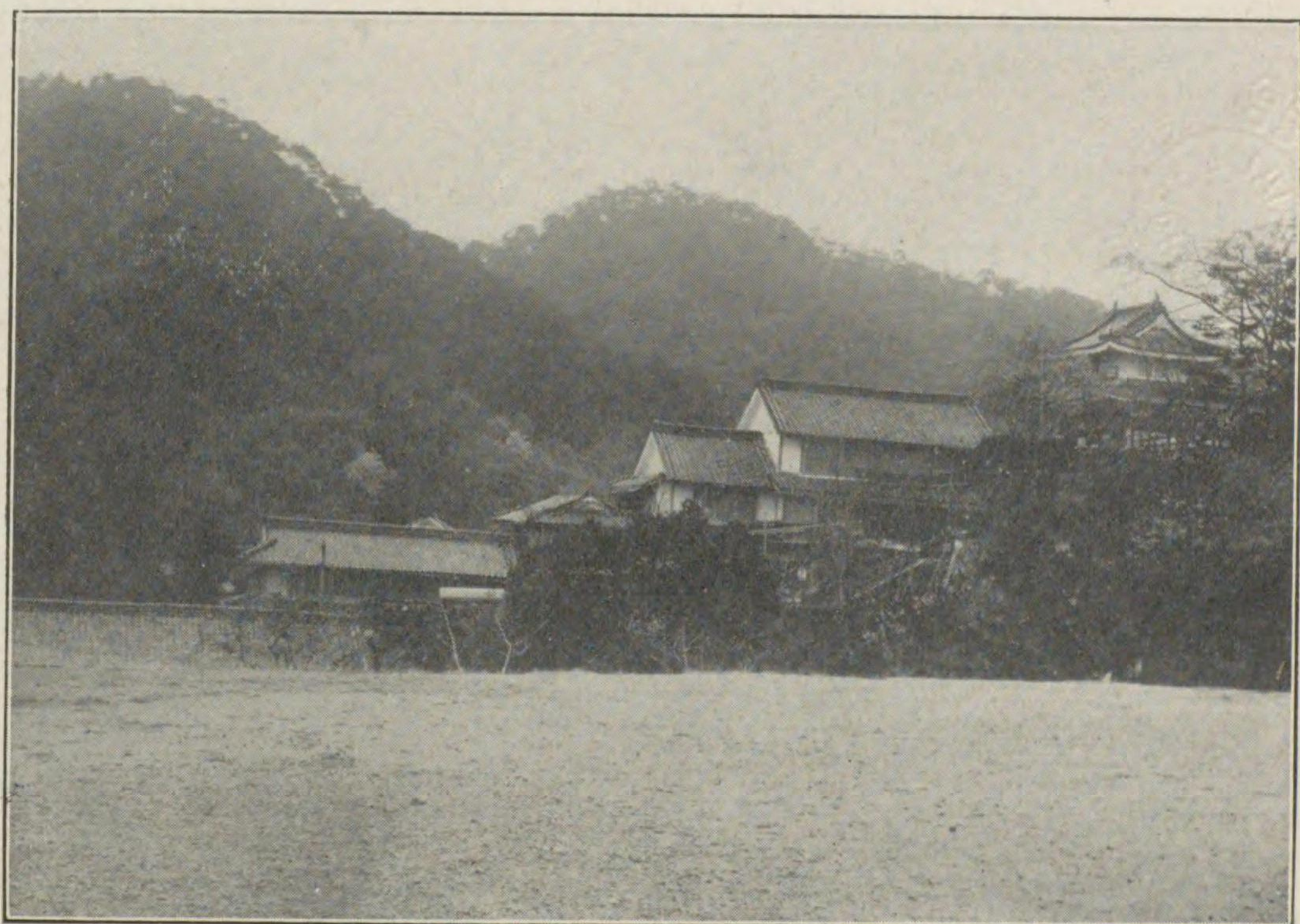


金刀比羅宮神苑小杉森

金刀比羅宮神苑朝日岡より琴平山主峰を望む



金刀比羅宮神苑朝日岡より南山神林を望む



(三) 金刀比羅宮神苑朝日岡より
琴平山主峰を望む

朝日岡臺地よりの眺望は絶佳にして、
仰いでは琴平山の翠巒を望み、俯して
は神苑の大觀を窺ふべく、北は那珂の
平野、讃岐富士等、南は八景、愛宕、
天神の諸神林、一望の下に集まる。
圖は臺地より琴平山主峰を望む。

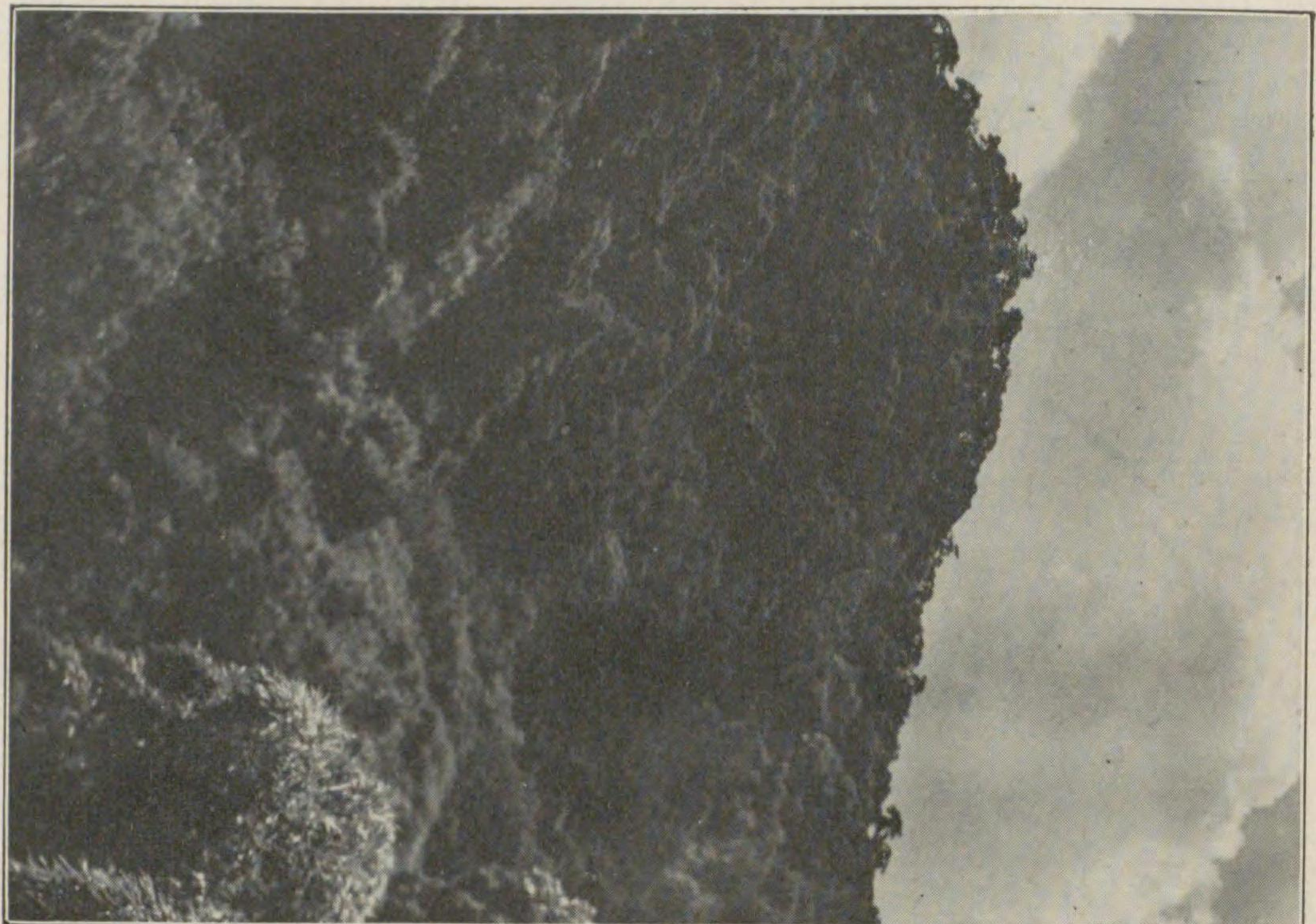
(三) 同神苑朝日岡より南山神林
を望む

朝日岡臺地より南に向へは、當宮の神
林なる八景山(或は彌氣山)、愛宕山、天
神山、琵琶溪山、等の諸峰を望む。これ
等の諸峰は群嶺松雪の名を以て、古く
より當山十二勝の一として知られ、標
高敢て高からざるも、山姿温雅にして、
四季に移り行く森林の景觀愛すべし。
圖に向うて右の峰は八景山、左は愛宕
山、右に近く入母家造の樓の見ゆるは
當宮鼓樓。

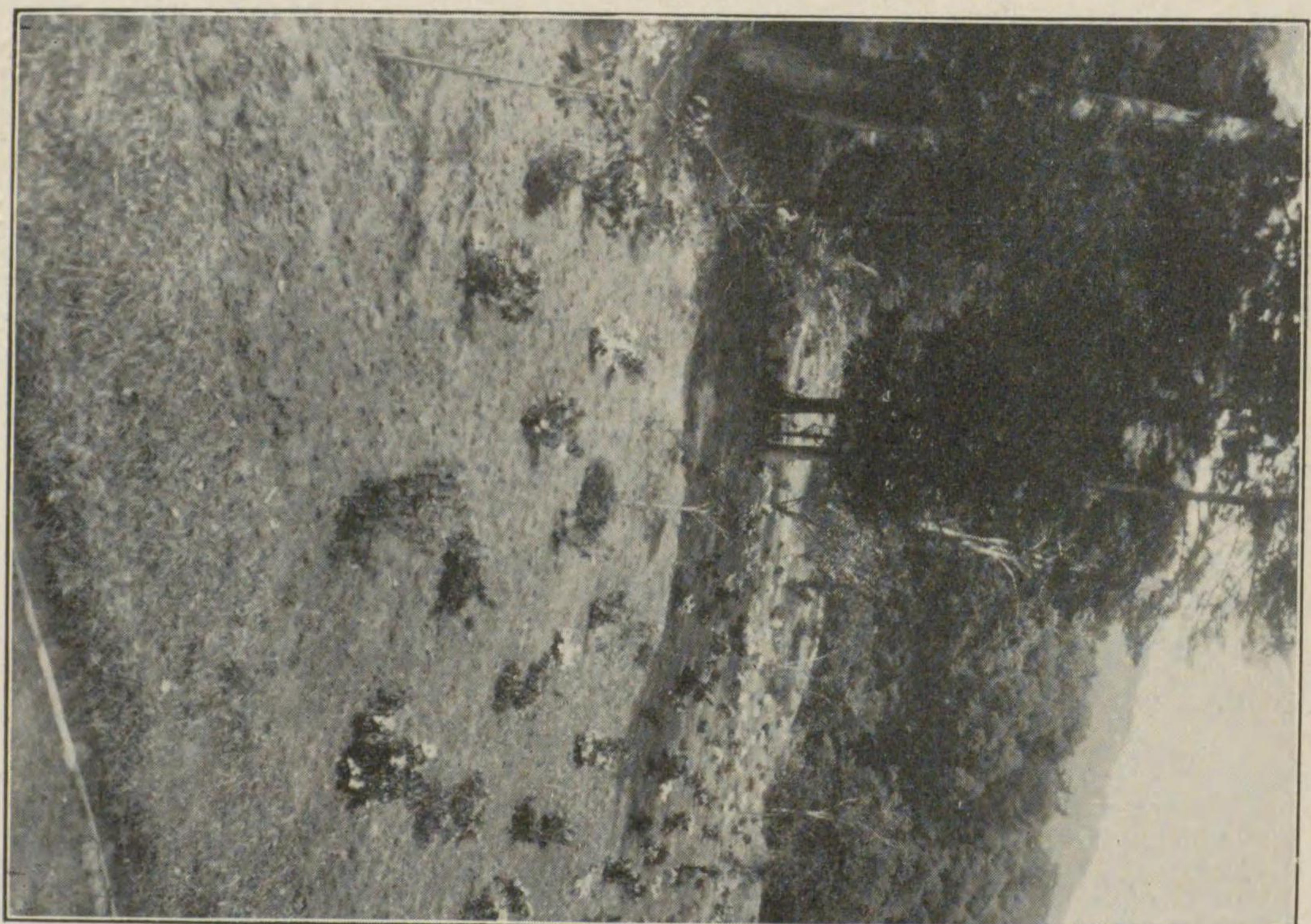


(四) 同八景山神林
 八景山神林(彌氣山)は御本宮の東南
 十三町、海拔七百六十五尺(二百卅
 二米)、山頂の景觀最變化に富み、西
 方遙に三豊郡平野の一部、伊豫の高
 根、燧灘の一角をも窺ふべし。
 圖の中央に聳ゆるは八景山。

(三) 金刀比羅宮神苑の躑躅
 神苑到る處躑躅多く、四月下旬より
 五月中旬に涉りて花を開き各色各様
 妍を競ふ。
 圖は神苑時雨岡のものにして、樹い
 また小なるも品種に富めり。

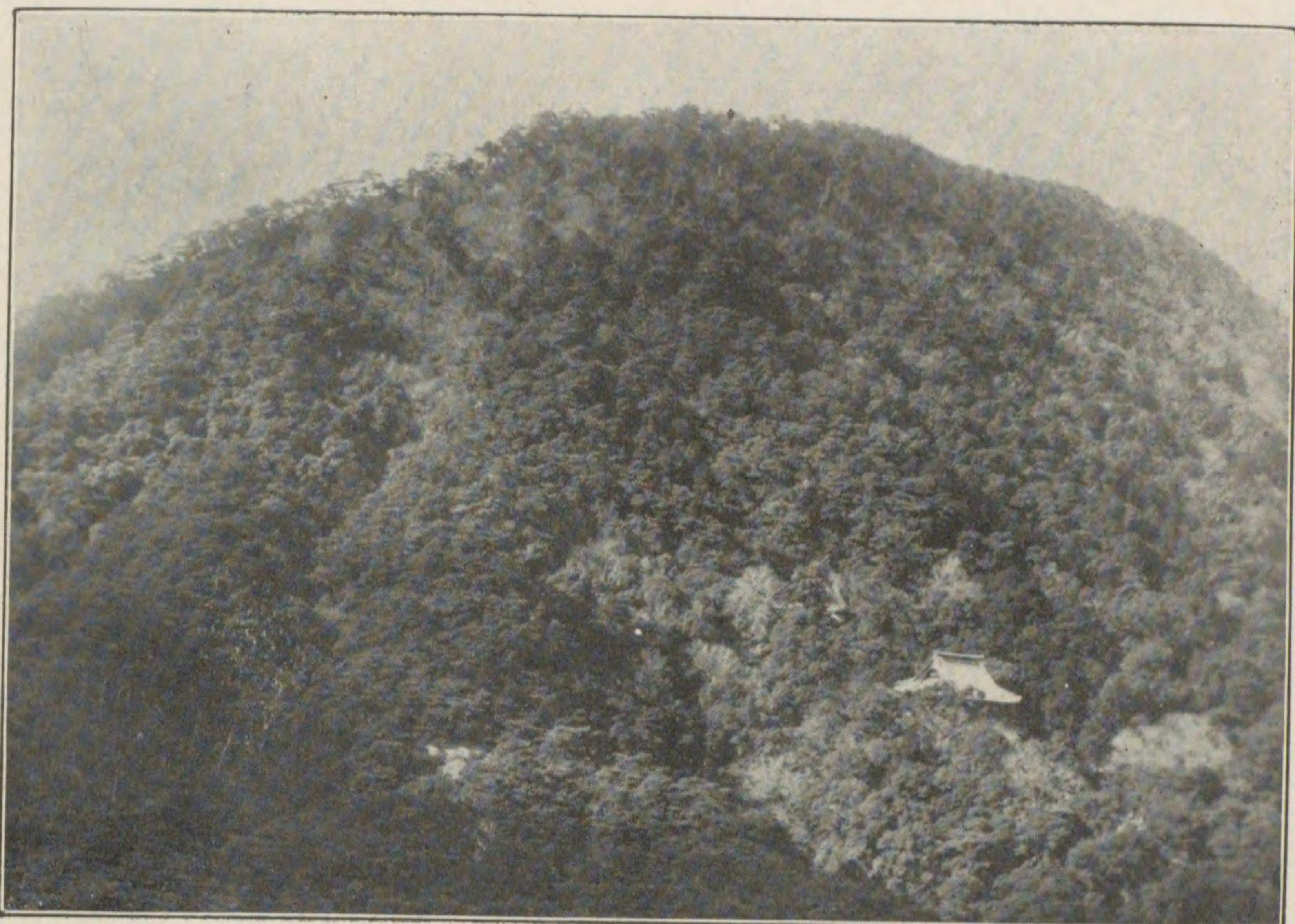


金刀比羅宮八景山神林

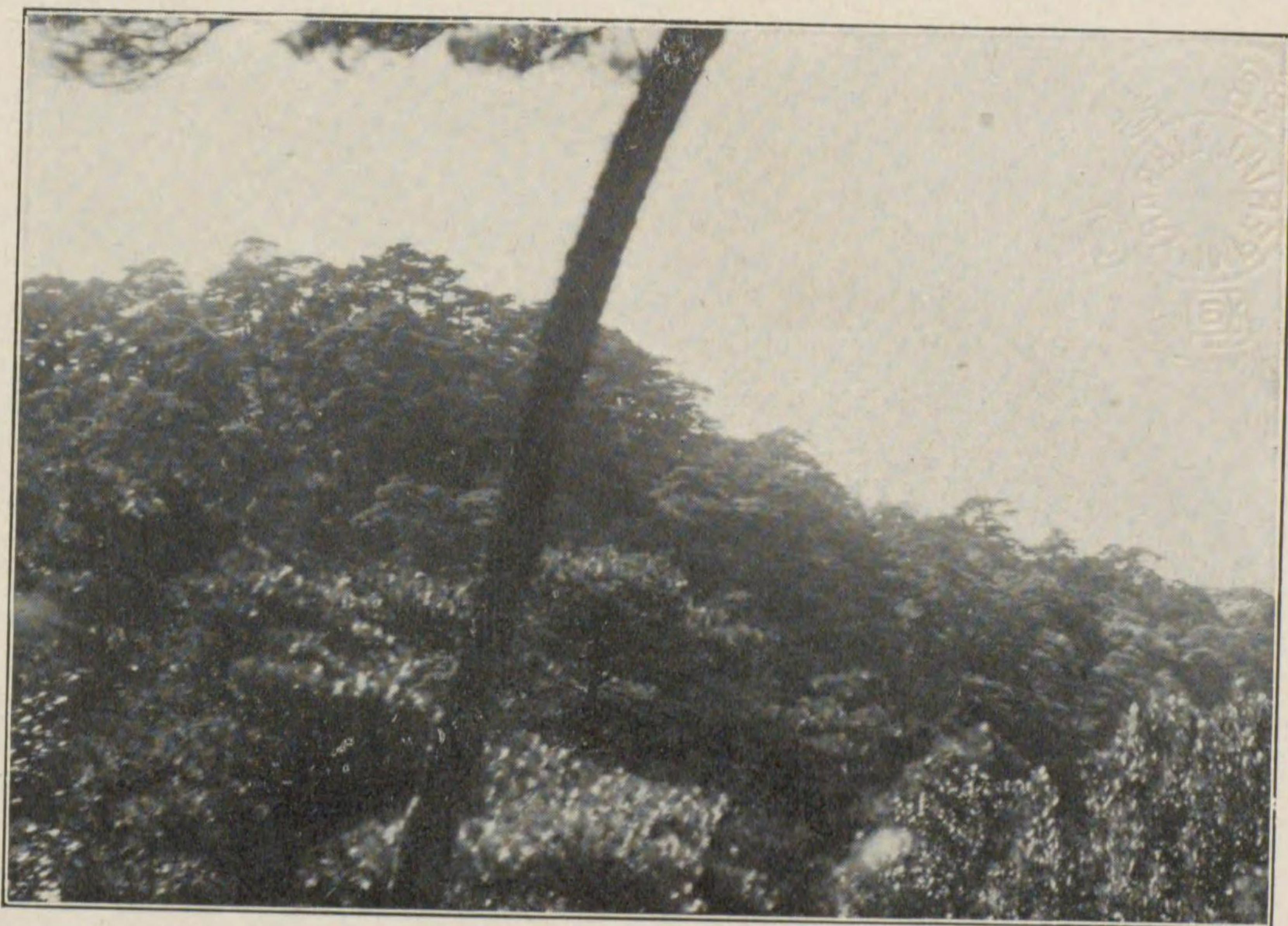


金刀比羅宮神苑の躑躅

金刀比羅宮愛宕山神林より琴平山主峰を望む



金刀比羅宮愛宕山神林より八景山神林を望む



(四) 金刀比羅宮愛宕山神林より
琴平山主峰を望む

愛宕山神林は御本宮の東々南十四町、
山頂に愛宕神祠あるを以て此名あり。
宕峰夕陽の名に於て當山十二景の一
たり。

子爵 黒田清綱

あすもまたひよりなるらし愛宕山
高根さやかに夕日さすなり

圖は愛宕山頂より琴平山主峰の一部
を望む。

薨の見ゆるは金刀比羅宮御末社旭社。

(四) 同神林より八景山神林を
望む

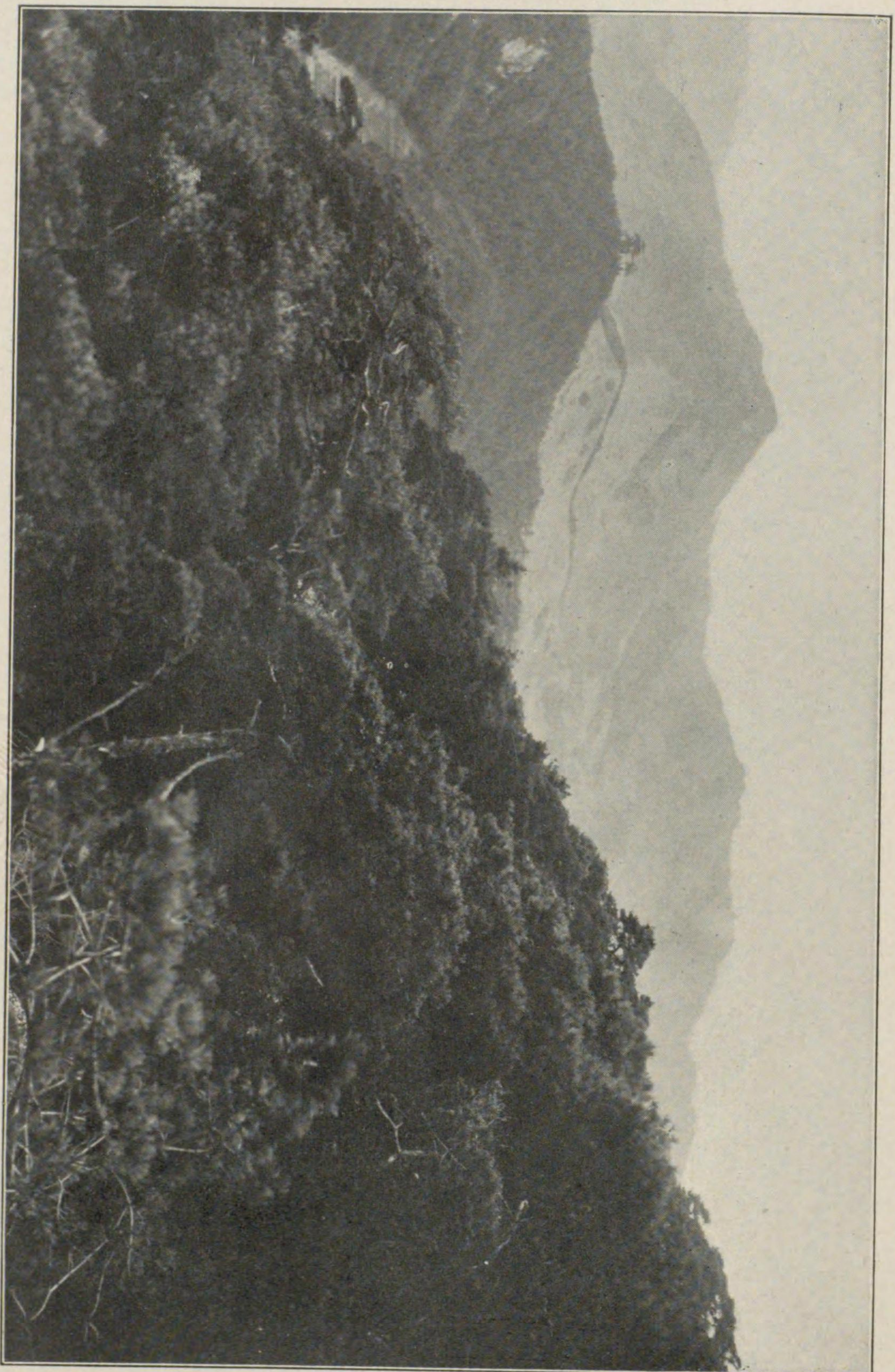
愛宕山神林より西望すれば八景山の

翠色滴るが如く、琴平山主峰の青嵐

と呼應して、其身仙境に在るが如し。

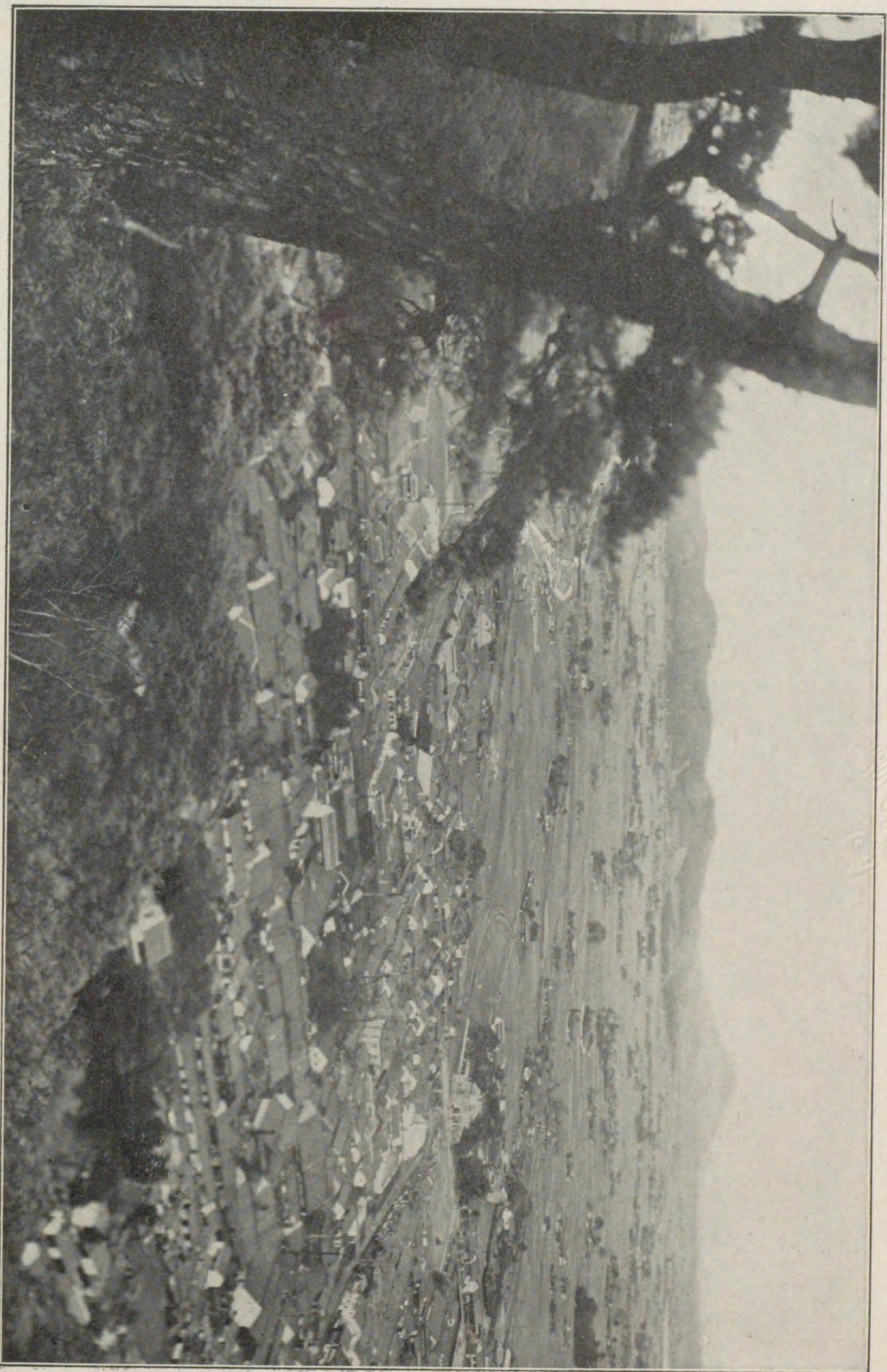
(四) 金刀比羅宮琵琶溪神林

琵琶溪神林は御本宮の東々南十五町、
愛宕山神林の東隣にあり。海拔六百
三十三尺(百九十二米)。山頂より南
を望めば、遠くは阿讃國境山脈連亘
し、近くは大小の岡巒起伏して、景
観頗る開豁なり。
圖は南望せる景觀の一部。



金刀比羅宮琵琶溪神林





金刀比羅宮琵琶湊神林より琴平市街を望む

(四) 金刀比羅宮琵琶湊神林より
琴平市街を望む

琵琶湊^{ヒガタニ}神林より北を望めば、琴平市

街は近く眼下にあり。

琴平町は昭和三年三月の調に於て戸

數千四百四十二戸、人口六千二百二

十八人。旅館、土産物商、飲食店其

他諸般の商賈軒を列ね、殷賑なる市

街にして、國有鐵道を始め、琴平參

宮電鉄、琴平電鉄、自動車線等幅濶

して交通至便なり。



(四) 金刀比羅宮大麻山神林

大麻山神林は琴平山の北に接し、仲多度郡善通寺町にあり。海拔二千〇三十二尺(六百十六米)、面積二百〇六町九反五畝歩。

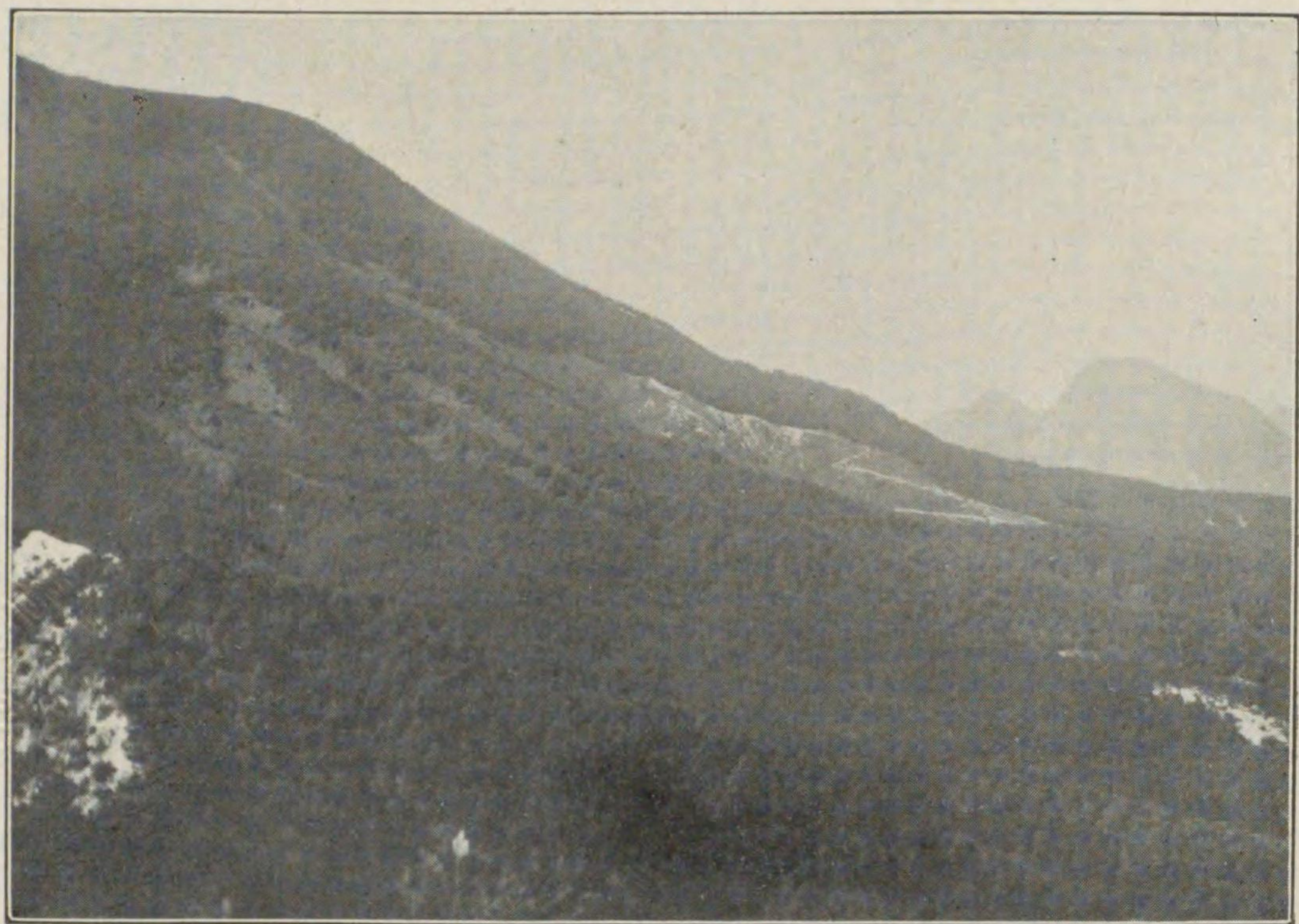
圖は大麻山景觀の一部にして、向うて右の遠山は我拜師山、其左の鞍部は禪定。

(四) 同屏風巖

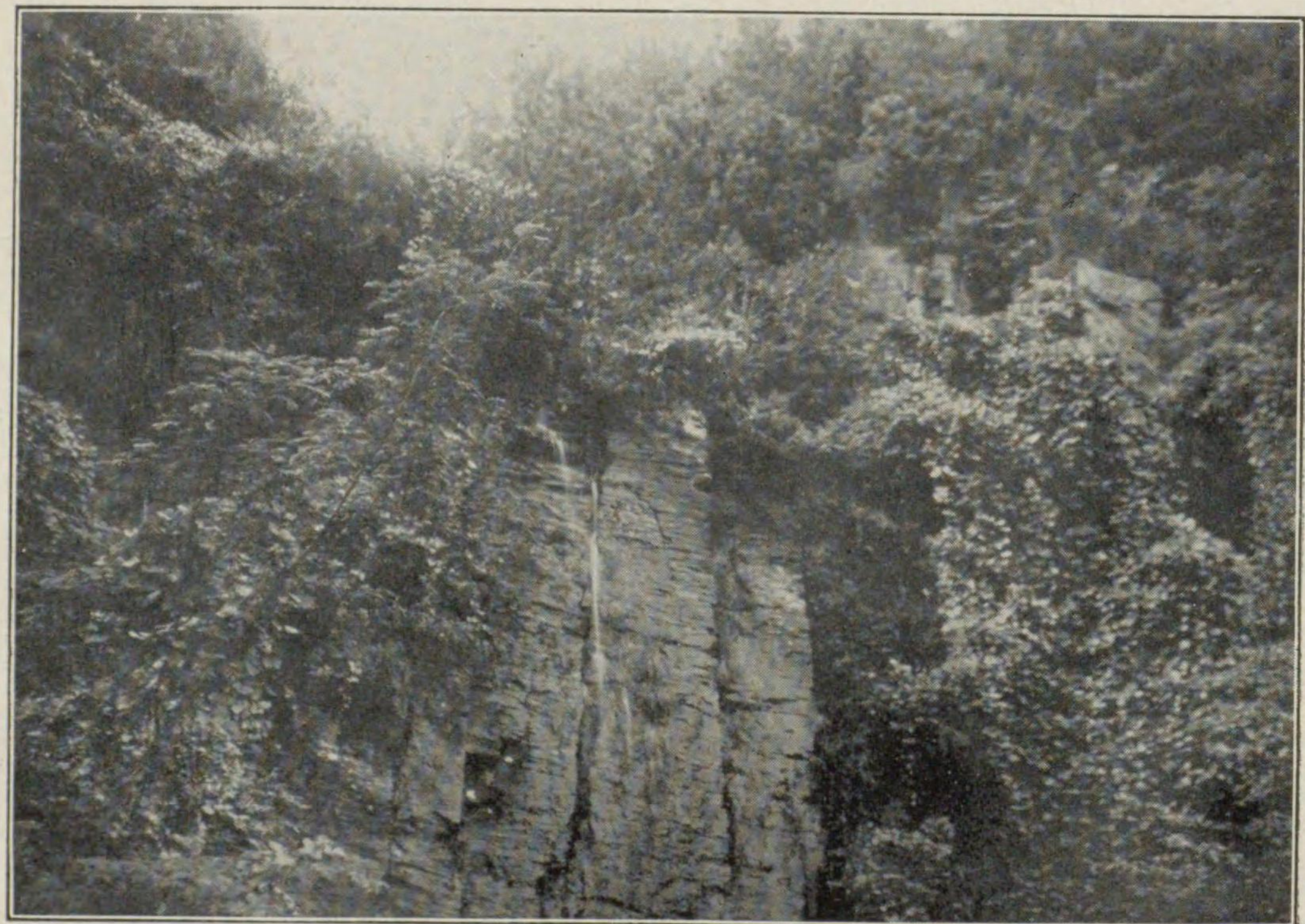
屏風巖は御本宮の北十五町大麻山神林の中腹約七合目の所にあり。斷崖直立百〇八尺、幅三百六十尺に及び、屏風を立廻らしたるが如し依つて此名あり中央にかゝれる一條の瀑布は細けれど終年早る、事無し、葵瀧と言ひまた大瀧と稱す。こゝに水槽を埋設して當宮飲料水道の第一水源とす。

葵瀧 從一位 近衛忠熙
春秋の錦をとめて落瀧津瀧のなかれも幾世絶わせし

金刀比羅宮 大麻山神林



金刀比羅宮 大麻山屏風巖



金刀比羅宮大麻山神林眺望



大麻山神林よりの眺望は眼界廣潤にして、遠くは三備(備前備中備後)の山々、近くは丸龜、那珂の平野なご手に取るが如し。圖の中央に頂邊の圓き山の聳ゆるは我拜師山、其左(圖に向うて以下全)の鞍部は禪定、我拜師山の右方頂の尖れるは筆山、此兩山の鞍部に見ゆる村落の彼方の山は右方天霧山、左方彌谷山、圖の右端に近き海は筆海、右方最近き嶋は高見嶋、其左に續くは水嶋灘、彌谷山の彼方に突出せる岬は箱岬、漠糊たる海の彼方の連山は、右は備中、左は備後の山々なり。

(四) 金刀比羅宮大麻山神林眺望



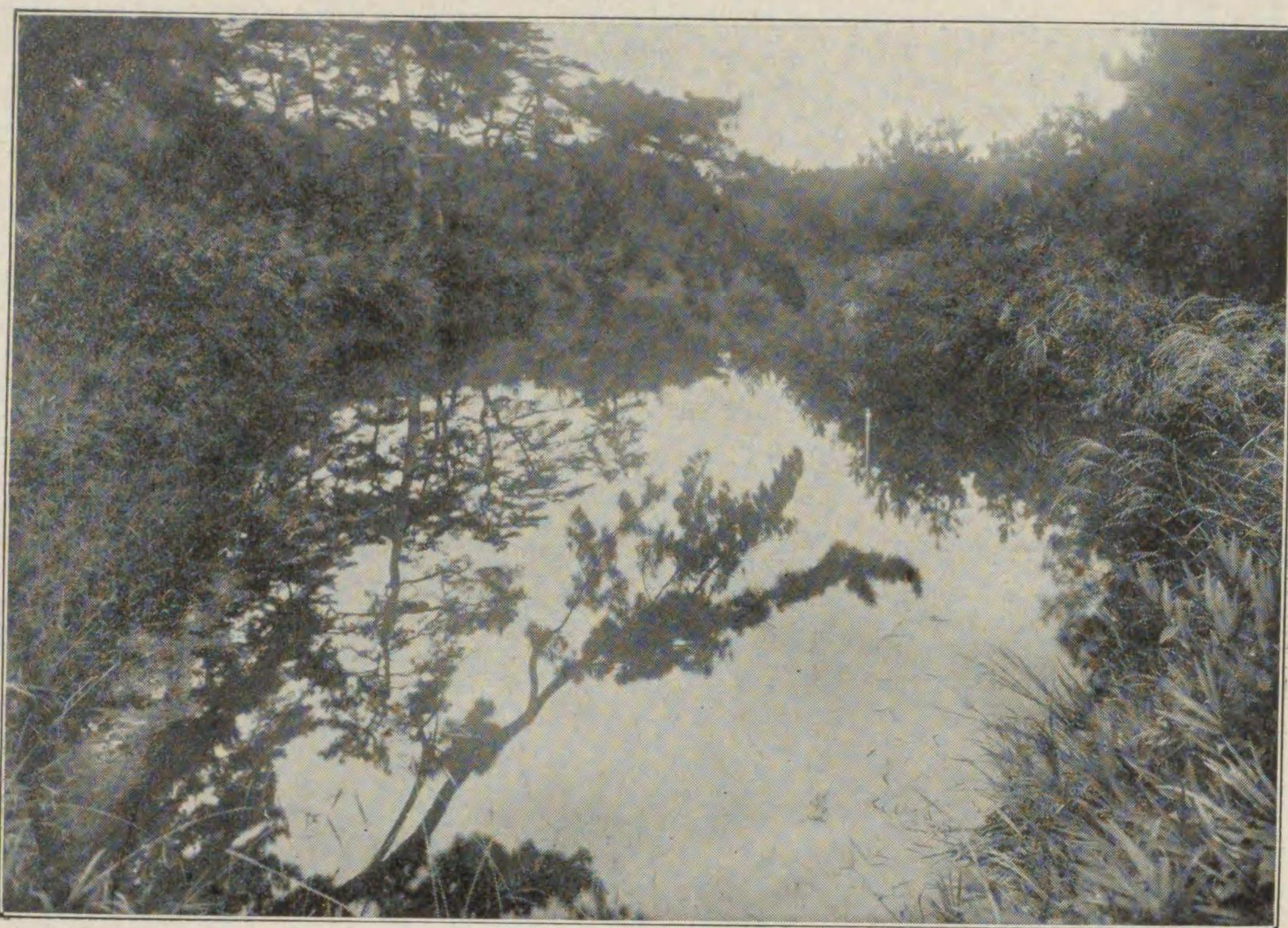
(一頁) 金刀比羅宮大麻山神林龍王池

龍王池は御本宮の北二十町オホサヤマ大麻山神林の山頂に近く、海拔千七百六十八尺(五百三十六米)の地點にあり。池の中嶋に龍王祠あるを以て此名を得たり。規模大ならざれども池水常に涸るゝ事無し、四周緩かなる斜面にして身山上に在るを忘る。

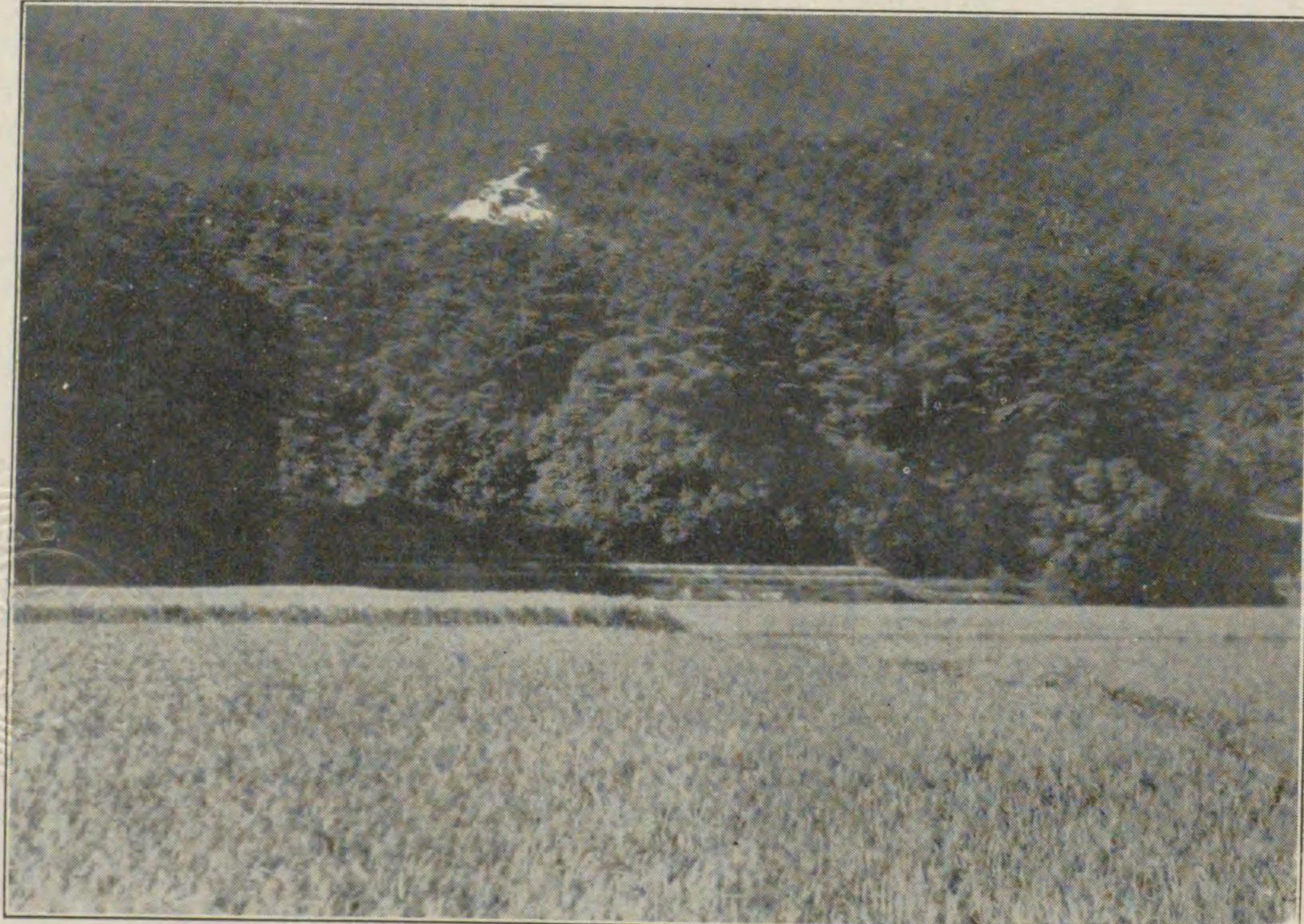
(二頁) 同百合山神林

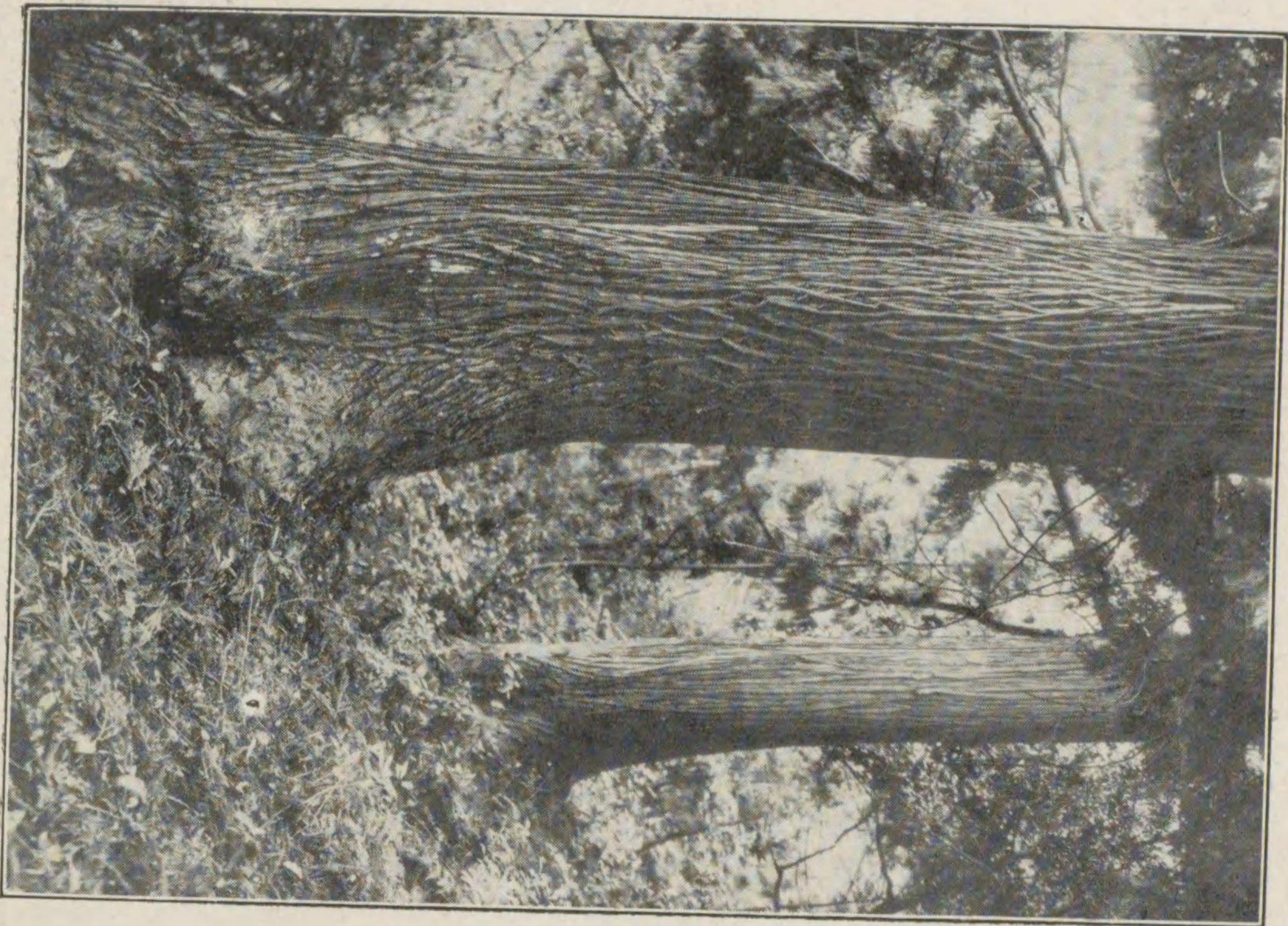
百合山神林は御本宮の北二十町、オホサヤマ仲多度郡善通寺町オホサヤマ大麻にあり。面積僅に二町一反六畝五歩に過ぎざるも松樹密生、山容愛すべし。

金刀比羅宮大麻山神林龍王池



金刀比羅宮百合山神林





金刀比羅宮紅葉谷二本杉



金刀比羅宮丸山神林

(五) 金刀比羅宮丸山神林

丸山神林は御本宮の北十八町、海拔三百三十尺(百米)に過ぎざるも廣き臺地にして眺望佳なり。此地域に産する松茸は風味殊に佳良なるを以て毎年採收して神前の供御ぞす。今上天皇陛下いまだ東宮に座しまして、大正十一年の秋本縣に行啓遊されし時御料に奉り。又大正十四年朝香宮紀久子女王殿下、湛子女王殿下には親しくこゝに茸狩を行はせ給へり。

(五) 同紅葉谷二本杉

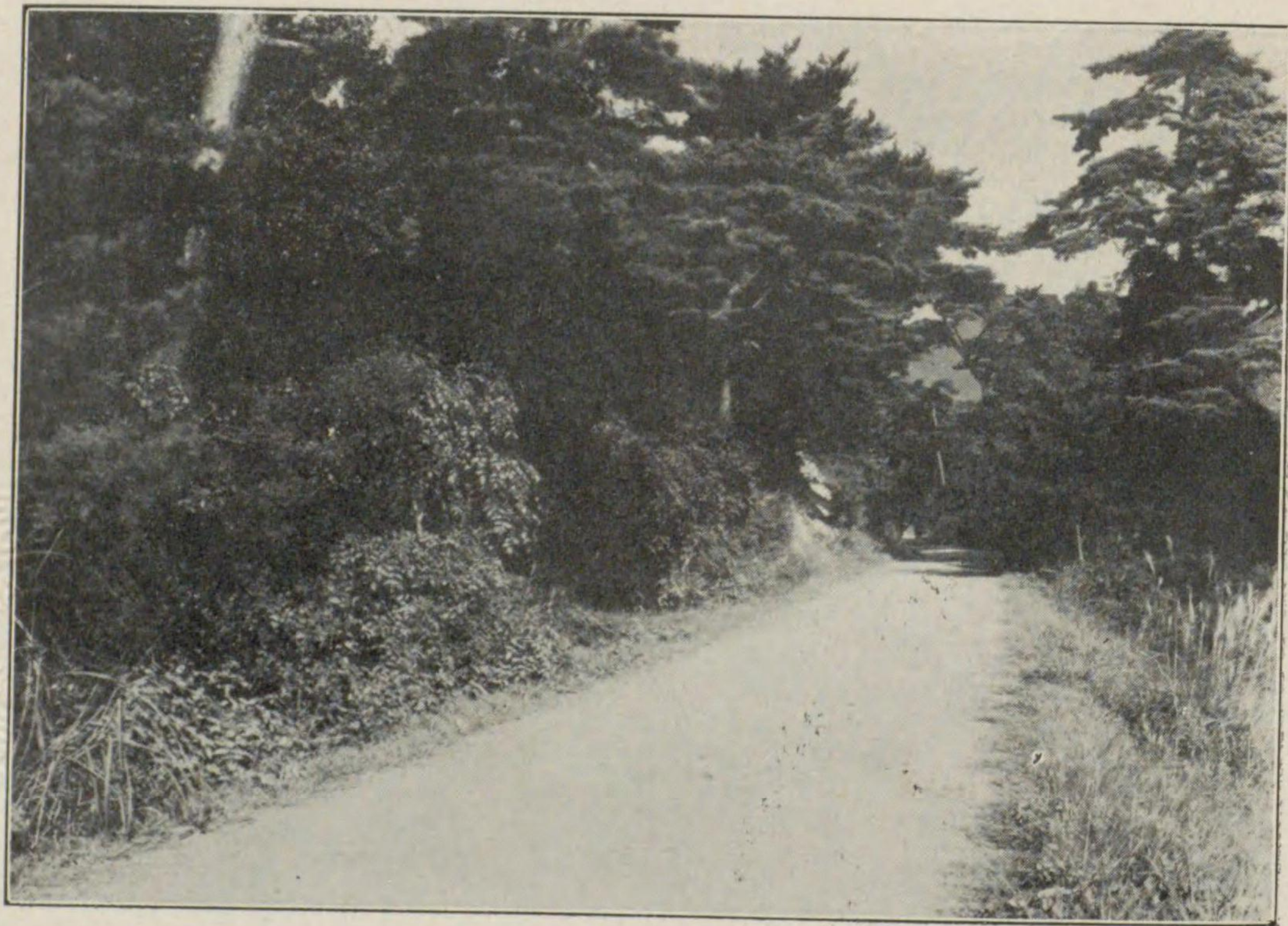
二本杉は御本宮の北六町半、琴平山ニホンカマキの山腹八合目のあたり紅葉谷にあり老杉二樹矗々として天に朝す、このあたり楓樹多し。

日 柳 柳 東

雨餘殘霧白濛々界破前山半作空獨
有雙杉埋不得碧尖對矗夕陽中



金刀比羅宮尉溪神林



金刀比羅宮南大谷神林

(五) 金刀比羅宮尉溪神林

尉溪神林は御本宮の東南十九町祖溪
山の南邊にあり。赤松密生し風致に
富める神林なり。
圖の山は尉溪山、前の池は胡麻谷
池。

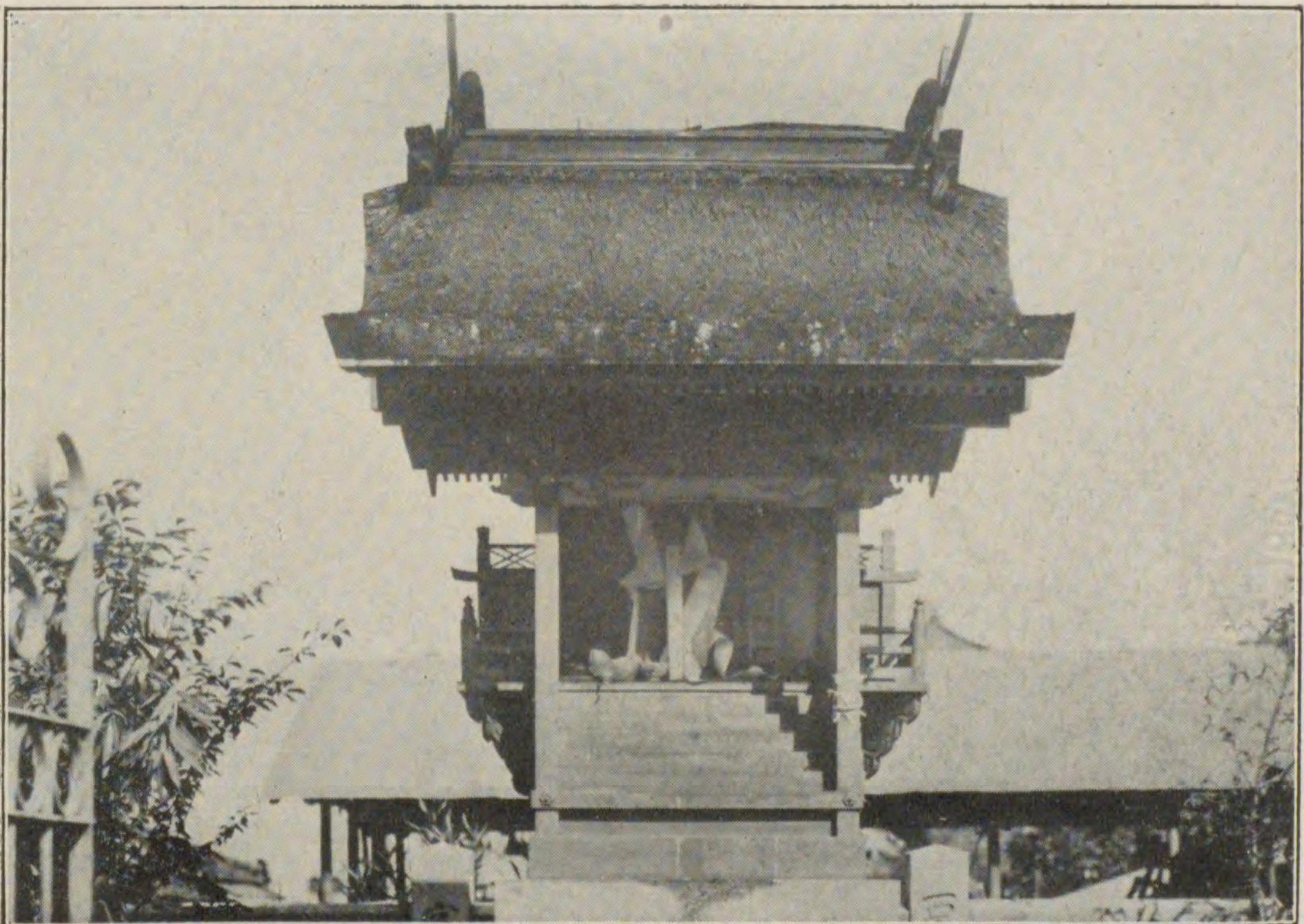
(五) 同南大谷神林

南大谷神林は御本宮東南十七町尉
溪の西方にあり。樹林翳鬱として風
趣豊かななり。

金刀比羅宮境外御末社菅原神社



金刀比羅宮境外御末社稻荷神社



(一五) 金刀比羅宮境外御末社菅原神社

境外御末社菅原神社は御本宮の東南十町
琴平町字愛宕町の南に御鎮座。御主神は
菅原道真命にして、宮比神、倉稻魂神、
久那斗神、八衢彦神、八衢姫神、上筒之
男神、中筒之男神、底筒之男神、火産靈
神、奥津比古神、相良神、寶殿神、野槌
神、重徳神、山家公頼命、を配祀す。文
政年間創祀。神域三反四步五合。本殿、
流造、一坪、檜皮葺。拜殿、入母家造平
入、六坪、瓦葺。御例祭は陰曆六月二十
四日。

(一五) 同境外御末社稻荷神社

境外御末社稻荷神社は御本宮の東方
十五町餘、琴平町富士見町にあり。
御主神は
倉稻魂神に座す。御例祭は七月十一
日。
圖は御本殿にして、流造、檜皮葺、
三方高欄。





(二) 金刀比羅宮東京御末社
金刀比羅神社前

境外東京御末社金刀比羅神社は當宮を距
る事東方約二百〇六里、東京市深川區古
石場町に御鎮座。神域六百八十三坪餘。

御主神は

大物主神、倉稻魂神。御例祭は十月十日

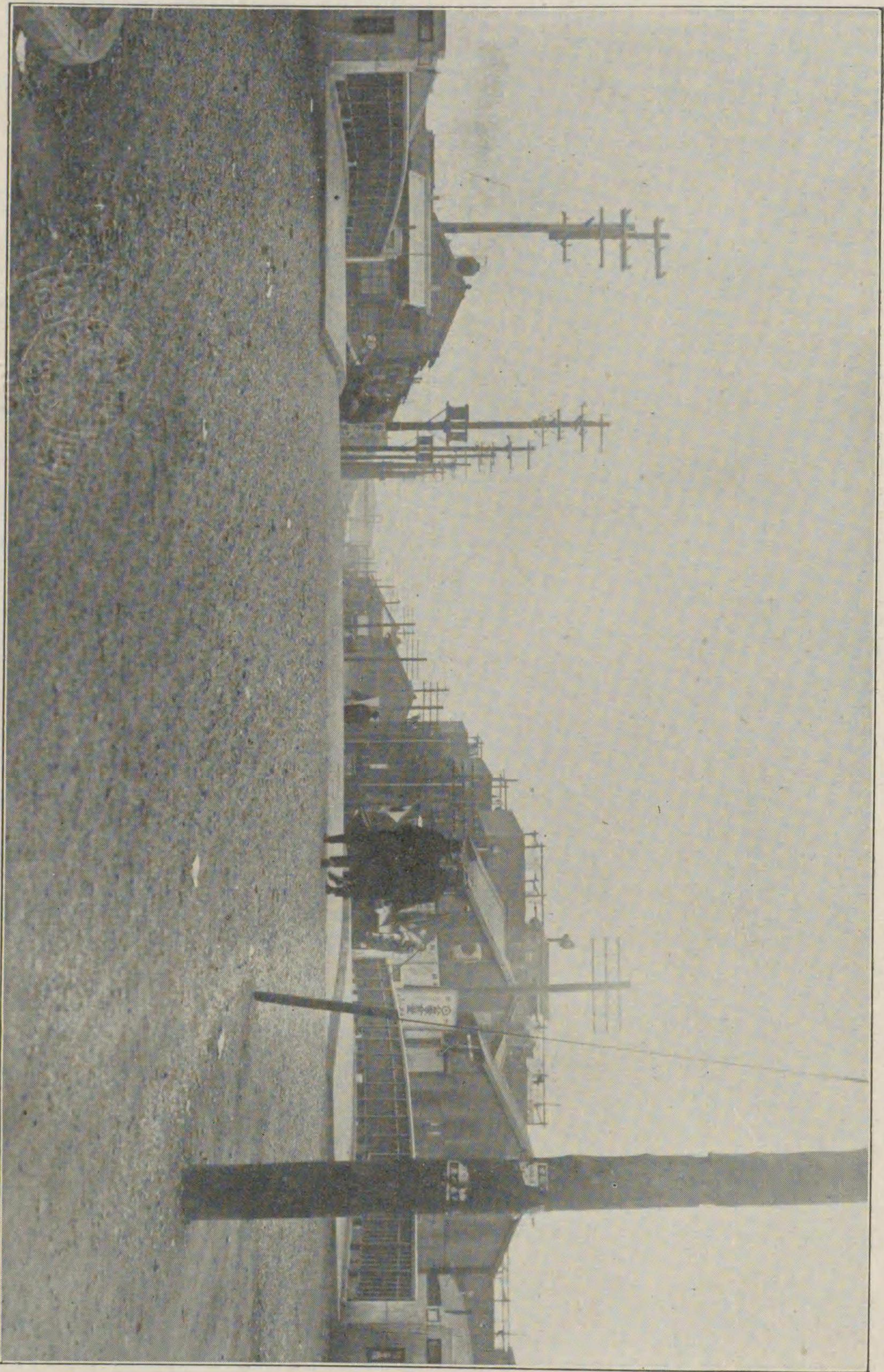
目下御社殿再營工事中に付き、こゝには

社前のみを掲載す。圖は前通を海の方面

に望めるものにして、橋は當社御鎮座に

縁みて名付けられたる琴平橋。

金刀比羅宮東京御末社金刀比羅神社前



金刀比羅宮尾張御末社金刀比羅神社



金刀比羅宮尾張御末社金刀比羅神社拜殿

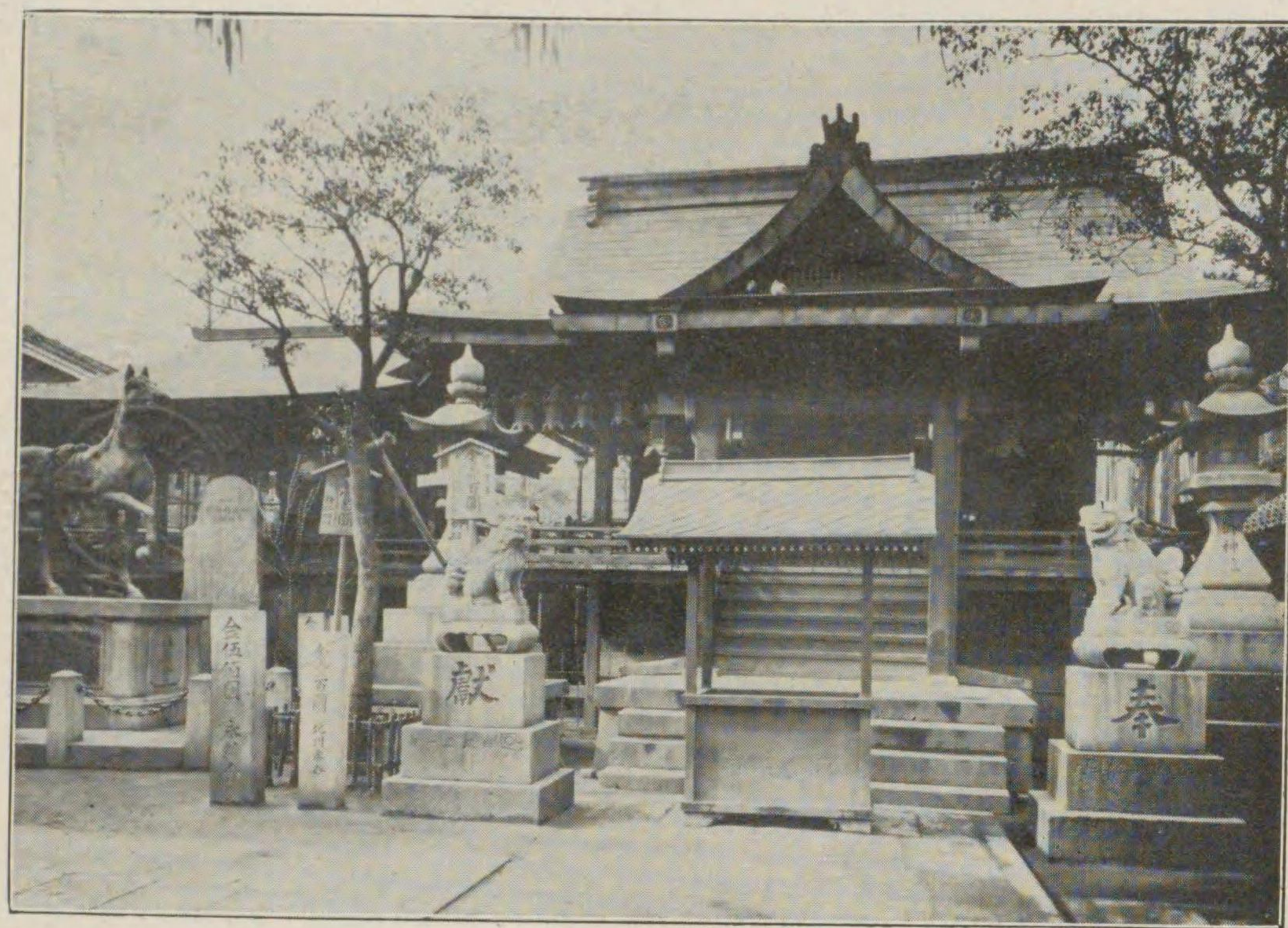


(二五) 金刀比羅宮尾張御末社
金刀比羅神社

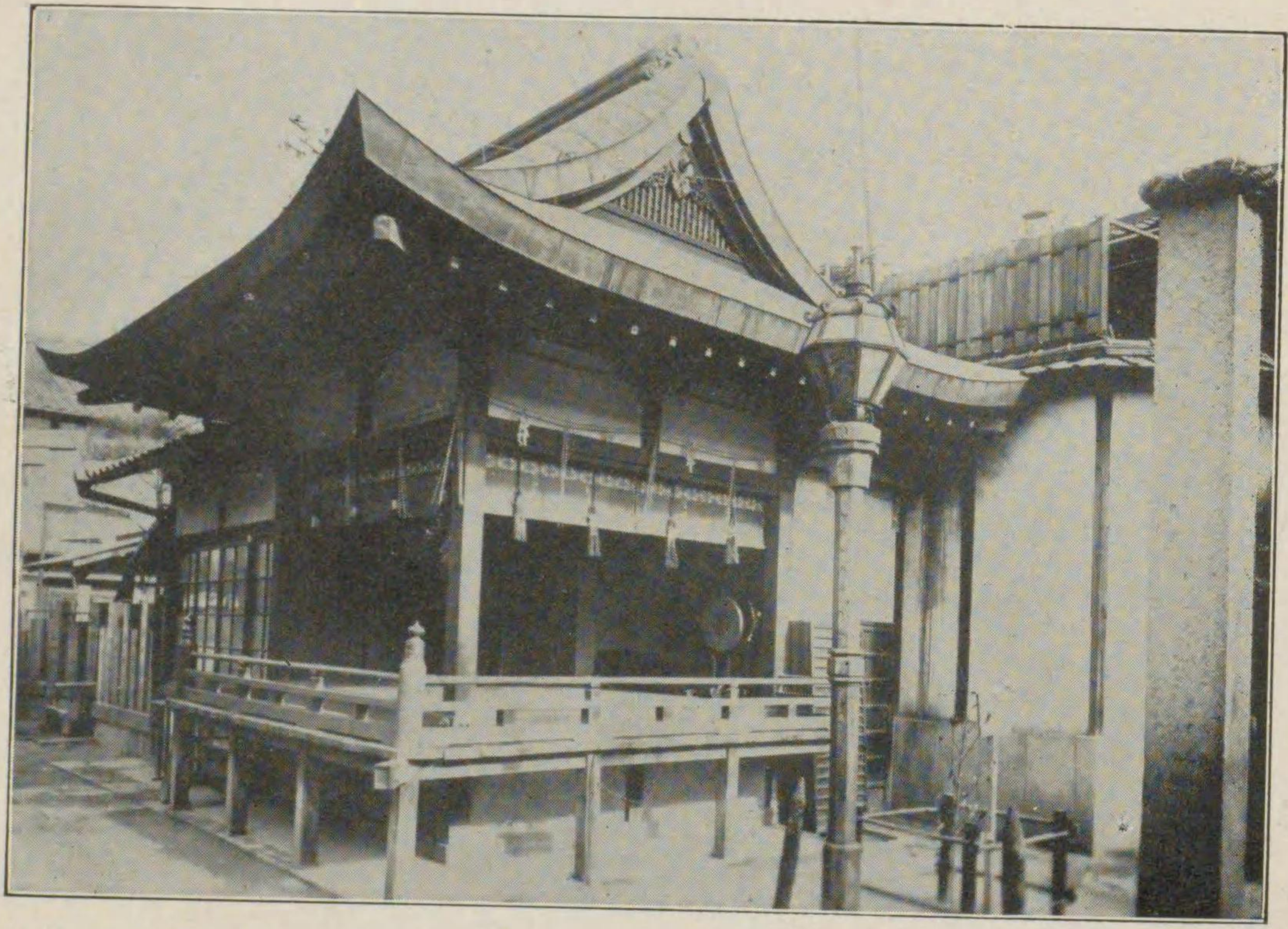
境外尾張御末社金刀比羅神社は當宮
を距る事東方約九十八里、愛知縣尾
張國丹羽郡西成村大字瀬部字四日市
場に御鎮座。神域百三十九坪、附屬
地八十五坪。
圖は御社殿正面。

(二六) 同 拜 殿

境外尾張御末社金刀比羅神社。本殿、
建坪二坪六合餘、枋葺。拜殿、建坪
五坪六合餘、枋葺。共に文化九年改
築。御主神は
大物主神、崇徳天皇。御例祭は陰曆
十月十日。
圖は拜殿。



金刀比羅宮大阪御末社金刀比羅神社



金刀比羅宮大阪御末社金刀比羅神社神樂殿

(五) 金刀比羅宮大阪御末社
金刀比羅神社

境外大阪御末社金刀比羅神社は當宮を
距る事東方約五十里、大阪市浪速區河
原町一丁目、世に千日前と稱ふる繁華
なる地域に御鎮座あり。神域四百四十
三坪餘、附屬地七百餘坪。本殿、一坪九
三合餘、王子造、銅葺。幣殿、一坪九
合餘、銅葺。拜殿、六坪五合、銅葺に
して、共に明治二十一年建築。御主神は
大物主神、嚴嶋姫尊、崇徳天皇。御
例祭は十月十日。
圖は拜殿正面。

(六) 同神樂殿

圖は大阪御末社金刀比羅神社神樂
殿。

金刀比羅宮神戸御末社金刀比羅神社



金刀比羅宮神戸御末社金刀比羅神社御本殿



(一六) 金刀比羅宮神戸御末社
金刀比羅神社

境外神戸御末社金刀比羅神社は當宮
を距る事東北約四十三里、神戸市福
原町に御鎮座。神域五百六十九坪餘、
附屬地六十七坪。

圖は拜殿正面にして、建坪十五坪、
檜皮葺、明治二十年建築。

(一七) 同 御本殿

境外神戸御末社金刀比羅神社。本殿、
二坪二合餘、檜皮葺、明治二十年建
築。御主神は

大物主神、武甕槌神、崇徳天皇。御
例祭は十月十日。

圖は御本殿の側面。



(三) 金刀比羅宮出雲御末社
金刀比羅神社前

境外出雲御末社金刀比羅神社は當宮を距る事西北六十七里餘、嶋根縣出雲國簸川郡直江村大字下直江に御鎮座。神域五百五十二坪、附屬地百四十九坪。

圖は御末社前通に於ける直江の町にして、左方注連柱と燈籠の見ゆるは社頭の入口。

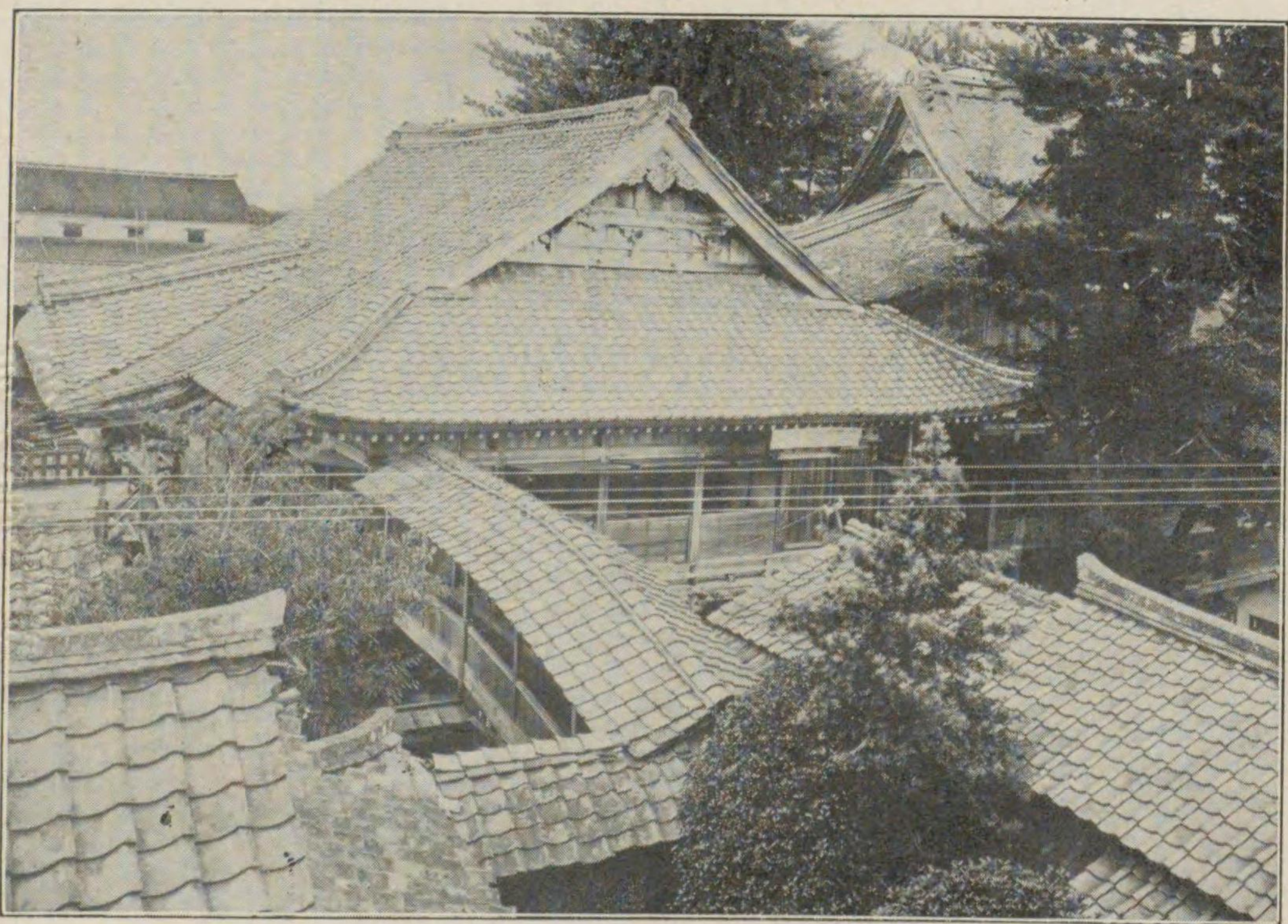


金刀比羅宮出雲御末社金刀比羅神社前

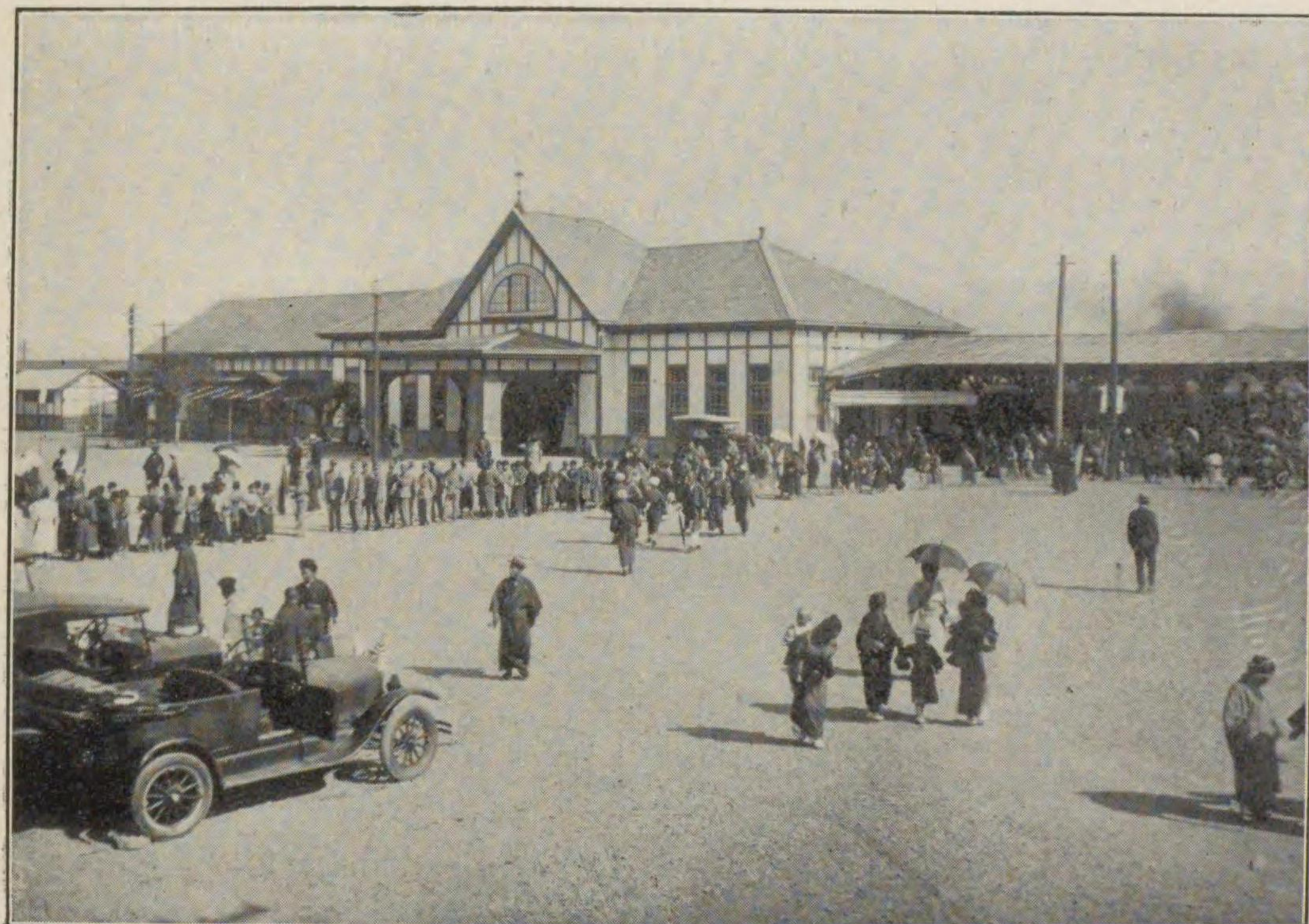
(四) 同 御社殿

境外出雲御末社金刀比羅神社。御本殿、二坪七合餘、枡葺。幣殿、四坪、枡葺。拜殿、三十二坪餘、入母家造平入、瓦葺。御本殿と幣殿とは明治二十七年建築、拜殿は明治十二年建築。御主神は、天之御中主神、大物主神、譽田天皇、崇徳天皇。御例祭は十月九日、十日。

圖の中央なる大屋根は拜殿、其右の樹の間に見ゆるは御本殿、近き瓦屋根は渡廊、社務所等。



金刀比羅宮出雲御末社金刀比羅神社御社殿



(二五) 琴平公園

琴平公園は縣立にして市街の南方丘陵上にあり。廣さ八町一反九畝七歩。頂上は、遠くは瀬戸内海の水光、近くは琴平山の翠巒を望み、風光明媚にして山躑躅最觀るへし。圖は公園北口を入りて程無き丘陵の一部。

(二六) 國有鐵道琴平驛

國有鐵道琴平驛は市街の東方、金刀比羅宮御本宮より東北十八丁にあり。鐵道は北行しては善通寺、多度津、丸龜、宇多津、坂出等を経て高松に通し、高松よりは一方連絡船によりて山陽線に一方東行して屋嶋、志度、津田、白鳥等を経て引田に通す。又多度津驛に於て分岐して西行し、觀音寺等を経て伊豫に入り三嶋、新居濱、西條、小松、今治等を経て松山に通す。更に當琴平驛より南行して阿波に入り池田、徳嶋、小松嶋等に通す。



琴平電鐵琴平驛



琴平參宮電鐵琴平停留場

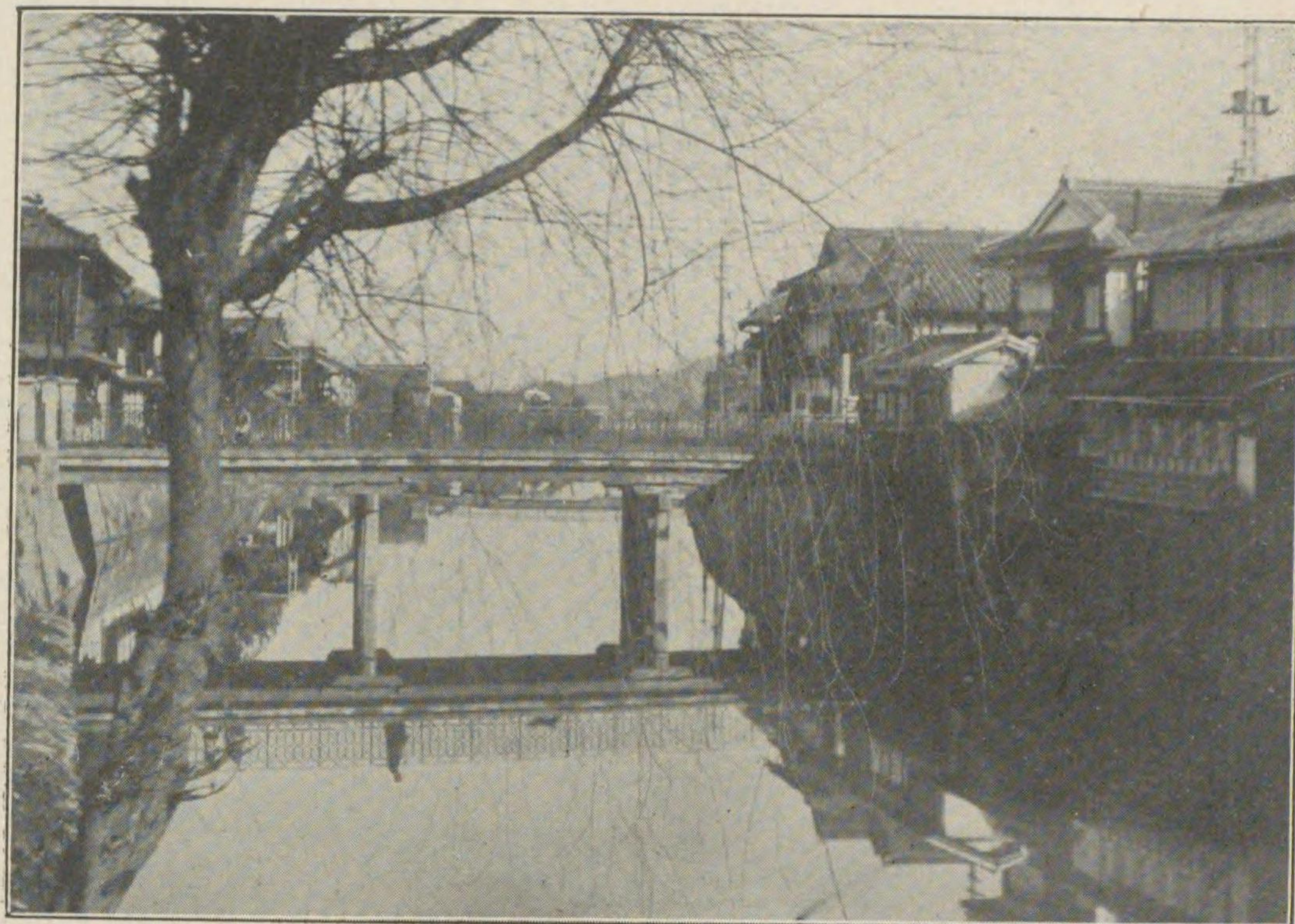
(二七) 琴平電鐵琴平驛

琴平電鐵琴平驛は琴平町大宮橋東詰
金刀比羅宮御本宮の東北十五丁にあ
り。電車二十分に發車。瀧宮、一
宮、佛生山、栗林公園前、等を経て
高松に通す。

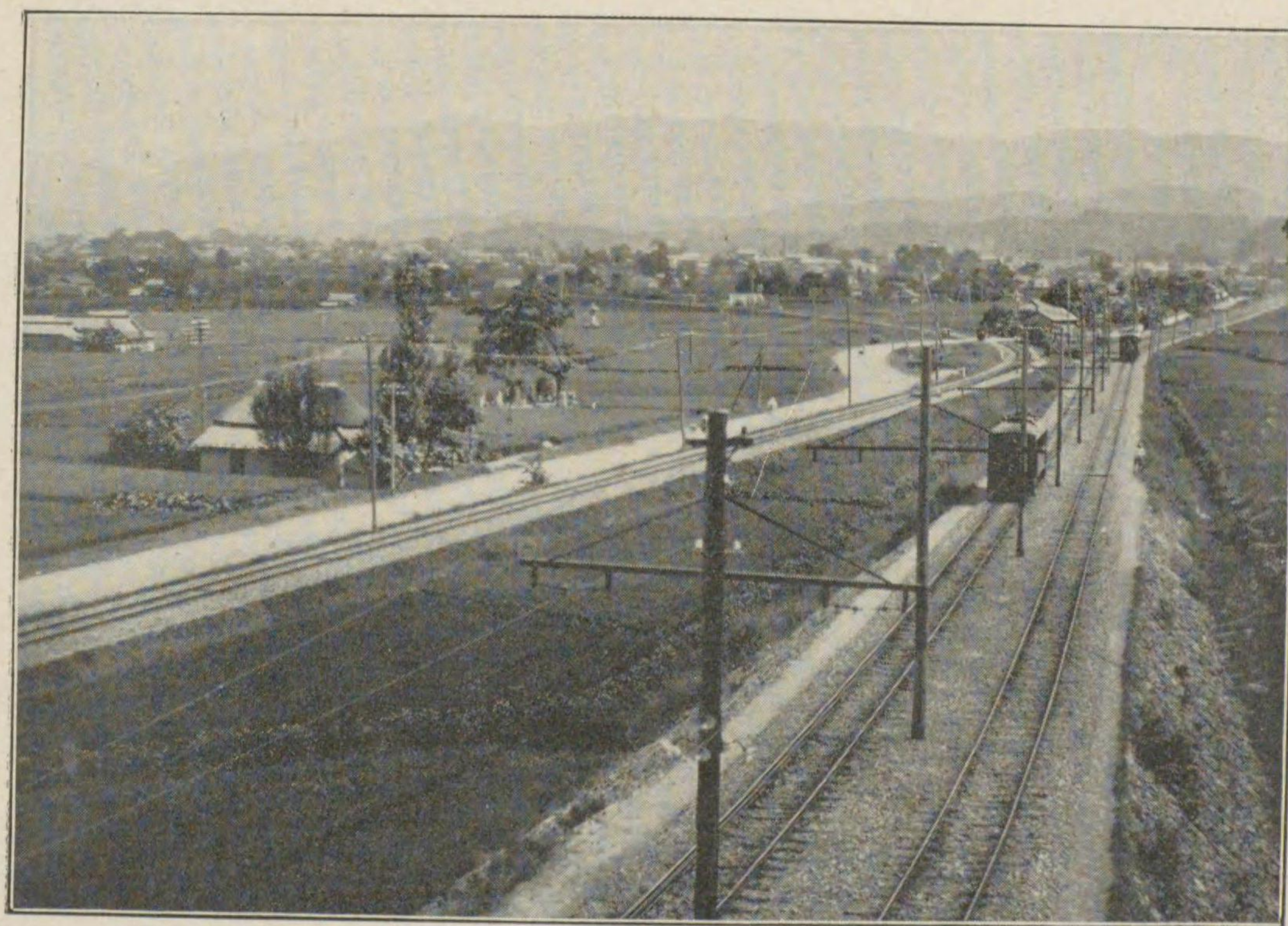
(二六) 琴平參宮電鐵琴平停留場

琴平參宮電鐵琴平停留場は琴平町字
神明町、金刀比羅宮御本宮の東北十
三町にあり。坂出行と多度津行と交
互に七分毎に發車。前者は善通寺、
丸龜、宇多津、等を経て坂出に通し。
後者は善通寺等を経て多度津に通
す。

琴平一之橋



琴平北郊外



(一六) 琴平一之橋

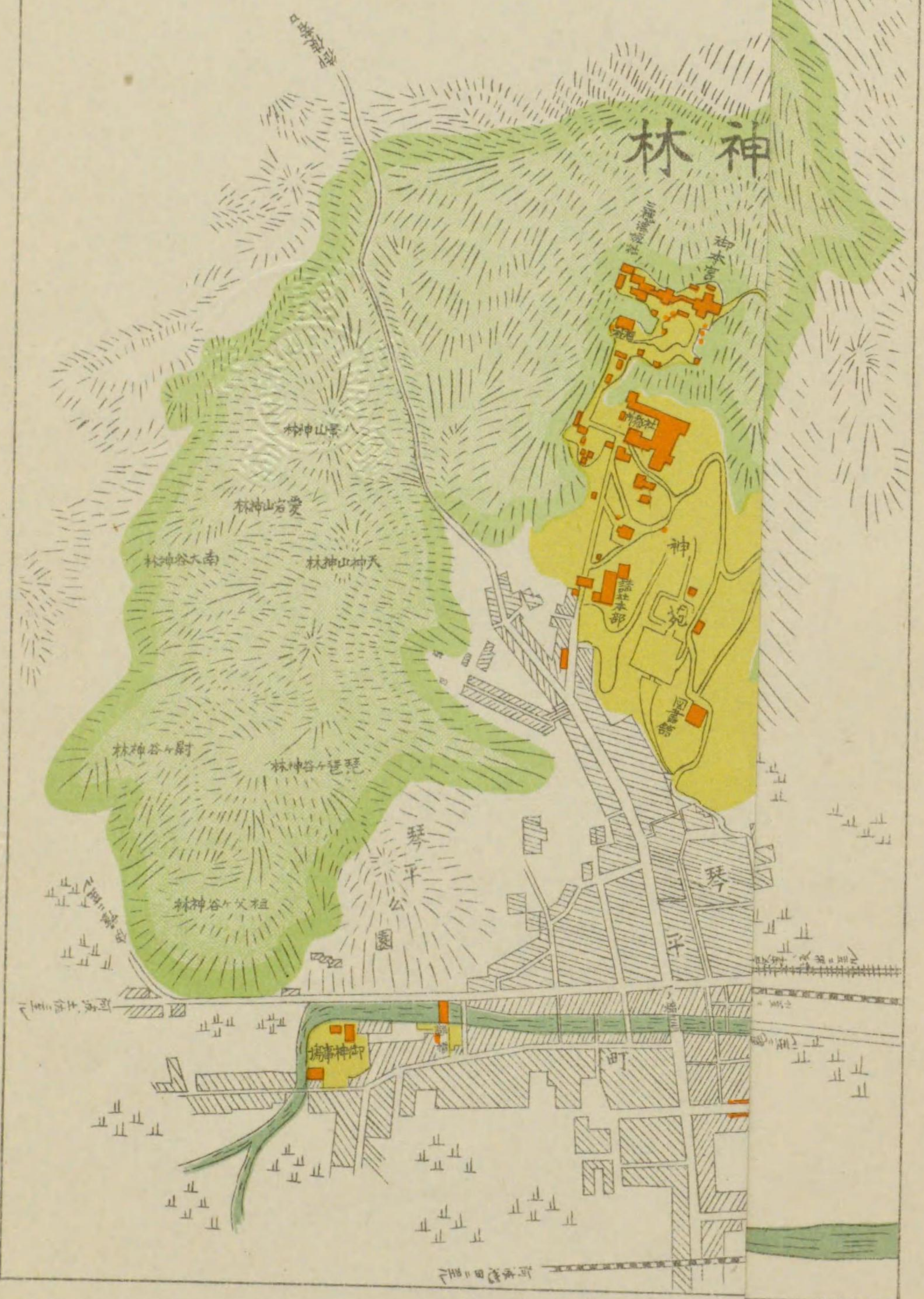
一之橋は市街内町と新町との間にありて、宮川(潮川)に架す。石柱、コンクリート、鐵欄干。高松方面よりする縣道の要路にあり。

(一七) 琴平北郊外

圖は琴平の北郊外を北より南に向ひて望めるものにして、圖に向うて右方の複線軌道は琴平參宮電車線路。其左方の軌道は國有鐵道線路。これに添へる道路は琴平を経て阿波及土佐に通する國道。前方の市街の右半は琴平、左半は榎井。遠山は阿波讚岐國境の連峰にして、左方に最高く聳ゆるは大川山。

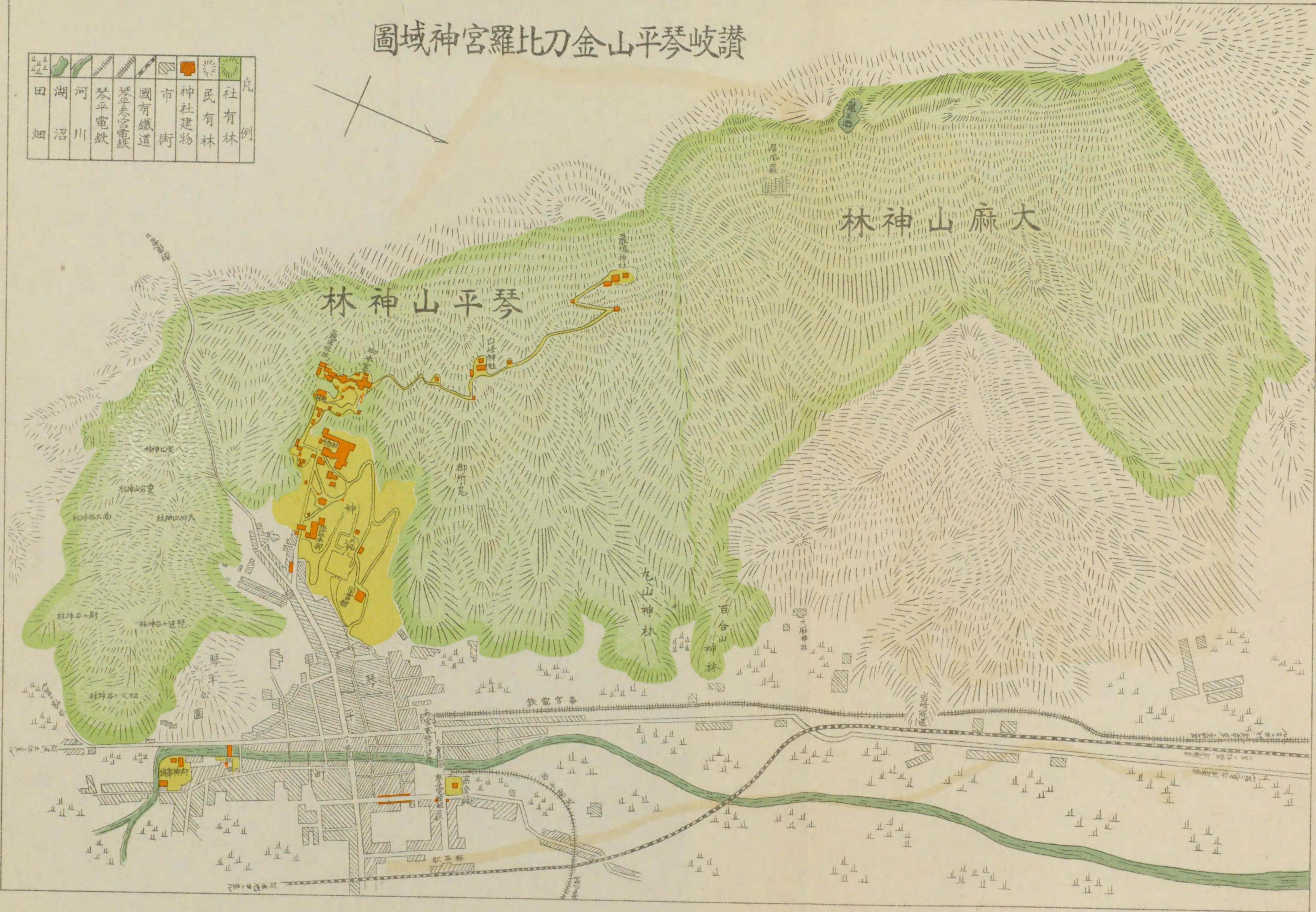
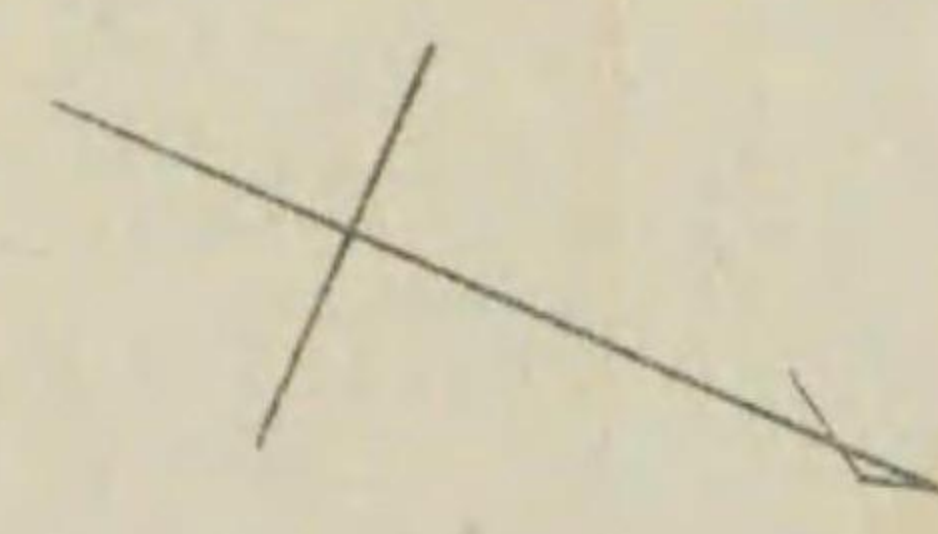
圖

											凡例
田	湖	河	琴平電鉄	琴平電鉄	國有鐵道	市街	神社建物	民有林	社有林		
畑	沼	川									



讚岐琴平金山比羅宮神域圖

									凡例
田	湖	河	琴平電鐵	琴平宮電鐵	國有鐵道	市街	神社建物	民有林	社有林
畑	沼	川							



5

Faint vertical text bleed-through from the reverse side, including characters like 小, 大, and 人.



昭和四年七月廿五日發行

編輯兼
發行者

金刀比羅宮社務所第一課

右代表者

井 上 功

印刷者

小 野 秀 八

香川縣仲多度郡琴平町
八百六十三番地ノ寄留

印刷所

小 野 印 刷 所

香川縣仲多度郡琴平町
八百八十六番地

湖廣通志卷之四十五

卷之四十五

金代五藏宮

小

共

上

位

小

小

表

入

小

小

中

位

57

559
75

